

令和6年度 第3回菊川市地域公共交通会議

議 事 次 第

日 時：令和7年1月17日（金）
午前10時00分～

会 場：菊川市役所東館1階
町部地区センター

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 令和7年度コミュニティバス（定時定路線）の運行案について

【協議】＜資料1＞

(2) 静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会への申し出事項について

【協議】＜資料2＞

(3) 静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価について 【協議】＜資料3＞

(4) 菊川市地域公共交通計画策定における進捗状況について 【報告】＜資料4＞

4 その他

令和 7 年度 コミュニティバス (定時定路線) の運行案について

- | | | |
|---------------------------------------|-----|------|
| 1. 丹野・嶺田コース
(定時定路線運行) | ・・・ | P 1 |
| 2. 三沢・河東コース
(定時定路線運行) | ・・・ | P 5 |
| 3. 三沢・河東コース
奈良野・布引原コース
(デマンド運行) | ・・・ | P 10 |

【丹野・嶺田コース】

変更年月日

令和7年4月1日
(予定)

(主な変更点)

運行コース

(理由)

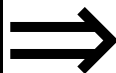
運転手からの要望：交通量が多く右折に時間がかかる

(現)

(新)

※赤字は変更箇所

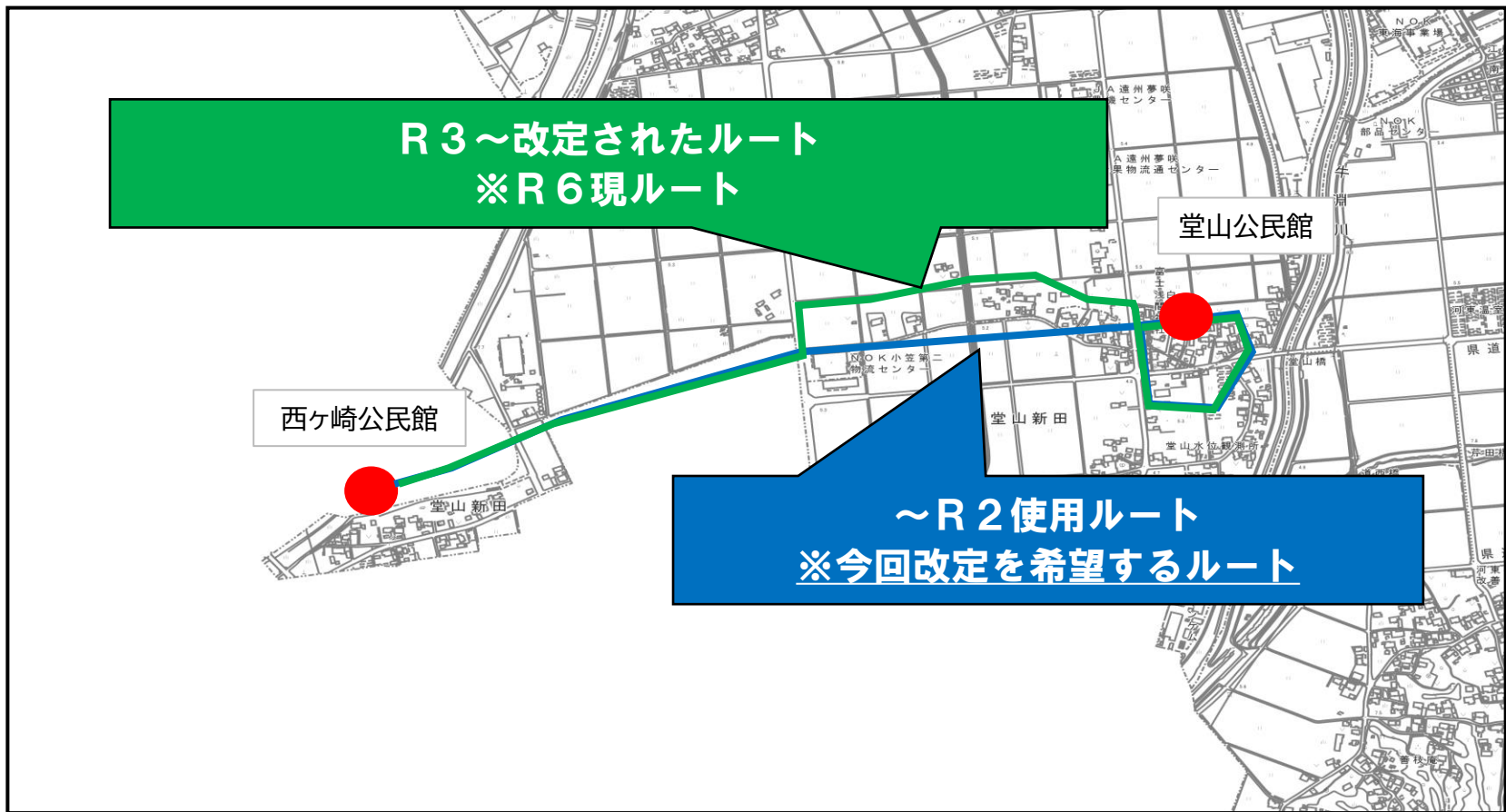
区分	内容
コース名 (系統名)	丹野・嶺田コース
表示動物	くま
運行方式	定時定路線運行
使用車両	ハイエースワゴン 10人乗り
運行系統	西ヶ崎公民館－平田－ 菊川市立総合病院
運行路線	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
運行ダイヤ	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
運行延長 (最大)	24.1km
所要時間 (最大)	58分
運行本数	4.5便／日
運行時刻	7:05～16:51
停留所数	37ヶ所



内容
丹野・嶺田コース
くま
定時定路線運行
ハイエースワゴン 10人乗り
西ヶ崎公民館－平田－ 菊川市立総合病院
令和6年度 コース図・時刻表のとおり
p 4 のとおり
24.1km
57分
4.5便／日
7:06～16:51
37ヶ所

●丹野・嶺田コースについて

- ・ 交通量が多く右折ができない状況
- ・ 令和2年までは変更後（新）のコースを使用していたが、地域の高齢化が進み、フリー乗降区間の設置要望があったことから令和3年に現コースに改定している。



●利用者数について

丹野・嶺田コース ※（）内は第一便の往路のみの人数

	西ヶ崎公民館	堂山公民館	フリー乗降区間の乗降
令和2年度	45（3）	52（3）	
令和3年度	16（0）	110（4）	
令和4年度	6（0）	76（12）	
令和5年度	11（1）	77（0）	11（3）
令和6年度（9月末時点）	25（1）	31（4）	25（2）



丹野・嶺田コース（くま）

（変更前）

6号車

平田経由
菊川市立総合病院 行き

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便	第五便
西ヶ崎公民館	7:05	9:16	11:24	14:17	16:25
堂山公民館	7:09	9:19	11:27	14:20	16:28
赤土下	7:13	9:23	11:31	14:24	16:32
あかつちクリニック	7:15	9:24	11:32	14:25	16:33
菊川市水道事務所	7:18	9:26	11:34	14:27	16:35
中嶺田	7:22	9:29	11:37	14:30	16:38
西嶺田	7:24	9:30	11:38	14:31	16:39
西嶺田公民館	7:25	9:31	11:39	14:32	16:40
大石構造改善センター	7:27	9:33	11:41	14:34	16:42
小菊荘	7:29	9:35	11:43	14:36	16:44
嶺田神社前	7:31	9:37	11:45	14:38	16:46
みねだ会館	7:32	9:38	11:46	14:39	16:47
塩の道公園前	7:33	9:39	11:47	14:40	16:48
平川橋西	7:34	9:40	11:48	14:41	16:49
平田	7:36	9:42	11:50	14:43	16:51
小笠支所	7:37	9:43	11:51	14:44	
田子重小笠店	↓	9:45	11:53	14:46	
JA遠州夢咲本店	7:38	9:46	11:54	14:47	
杏林堂小笠店	7:39	9:47	11:55	14:48	
棚草	7:40	9:48	11:56	14:49	
棚草公民館	7:41	9:49	11:57	14:50	
棚草入口	7:42	9:50	11:58	14:51	
和松会	7:44	9:52	12:00	14:53	
猿渡橋	7:45	9:53	12:01	14:54	
川上橋	7:46	9:54	12:02	14:55	
川中公民館	7:47	9:55	12:03	14:56	
川東公民館	7:49	9:57	12:05	14:58	
古谷	7:51	9:59	12:07	15:00	
東林寺入口	7:52	10:00	12:08	15:01	
丹野橋	7:53	10:01	12:09	15:02	
丹野	7:54	10:02	12:10	15:03	
丹野公民館	7:55	10:03	12:11	15:04	
中丹野	7:56	10:04	12:12	15:05	
奥横地公民館	7:59	10:07	12:15	15:08	
奥横地屋台小屋	8:00	10:08	12:16	15:09	
菊川市立総合病院	8:03	10:11	12:19	15:12	

フリー降車
(一部乗車可)区間

フリー降車区間

フリー降車区間

平田経由
西ヶ崎公民館 行き

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便
菊川市立総合病院	8:18	10:26	13:19	15:27
Vドラッグ前	8:20	10:27	13:20	15:28
奥横地屋台小屋	8:22	10:29	13:22	15:30
奥横地公民館	8:23	10:30	13:23	15:31
中丹野	8:26	10:33	13:26	15:34
丹野公民館	8:27	10:34	13:27	15:35
丹野	8:28	10:35	13:28	15:36
丹野橋	8:29	10:36	13:29	15:37
東林寺入口	8:30	10:37	13:30	15:38
古谷	8:31	10:38	13:31	15:39
川東公民館	8:33	10:40	13:33	15:41
川中公民館	8:34	10:41	13:34	15:42
川上橋	8:35	10:42	13:35	15:43
猿渡橋	8:36	10:43	13:36	15:44
和松会	8:37	10:44	13:37	15:45
棚草入口	8:39	10:46	13:39	15:47
棚草公民館	8:40	10:47	13:40	15:48
棚草	8:41	10:48	13:41	15:49
杏林堂小笠店	8:42	10:49	13:42	15:50
JA遠州夢咲本店	8:43	10:50	13:43	15:51
田子重小笠店	↓	10:51	13:44	15:52
小笠支所	8:44	10:53	13:46	15:54
平田	8:45	10:54	13:47	15:55
平川橋西	8:47	10:56	13:49	15:57
塩の道公園前	8:48	10:57	13:50	15:58
みねだ会館	8:49	10:58	13:51	15:59
嶺田神社前	8:50	10:59	13:52	16:00
小菊荘	8:52	11:01	13:54	16:02
大石構造改善センター	8:54	11:03	13:56	16:04
西嶺田公民館	8:56	11:05	13:58	16:06
西嶺田	8:57	11:06	13:59	16:07
中嶺田	8:58	11:07	14:00	16:08
赤土下	9:01	11:10	14:03	16:11
あかつちクリニック	9:02	11:11	14:04	16:12
菊川市水道事務所	9:04	11:13	14:06	16:14
堂山公民館	9:09	11:18	14:11	16:19
西ヶ崎公民館	9:13	11:21	14:14	16:22

フリー降車区間

フリー降車区間

フリー降車
(一部乗車可)区間



丹野・嶺田コース（くま）

（変更後）

6号車

平田経由
菊川市立総合病院 行き

第一便の出発時間変更

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便	第五便
西ヶ崎公民館	7:06	9:16	11:24	14:17	16:25
堂山公民館	7:09	9:19	11:27	14:20	16:28
赤土下	7:13	9:23	11:31	14:24	16:32
あかつちクリニック	7:15	9:24	11:32	14:25	16:33
菊川市水道事務所	7:18	9:26	11:34	14:27	16:35
中嶺田	7:22	9:29	11:37	14:30	16:38
西嶺田	7:24	9:30	11:38	14:31	16:39
西嶺田公民館	7:25	9:31	11:39	14:32	16:40
大石構造改善センター	7:27	9:33	11:41	14:34	16:42
小菊荘	7:29	9:35	11:43	14:36	16:44
嶺田神社前	7:31	9:37	11:45	14:38	16:46
みねだ会館	7:32	9:38	11:46	14:39	16:47
塩の道公園前	7:33	9:39	11:47	14:40	16:48
平川橋西	7:34	9:40	11:48	14:41	16:49
平田	7:36	9:42	11:50	14:43	16:51
小笠支所	7:37	9:43	11:51	14:44	
田子重小笠店	↓	9:45	11:53	14:46	
JA遠州夢咲本店	7:38	9:46	11:54	14:47	
杏林堂小笠店	7:39	9:47	11:55	14:48	
棚草	7:40	9:48	11:56	14:49	
棚草公民館	7:41	9:49	11:57	14:50	
棚草入口	7:42	9:50	11:58	14:51	
和松会	7:44	9:52	12:00	14:53	
猿渡橋	7:45	9:53	12:01	14:54	
川上橋	7:46	9:54	12:02	14:55	
川中公民館	7:47	9:55	12:03	14:56	
川東公民館	7:49	9:57	12:05	14:58	
古谷	7:51	9:59	12:07	15:00	
東林寺入口	7:52	10:00	12:08	15:01	
丹野橋	7:53	10:01	12:09	15:02	
丹野	7:54	10:02	12:10	15:03	
丹野公民館	7:55	10:03	12:11	15:04	
中丹野	7:56	10:04	12:12	15:05	
奥横地公民館	7:59	10:07	12:15	15:08	
奥横地屋台小屋	8:00	10:08	12:16	15:09	
菊川市立総合病院	8:03	10:11	12:19	15:12	

フリー降車
車(一部乗
車可)区間

フリー降車
区間

フリー降車
区間

平田経由
西ヶ崎公民館 行き

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便
菊川市立総合病院	8:18	10:26	13:19	15:27
Vドラッグ前	8:20	10:27	13:20	15:28
奥横地屋台小屋	8:22	10:29	13:22	15:30
奥横地公民館	8:23	10:30	13:23	15:31
中丹野	8:26	10:33	13:26	15:34
丹野公民館	8:27	10:34	13:27	15:35
丹野	8:28	10:35	13:28	15:36
丹野橋	8:29	10:36	13:29	15:37
東林寺入口	8:30	10:37	13:30	15:38
古谷	8:31	10:38	13:31	15:39
川東公民館	8:33	10:40	13:33	15:41
川中公民館	8:34	10:41	13:34	15:42
川上橋	8:35	10:42	13:35	15:43
猿渡橋	8:36	10:43	13:36	15:44
和松会	8:37	10:44	13:37	15:45
棚草入口	8:39	10:46	13:39	15:47
棚草公民館	8:40	10:47	13:40	15:48
棚草	8:41	10:48	13:41	15:49
杏林堂小笠店	8:42	10:49	13:42	15:50
JA遠州夢咲本店	8:43	10:50	13:43	15:51
田子重小笠店	↓	10:51	13:44	15:52
小笠支所	8:44	10:53	13:46	15:54
平田	8:45	10:54	13:47	15:55
平川橋西	8:47	10:56	13:49	15:57
塩の道公園前	8:48	10:57	13:50	15:58
みねだ会館	8:49	10:58	13:51	15:59
嶺田神社前	8:50	10:59	13:52	16:00
小菊荘	8:52	11:01	13:54	16:02
大石構造改善センター	8:54	11:03	13:56	16:04
西嶺田公民館	8:56	11:05	13:58	16:06
西嶺田	8:57	11:06	13:59	16:07
中嶺田	8:58	11:07	14:00	16:08
赤土下	9:01	11:10	14:03	16:11
あかつちクリニック	9:02	11:11	14:04	16:12
菊川市水道事務所	9:04	11:13	14:06	16:14
堂山公民館	9:09	11:18	14:11	16:19
西ヶ崎公民館	9:13	11:21	14:14	16:22

フリー降車
区間

フリー降車
区間

フリー降車
車(一部乗
車可)区間

【三沢・河東コース：定時定路線】

変更年月日

令和7年4月1日
(予定)

主な変更点

・第2便、第4便の停留所（NOKフガクエンジニアリング北）の移設

(現)

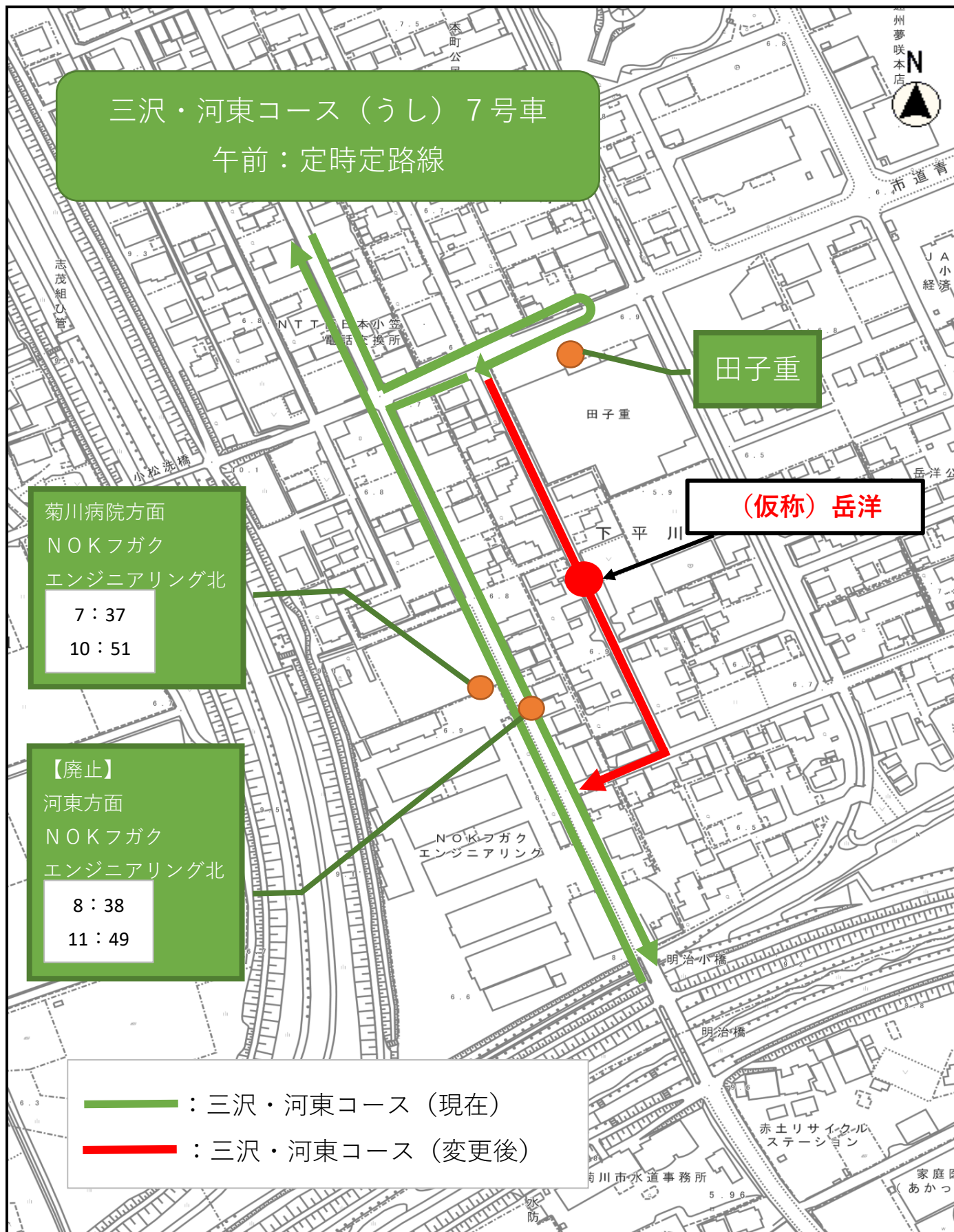
(新)

※赤字は変更箇所

区分	内容
コース名 (系統名)	三沢・河東コース
表示動物	うし
運行方式	定時定路線運行
使用車両	ハイエースワゴン 10人乗り
運行系統	菊川市立総合病院－平田－ 菊川市立総合病院
運行路線	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
運行ダイヤ	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
運行延長 (最大)	33.3km
所要時間 (最大)	83分
運行本数	3.6便／日
運行時刻	定時定路線 7:07～12:48
停留所数	37ヶ所



内容
三沢・河東コース
うし
定時定路線運行
ハイエースワゴン 10人乗り
菊川市立総合病院－平田－ 菊川市立総合病院
p8のとおり
p8のとおり
33.3km
83分
3.6便／日
定時定路線 7:07～12:48
37ヶ所





三沢・河東コース（うし）

（変更前）

7号車

平田經由
菊川市立総合病院 行き

停留所	第一便
高橋	7:07
佐栗谷コミュニティセンター	7:08
松秀園	7:09
今間公民館	7:11
一之谷公民館	7:12
藤井公民館	7:14
西村公民館	7:17
北之谷	7:18
堀口公民館	7:19
中西公民館	7:20
南町三丁目	7:22
前岡	7:24
南ニュータウン	7:25
山西公民館	7:27
虚空蔵	7:28
赤土下	7:30
菊川市水道事務所	7:32
あかつちクリニック	7:35
NOKフガクエンジニアリング北	7:37
平田	7:39
小笠支所	7:40
JA遠州夢咲本店	7:41
杏林堂小笠店	7:42
東組公民館	7:43
志瑞	7:46
八幡谷	7:48
協和会館	7:50
宝珠寺	7:51
三沢公民館	7:54
三沢下集会所	7:55
横地小学校	7:56
段横地	7:57
菊川市立総合病院	7:59

フリー降車区間

フリー乗降区間
フリー降車区間

フリー降車区間

平田經由菊川市立総合病院 行き
赤土⇒河東方面回り

停留所	第二便	第四便
菊川市立総合病院	8:14	11:25
Vドラッグ前	8:15	11:26
段横地	8:16	11:27
横地小学校	8:17	11:28
三沢下集会所	8:18	11:29
三沢公民館	8:19	11:30
宝珠寺	8:22	11:33
協和会館	8:23	11:34
八幡谷	8:25	11:36
志瑞	8:27	11:38
東組公民館	8:30	11:41
杏林堂小笠店	8:31	11:42
JA遠州夢咲本店	8:32	11:43
小笠支所	8:33	11:44
平田	8:34	11:45
田子重小笠店	8:37	11:48
NOKフガクエンジニアリング北	8:38	11:49
あかつちクリニック	8:40	11:51
菊川市水道事務所	8:42	11:53
赤土下	8:44	11:55
虚空蔵	8:46	11:57
山西公民館	8:47	11:58
南ニュータウン	8:49	12:00
前岡	8:50	12:01
南町三丁目	8:52	12:03
中西公民館	8:54	12:05
堀口公民館	8:55	12:06
北之谷	8:56	12:07
西村公民館	8:57	12:08
藤井公民館	8:59	12:10
一之谷公民館	9:02	12:13
今間公民館	9:03	12:14
松秀園	9:05	12:16
佐栗谷コミュニティセンター	9:06	12:17
高橋	9:07	12:18
山平下	9:10	12:21
春日	9:14	12:25
田子重小笠店	9:17	12:28
JA遠州夢咲本店	9:19	12:30
杏林堂小笠店	9:20	12:31
東組公民館	9:21	12:32
志瑞	9:24	12:35
八幡谷	9:26	12:37
協和会館	9:28	12:39
宝珠寺	9:29	12:40
三沢公民館	9:32	12:43
三沢下集会所	9:33	12:44
横地小学校	9:34	12:45
段横地	9:35	12:46
菊川市立総合病院	9:37	12:48

フリー降車区間

フリー降車区間
フリー乗降区間
フリー降車区間

フリー降車区間

フリー降車区間

フリー降車区間

平田經由菊川市立病院 行き
河東⇒赤土方面回り

停留所	第三便
菊川市立総合病院	9:52
Vドラッグ前	9:53
段横地	9:54
横地小学校	9:55
三沢下集会所	9:56
三沢公民館	9:57
宝珠寺	10:00
協和会館	10:01
八幡谷	10:03
志瑞	10:05
東組公民館	10:08
杏林堂小笠店	10:09
JA遠州夢咲本店	10:10
田子重小笠店	10:12
春日	10:15
山平下	10:19
高橋	10:22
佐栗谷コミュニティセンター	10:23
松秀園	10:24
今間公民館	10:26
一之谷公民館	10:27
藤井公民館	10:29
西村公民館	10:32
北之谷	10:33
堀口公民館	10:34
中西公民館	10:35
南町三丁目	10:37
前岡	10:39
南ニュータウン	10:40
山西公民館	10:42
虚空蔵	10:43
赤土下	10:45
菊川市水道事務所	10:47
あかつちクリニック	10:49
NOKフガクエンジニアリング北	10:51
田子重小笠店	10:52
平田	10:55
小笠支所	10:56
JA遠州夢咲本店	10:57
杏林堂小笠店	10:58
東組公民館	10:59
志瑞	11:02
八幡谷	11:04
協和会館	11:06
宝珠寺	11:07
三沢公民館	11:10
三沢下集会所	11:11
横地小学校	11:12
段横地	11:13
菊川市立総合病院	11:15

フリー降車区間

フリー降車区間

フリー降車区間

フリー乗降区間
フリー降車区間

フリー降車区間



平田經由
菊川市立総合病院 行き

停留所	第一便
高橋	7:07
佐栗谷コミュニティセンター	7:08
松秀園	7:09
今間公民館	7:11
一之谷公民館	7:12
藤井公民館	7:14
西村公民館	7:17
北之谷	7:18
堀口公民館	7:19
中西公民館	7:20
南町三丁目	7:22
前岡	7:24
南ニュータウン	7:25
山西公民館	7:27
虚空蔵	7:28
赤土下	7:30
菊川市水道事務所	7:32
あかつちクリニック	7:35
NOKフガクエンジニアリング北	7:37
平田	7:39
小笠支所	7:40
JA遠州夢咲本店	7:41
杏林堂小笠店	7:42
東組公民館	7:43
志瑞	7:46
八幡谷	7:48
協和会館	7:50
宝珠寺	7:51
三沢公民館	7:54
三沢下集会所	7:55
横地小学校	7:56
段横地	7:57
菊川市立総合病院	7:59

フリー降車区間

フリー乗降区間
フリー降車区間

フリー降車区間

停留所の名称変更

平田經由菊川市立総合病院 行き
赤土⇒河東方面回り

停留所	第二便	第四便
菊川市立総合病院	8:14	11:25
Vドラッグ前	8:15	11:26
段横地	8:16	11:27
横地小学校	8:17	11:28
三沢下集会所	8:18	11:29
三沢公民館	8:19	11:30
宝珠寺	8:22	11:33
協和会館	8:23	11:34
八幡谷	8:25	11:36
志瑞	8:27	11:38
東組公民館	8:30	11:41
杏林堂小笠店	8:31	11:42
JA遠州夢咲本店	8:32	11:43
小笠支所	8:33	11:44
平田	8:34	11:45
田子重小笠店	8:37	11:48
NOKフガクエンジニアリング北	8:38	11:49
あかつちクリニック	8:40	11:51
菊川市水道事務所	8:42	11:53
赤土下	8:44	11:55
虚空蔵	8:46	11:57
山西公民館	8:47	11:58
南ニュータウン	8:49	12:00
前岡	8:50	12:01
南町三丁目	8:52	12:03
中西公民館	8:54	12:05
堀口公民館	8:55	12:06
北之谷	8:56	12:07
西村公民館	8:57	12:08
藤井公民館	8:59	12:10
一之谷公民館	9:02	12:13
今間公民館	9:03	12:14
松秀園	9:05	12:16
佐栗谷コミュニティセンター	9:06	12:17
高橋	9:07	12:18
山平下	9:10	12:21
春日	9:14	12:25
田子重小笠店	9:17	12:28
JA遠州夢咲本店	9:19	12:30
杏林堂小笠店	9:20	12:31
東組公民館	9:21	12:32
志瑞	9:24	12:35
八幡谷	9:26	12:37
協和会館	9:28	12:39
宝珠寺	9:29	12:40
三沢公民館	9:32	12:43
三沢下集会所	9:33	12:44
横地小学校	9:34	12:45
段横地	9:35	12:46
菊川市立総合病院	9:37	12:48

フリー降車区間

フリー乗降区間
フリー降車区間

フリー降車区間

フリー降車区間

フリー降車区間

平田經由菊川市立病院 行き
河東⇒赤土方面回り

停留所	第三便
菊川市立総合病院	9:52
Vドラッグ前	9:53
段横地	9:54
横地小学校	9:55
三沢下集会所	9:56
三沢公民館	9:57
宝珠寺	10:00
協和会館	10:01
八幡谷	10:03
志瑞	10:05
東組公民館	10:08
杏林堂小笠店	10:09
JA遠州夢咲本店	10:10
田子重小笠店	10:12
春日	10:15
山平下	10:19
高橋	10:22
佐栗谷コミュニティセンター	10:23
松秀園	10:24
今間公民館	10:26
一之谷公民館	10:27
藤井公民館	10:29
西村公民館	10:32
北之谷	10:33
堀口公民館	10:34
中西公民館	10:35
南町三丁目	10:37
前岡	10:39
南ニュータウン	10:40
山西公民館	10:42
虚空蔵	10:43
赤土下	10:45
菊川市水道事務所	10:47
あかつちクリニック	10:49
NOKフガクエンジニアリング北	10:51
田子重小笠店	10:52
平田	10:55
小笠支所	10:56
JA遠州夢咲本店	10:57
杏林堂小笠店	10:58
東組公民館	10:59
志瑞	11:02
八幡谷	11:04
協和会館	11:06
宝珠寺	11:07
三沢公民館	11:10
三沢下集会所	11:11
横地小学校	11:12
段横地	11:13
菊川市立総合病院	11:15

フリー降車区間

フリー降車区間

フリー降車区間

フリー乗降区間
フリー降車区間

フリー降車区間

既存バス停付近



移設先バス停付近



【三沢・河東コース：デマンド】

変更年月日

令和7年4月1日
(予定)

主な変更点

- ・ 停留所（NOKフガクエンジニアリング北）の移設

(現)

(新)

※赤字は変更箇所

区分	内容
コース名 (系統名)	三沢・河東コース
表示動物	うし
運行方式	第5、6、7便はデマンド運行
使用車両	タクシー車両
運行系統	菊川市立総合病院－平田－ 藤井公民館
運行路線	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
運行ダイヤ	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
所要時間 (最大)	40分
運行本数	3便／日
運行時刻	13：30～16：00（発車時刻）
停留所数	40ヶ所



内容
三沢・河東コース
うし
第5、6、7便はデマンド運行
タクシー車両
菊川市立総合病院－平田－ 藤井公民館
p14のとおり
p14のとおり
40分
3便／日
13：30～16：00（発車時刻）
40ヶ所

【奈良野・布引原コース：デマンド】

変更年月日

令和7年4月1日
(予定)

主な変更点

- ・ 停留所（NOKフガクエンジニアリング北）の移設

(現)

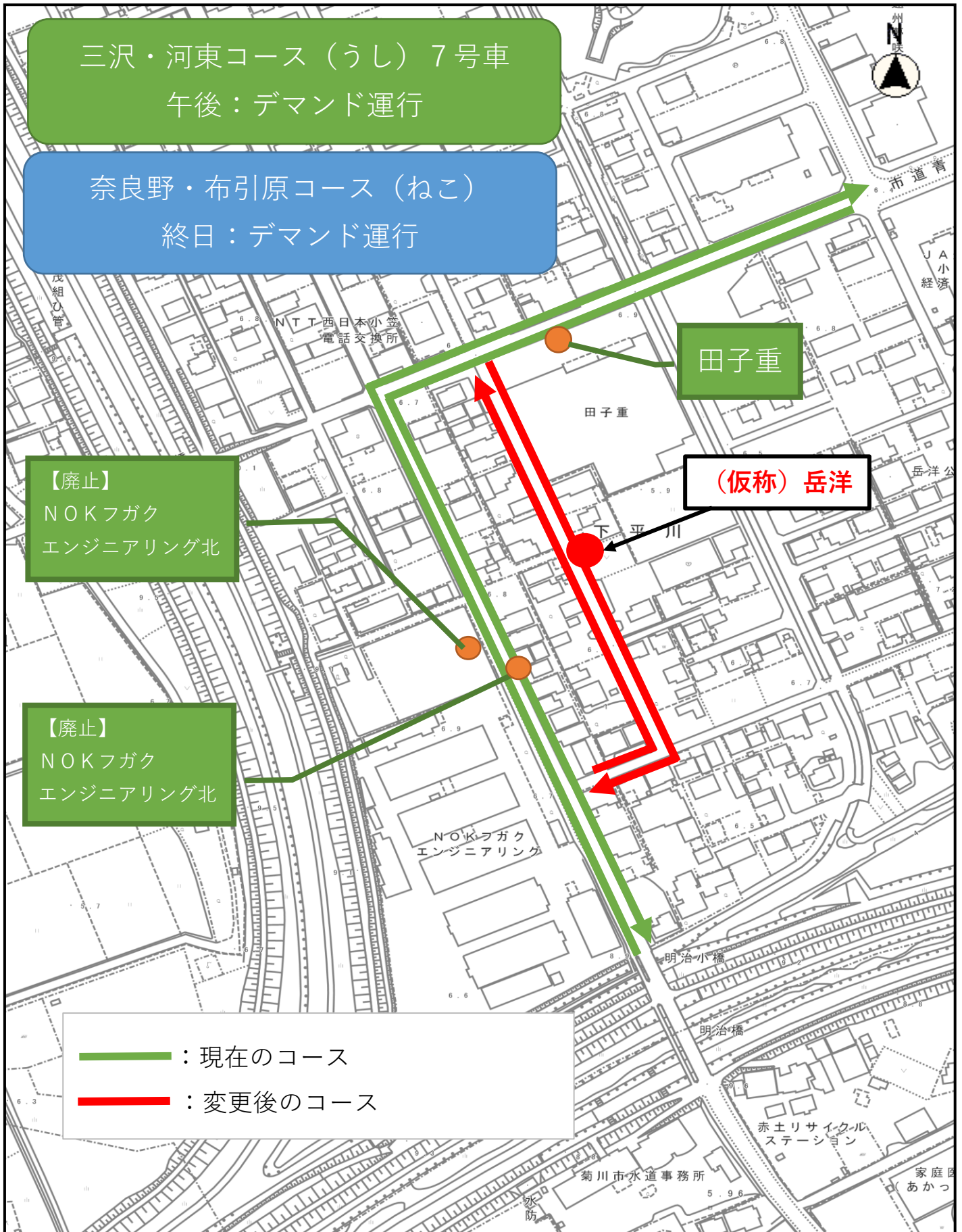
(新)

※赤字は変更箇所

区分	内容
コース名 (系統名)	奈良野・布引原コース
表示動物	ねこ
運行方式	デマンド運行
使用車両	タクシー車両
運行系統	布引原北公民館－平田－菊川市立総合病院
運行路線	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
運行ダイヤ	令和6年度 コース図・時刻表のとおり
所要時間 (最大)	50分
運行本数	6便／日
運行時刻	7：30～16：00（発車時刻）
停留所数	32ヶ所



内容
奈良野・布引原コース
ねこ
デマンド運行
タクシー車両
布引原北公民館－平田－菊川市立総合病院
p16のとおり
p16のとおり
50分
6便／日
7：30～16：00（発車時刻）
32ヶ所





(变更前)

予約型

フリー降車区間

フリー降車区間

13



(変更後)

藤井公民館 発
菊川市立総合病院方面 行き

フリー降車区間

フリー
降車区間

14



奈良野・布引原コース（ねこ）

布引原北公民館 発
菊川市立総合病院方面 行き

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便	第五便	第六便
予約締切時間	前日	8:20	9:40	11:00	12:20	13:40
布引原北公民館	7:30	8:50	10:10	11:30	12:50	14:10
布引原南公民館	(7:40)	(9:00)	(10:20)	(11:40)	(13:00)	(14:20)
高橋原						
高橋原公民館						
正林寺						
磯部						
花水木団地						
花水木						
くすりん	(7:50)	(9:10)	(10:30)	(11:50)	(13:10)	(14:30)
城山下						
川西						
赤土上						
赤土公民館						
赤土下						
菊川市水道事務所						
あかつちクリニック	(8:00)	(9:20)	(10:40)	(12:00)	(13:20)	(14:40)
NOKフガクエンジニアリング北						
田子重小笠店						
JA遠州夢咲本店						
杏林堂小笠店						
小笠支所						
ひらかわ会館						
平田	(8:10)	(9:30)	(10:50)	(12:10)	(13:30)	(14:50)
堤						
池村公民館						
高田						
段平尾						
北島クリニック						
川島公会堂						
段横地	(8:20)	(9:40)	(11:00)	(12:20)	(13:40)	(15:00)
Vドラッグ前						
菊川市立総合病院						

フリー乗降区間

フリー降車区間

(変更前)

予約型

菊川市立総合病院 発
布引原北公民館方面 行き

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便	第五便	第六便
予約締切時間	9:40	10:50	12:00	13:10	14:20	15:30
菊川市立総合病院	10:10	11:20	12:30	13:40	14:50	16:00
Vドラッグ前	(10:20)	(11:30)	(12:40)	(13:50)	(15:00)	(16:10)
段横地						
川島公会堂						
北島クリニック						
段平尾						
高田						
池村公民館						
堤	(10:30)	(11:40)	(12:50)	(14:00)	(15:10)	(16:20)
平田						
ひらかわ会館						
小笠支所						
杏林堂小笠店						
JA遠州夢咲本店						
田子重小笠店						
NOKフガクエンジニアリング北	(10:40)	(11:50)	(13:00)	(14:10)	(15:20)	(16:30)
あかつちクリニック						
菊川市水道事務所						
赤土下						
赤土公民館						
赤土上						
川西						
城山下	(10:50)	(12:00)	(13:10)	(14:20)	(15:30)	(16:40)
くすりん						
花水木						
花水木団地						
磯部						
正林寺						
高橋原公民館						
高橋原	(11:00)	(12:10)	(13:20)	(14:30)	(15:40)	(16:50)
布引原南公民館						
布引原北公民館						

フリー降車区間

フリー乗降区間

※括弧書きの時刻は目安であり、予約状況により前後する可能性があります。
※フリー乗車区間では路線上であれば、停留所ではなくても乗車することができます。
※降車場所については、降車区域内であれば、どこでも降車することができます。



奈良野・布引原コース（ねこ）

布引原北公民館 発
菊川市立総合病院方面 行き

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便	第五便	第六便
予約締切時間	前日	8:20	9:40	11:00	12:20	13:40
布引原北公民館	7:30	8:50	10:10	11:30	12:50	14:10
布引原南公民館	(7:40)	(9:00)	(10:20)	(11:40)	(13:00)	(14:20)
高 橋 原						
高橋原公民館						
正 林 寺						
磯 部						
花 水 木 団 地						
花 水 木	(7:50)	(9:10)	(10:30)	(11:50)	(13:10)	(14:30)
く す り ん						
城 山 下						
川 西						
赤 土 上						
赤土公民館						
赤 土 下	(8:00)	(9:20)	(10:40)	(12:00)	(13:20)	(14:40)
菊川市水道事務所						
あかつちクリニック						
(仮称)岳洋						
田子重小笠店						
JA遠州夢咲本店						
杏林堂小笠店	(8:10)	(9:30)	(10:50)	(12:10)	(13:30)	(14:50)
小 笠 支 所						
ひらかわ会館						
平 田						
堤						
池 村 公 民 館						
高 田	(8:20)	(9:40)	(11:00)	(12:20)	(13:40)	(15:00)
段 平 尾						
北島クリニック						
川 島 公 会 堂						
段 横 地						
Vドラッグ 前						
菊川市立総合病院	(8:20)	(9:40)	(11:00)	(12:20)	(13:40)	(15:00)

フリー乗降区間

フリー降車区間

(変更後)

予約型

菊川市立総合病院 発
布引原北公民館方面 行き

停留所	第一便	第二便	第三便	第四便	第五便	第六便
予約締切時間	9:40	10:50	12:00	13:10	14:20	15:30
菊川市立総合病院	10:10	11:20	12:30	13:40	14:50	16:00
Vドラッグ 前	(10:20)	(11:30)	(12:40)	(13:50)	(15:00)	(16:10)
段 横 地						
川 島 公 会 堂						
北島クリニック						
段 平 尾						
高 田						
池 村 公 民 館	(10:30)	(11:40)	(12:50)	(14:00)	(15:10)	(16:20)
堤						
平 田						
ひらかわ会館						
小 笠 支 所						
杏林堂小笠店						
JA遠州夢咲本店	(10:40)	(11:50)	(13:00)	(14:10)	(15:20)	(16:30)
田子重小笠店						
(仮称)岳洋						
あかつちクリニック						
菊川市水道事務所						
赤 土 下						
赤土公民館	(10:50)	(12:00)	(13:10)	(14:20)	(15:30)	(16:40)
赤 土 上						
川 西						
城 山 下						
く す り ん						
花 水 木						
花水木団地	(11:00)	(12:10)	(13:20)	(14:30)	(15:40)	(16:50)
磯 部						
正 林 寺						
高橋原公民館						
高 橋 原						
布引原南公民館						
布引原北公民館	(11:00)	(12:10)	(13:20)	(14:30)	(15:40)	(16:50)

フリー降車区間

フリー乗降区間

※括弧書きの時刻は目安であり、予約状況により前後する可能性があります。
※フリー乗車区間では路線上であれば、停留所ではなくても乗車することができます。
※降車場所については、降車区域内であれば、どこでも降車することができます。

協議事項 2

静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会への申し出事項について

1 提案理由等

市が自主運行事業を実施する場合及び事業者が幹線系統の運行をする場合、次年度以降の運行について、地域公共交通会議の合意を得て静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会へ申し出ることが必要となります。

菊川市地域公共交通会議委員のみなさまに、これらの路線を維持していくことについて協議していただき、必要であるとお認めいただければ、地域の同意を得たとみなされます。

2 対象路線

番号	路線名	事業主体	申し出の種類
1	菊川市コミュニティバス (定時定路線) (7コース)	菊川市	市町自主運行
2	菊川市コミュニティバス (デマンド) (2コース)	菊川市	市町自主運行
3	萩間線 (2系統)	牧之原市・島田市・菊川市	市町自主運行
4	菊川浜岡線 (菊川市立総合病院経由)	しずてつジャストライン(株)	単独継続困難

■ 番号1・2 菊川市コミュニティバス(定時定路線・デマンド)

(1)生活交通確保計画案

◇現 行・・・R6.4.1～R7.3.31

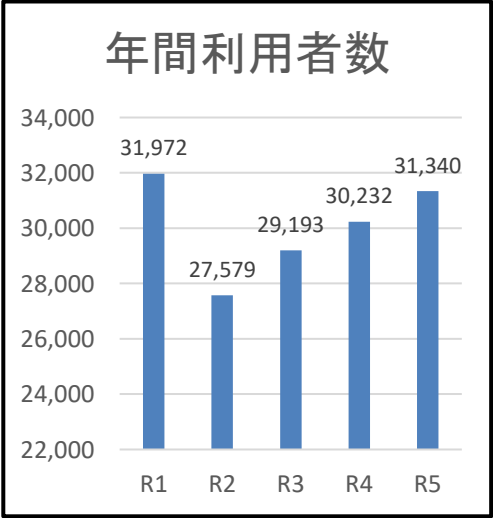
◇R7計画・・・R7.4.1～R8.3.31

系統名 (路線名)	区分	運行系統			輸送サービスの範囲 (路線沿線の需要と特性、地域住民数、利用者の属性など)	運行形態	運行事業者名	関係市町村名	運行時間帯
		起点	経過地	終点					
西方コース	現行	堀之内公会堂	菊川駅前	菊川市立総合病院	交通空白地域に居住する移動手段を持たない高齢者等の通院・買い物・公共施設等への移動支援	自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:04～13:44
	R7計画	堀之内公会堂	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:04～13:44
沢水加コース (第1・3・5便)	現行	六本松集会所	菊川市立総合病院	六本松集会所		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:16～14:57
	R7計画	六本松集会所	菊川市立総合病院	六本松集会所		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:16～14:57
沢水加コース (第2・4便)	現行	六本松集会所	菊川市立総合病院	六本松集会所		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	9:02～12:30
	R7計画	六本松集会所	菊川市立総合病院	六本松集会所		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	9:02～12:30
倉沢・富田コース (第1便)	現行	上倉沢公会堂	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:09
	R7計画	上倉沢公会堂	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:09
	現行 (夏季運休)								
	R7計画 (夏季運休)	上倉沢公会堂	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:22
倉沢・富田コース (第2便)	現行	西富田茶農協	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	8:28
	R7計画	西富田茶農協	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	8:28
倉沢・富田コース (第3～6便)	現行	菊川市立総合病院	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	9:30～15:45
	R7計画	菊川市立総合病院	菊川駅前	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	9:30～15:45
菊川東循環コース	現行	布引原北公民館	菊川市立総合病院	布引原北公民館		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:04～15:46
	R7計画	布引原北公民館	菊川市立総合病院	布引原北公民館		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:04～15:41
菊川西循環コース (第1・3・4・6便)	現行	中内田上地区集落センター	菊川市立総合病院	中内田上地区集落センター		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:27～15:19
	R7計画	中内田上地区集落センター	菊川市立総合病院	中内田上地区集落センター		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:27～15:19
菊川西循環コース (第2・5便)	現行	中内田上地区集落センター	菊川市立総合病院	中内田上地区集落センター		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	8:56～13:55
	R7計画	中内田上地区集落センター	菊川市立総合病院	中内田上地区集落センター		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	8:56～13:55
丹野・嶺田コース	現行	西ヶ崎公民館	平田	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:05～16:25
	R7計画	西ヶ崎公民館	平田	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:06～16:25
三沢・河東コース	現行	菊川市立総合病院	平田	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:07～11:25
	R7計画	菊川市立総合病院	平田	菊川市立総合病院		自主運行バス	㈱第一通商	菊川市	7:07～11:25
奈良野・布引原コース (デマンド)	現行	布引原北公民館	平田	菊川市立総合病院	交通空白地域に居住する移動手段を持たない高齢者等の通院・買い物・公共施設等への移動支援	自主運行バス	菊川タクシー(有)	菊川市	7:30～14:10
	R7計画	布引原北公民館	平田	菊川市立総合病院		自主運行バス	菊川タクシー(有)	菊川市	7:30～14:10
三沢・河東コース (デマンド)	現行	菊川市立総合病院	平田	藤井公民館		自主運行バス	菊川タクシー(有)	菊川市	13:30～15:30
	R7計画	菊川市立総合病院	平田	藤井公民館		自主運行バス	菊川タクシー(有)	菊川市	13:30～15:30

系統名 (路線名)	区分	実車走行 キロ程 (km)	経常費用 (千円)	経常収入 (千円)	欠損額 (千円)	公的負担額 (県費補助 を含む) (千円)	公的支援 の方法	利用促進・ 収支改善策
菊川市コミュニ ティバス (定時定路 線) (全11系統)	現行 R6.4.1 ～ R7.3.31	297,327.5	38,684	2,751	△ 35,933	△ 35,933	県費補助 <参考> R5実績: 5,605 千円	・出前行政講 座等でバス 利用を呼び かける。
	計画 R7.4.1 ～ R8.3.31	296,846.6	39,706	2,751	△ 36,955	△ 36,955		
菊川市コミュニ ティバス (デマンド) (全2系統)	現行 R6.4.1 ～ R7.3.31	—	1,349	63	△ 1,286	△ 1,286	県費補助 <参考> R5実績: 134 千円	・運行再編部 分を重点的 に各地区や 利用者へ説 明する。
	計画 R7.4.1 ～ R8.3.31	—	3,589	126	△ 3,463	△ 3,463		

(2)運行状況(参考)

●年間利用者数(4月～3月)



●収支状況

年度	費用 A (千円)	運賃収入 B (千円)	県補助 C (千円)	運行経費 D=A-(B+C) (千円)	公的負担額 E=C+D (千円)
R1	48,495	2,103	4,486	41,905	46,391
R2	40,630	1,808	5,619	33,202	38,821
R3	40,154	2,021	4,178	33,954	38,132
R4	40,345	2,125	5,163	31,761	36,924
R5	40,660	2,360	4,223	34,076	38,299

●委託料内訳

年度	定時定路 線運行 (千円)	デマンド 運行 (千円)	委託料 合計 (千円)
R1	48,495		48,495
R2	37,973	419	38,392
R3	38,406	402	38,808
R4	38,352	613	38,965
R5	38,135	684	38,819

■ 番号3 萩間線
(1)生活交通確保計画案

系統① 相良本通～金谷駅

区分	運行系統			輸送サービスの範囲(路線沿線の需要と特性、地域住民数、利用者の属性など)	運行形態	運行事業者名	関係市町村名	運行時間帯
	起点	経過地	終点					
現行(R6)	相良本通	牧之原小	金谷駅前	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつジャストライン(株)	牧之原市 島田市・菊川市	6:55～19:25
計画(R7)	相良本通	牧之原小	金谷駅前		自主運行バス	しずてつジャストライン(株)	牧之原市 島田市・菊川市	6:55～19:25

区分	キロ程(km)	実車走行キロ程(km)	経常費用(千円)	経常収入(千円)	欠損額(千円)	合計額(千円)	公的支援の方法	収支改善策	菊川市の負担(千円)
現行(R6)	21.3	119,407.8	58,209	11,263	46,946	46,946	県費補助	※1	4,403
計画(R7)	21.3	119,024.4	60,011	11,275	48,736	48,736	県費補助		4,570

系統② 相良本通～金谷小学校

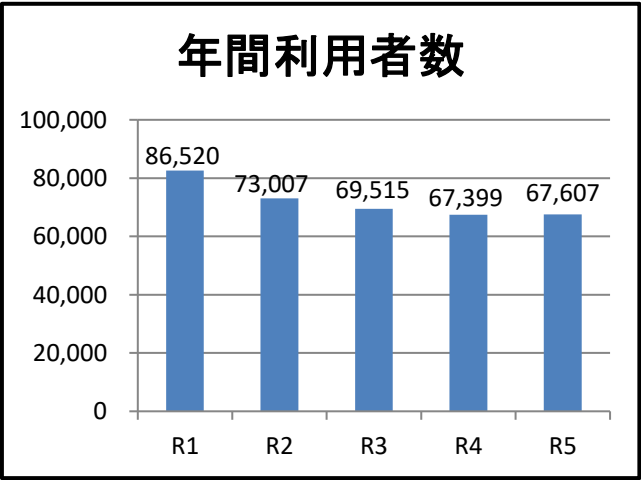
区分	運行系統			輸送サービスの範囲(路線沿線の需要と特性、地域住民数、利用者の属性など)	運行形態	運行事業者名	関係市町村名	運行時間帯
	起点	経過地	終点					
現行(R6)	相良本通	水呑	金谷小学校	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつジャストライン(株)	牧之原市 島田市・菊川市	6:25～16:30
計画(R7)	相良本通	水呑	金谷小学校		自主運行バス	しずてつジャストライン(株)	牧之原市 島田市・菊川市	6:25～16:30

区分	キロ程(km)	実車走行キロ程(km)	経常費用(千円)	経常収入(千円)	欠損額(千円)	合計額(千円)	公的支援の方法	収支改善策	負担金(千円)
現行(R6)	24.1/24.3	29,161	14,216	2,750	11,466	11,466	県費補助	※1	1,075
計画(R7)	24.1/24.3	28,919	14,581	2,739	11,842	11,842	県費補助		1,111

※1・運行時間の変更などにより、利便性の向上を図る。
・各系統とも運行事業者と連携し、尚一層の経費削減を図る。
・運行事業者の割引制度を導入し、新たな利用者の利用促進を図る。

(2)運行状況(参考)

●年間利用者数（4月～3月）



●収支状況

年度	委託金額(千円)	運賃収入(千円)	欠損額(千円)	菊川市負担金(千円)
R1	64,603	15,967	48,636	4,644
R2	67,914	12,225	55,689	5,219
R3	71,258	12,245	59,013	5,512
R4	72,424	12,740	59,684	5,570
R5	74,591	13,285	61,305	5,723

※萩間線は、牧之原市・島田市・菊川市の3市を委託しています。運行経費は市内走行距離に応じて3市で負担しています。
菊川市按分率:9.378292%(6ページ路線図参照)

■ 番号4 菊川浜岡線
(1)生活交通確保計画案

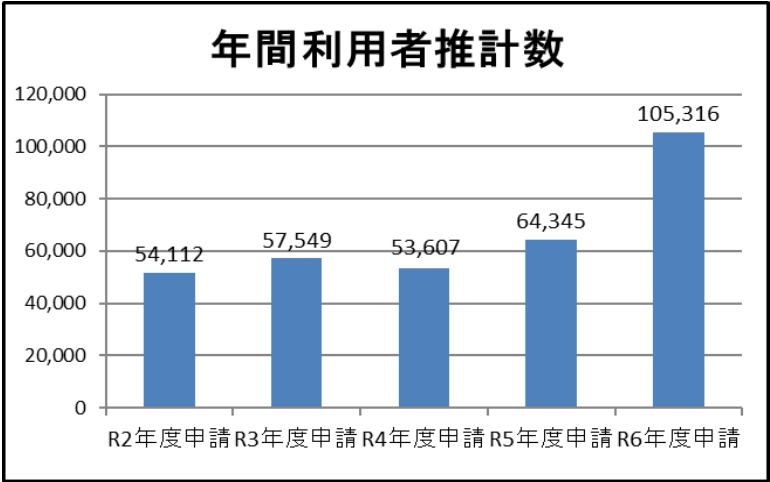
区分	運行系統			輸送サービスの範囲(路線沿線の需要と特性、地域住民数、利用者の属性など)	運行形態	運行事業者名	関係市町村名	運行時間帯
	起点	経過地	終点					
現行(R6)	菊川駅前	菊川市立総合病院	浜岡営業所	主に高校生の通学や通勤及び菊川市立総合病院への通院に利用されている	乗合バス	しずてつジャストライン(株)	御前崎市・菊川市	7:33～15:05
計画(R7)	菊川駅前	菊川市立総合病院	浜岡営業所		乗合バス	しずてつジャストライン(株)	御前崎市・菊川市	7:33～15:05

区分	キロ程(km)	実車走行キロ程(km)	経常費用(千円)	経常収入(千円)	欠損額(千円)	合計額(千円)	公的支援の方法	収支改善策	補助金(千円)
現行(R6)	往17.5 復17.5	96,722.5	44,465	23,533	△ 20,932	△ 20,932	国庫補助	広報等で利用促進をPR	3,866
計画(R7)	往17.5 復17.5	96,775.0	44,489	23,546	△ 20,943	△ 20,943	国庫補助		3,866

※競合区間のキロ程・カット額はなし

(2)運行状況(参考)

●年間利用者数 (前年10月～9月)



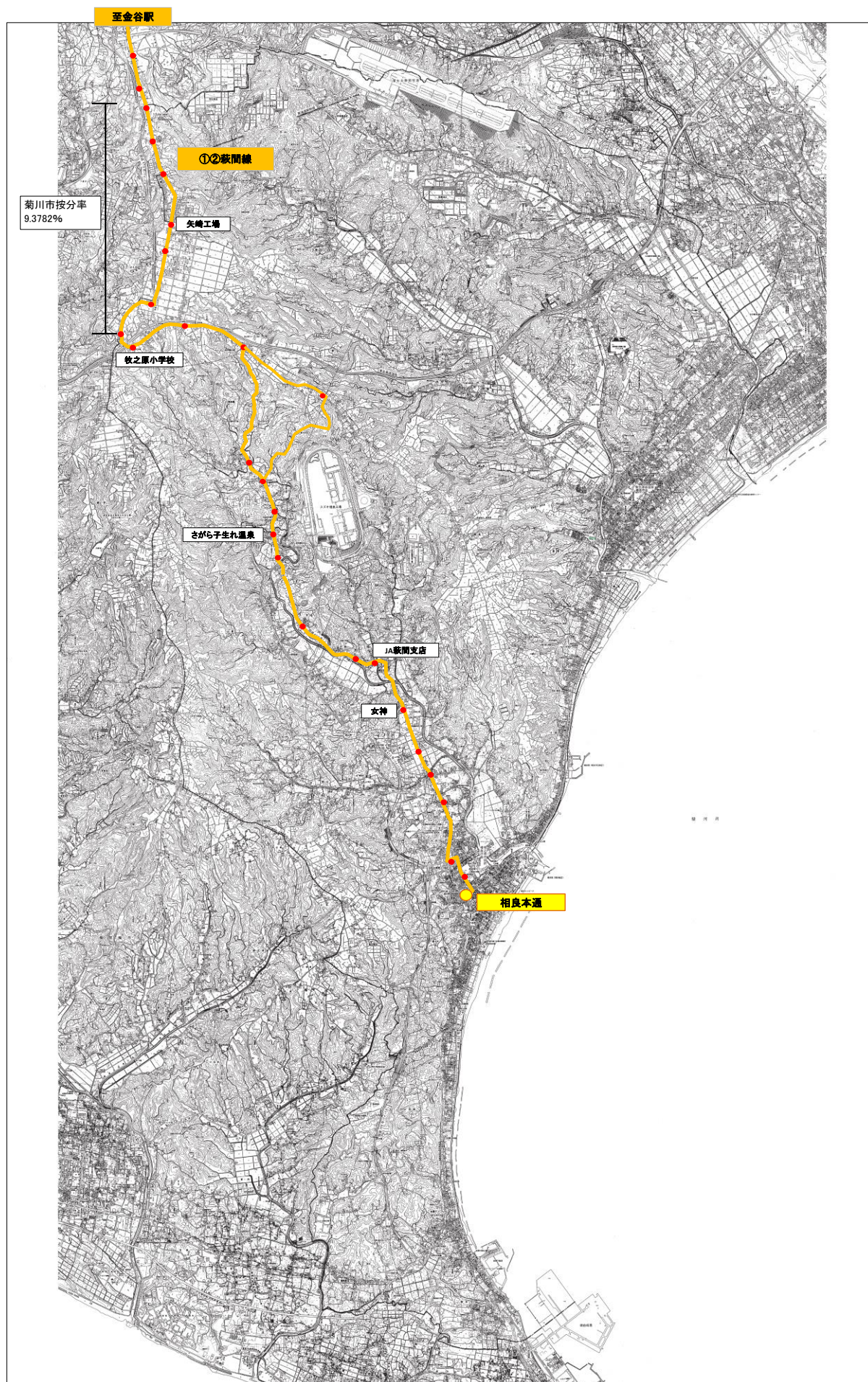
※乗降調査日(R6.6.21)を基準に年間利用者数を算出しているため実人数と異なります。

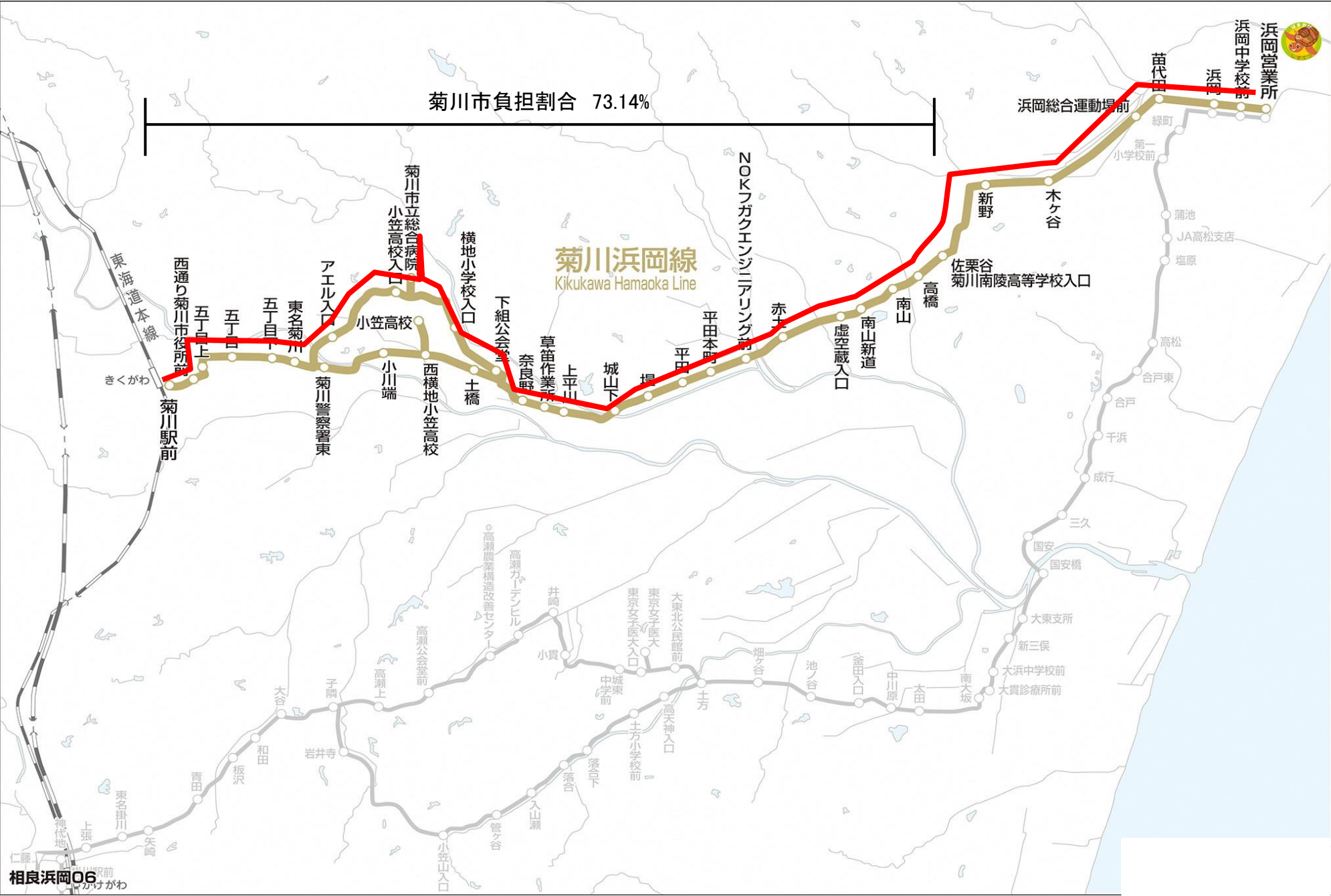
●収支状況

年度	経常費用(千円)	経常収益(千円)	欠損額(千円)	菊川市補助金(千円)
R1	33,765	20,433	13,331	1,948
R2	36,499	23,876	12,623	1,837
R3	40,746	24,714	16,032	2,225
R4	41,645	23,019	18,625	2,767
R5	40,458	20,900	19,557	3,651

※菊川浜岡線は、国庫補助金対象路線であり、欠損額から国庫補助金及び県費補助額を除いた額を御前崎市と市内走行距離により按分し、補助しております。
菊川市負担割合:73.14%(7ページ路線図参照)

萩間線路線図 (R7)





協議事項 3

静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価について

県の事業として実施している地域間幹線系統確保維持事業において、運行事業者による自己評価を行っており、評価結果に対する取組方針等について市で協議し、その結果を県協議会へ毎年 1 月に報告することとなっています。

取組方針等については、地域公共交通会議で協議し提出することとなっていますので、県及び事業者からの説明を受け、市の取組方針等についてご協議願います。

※地域間幹線系統とは、複数の市町を跨ぐ広域的・幹線的系統のことを指し、菊川市では、菊川浜岡線の 1 系統（菊川市立総合病院系統）が該当します。

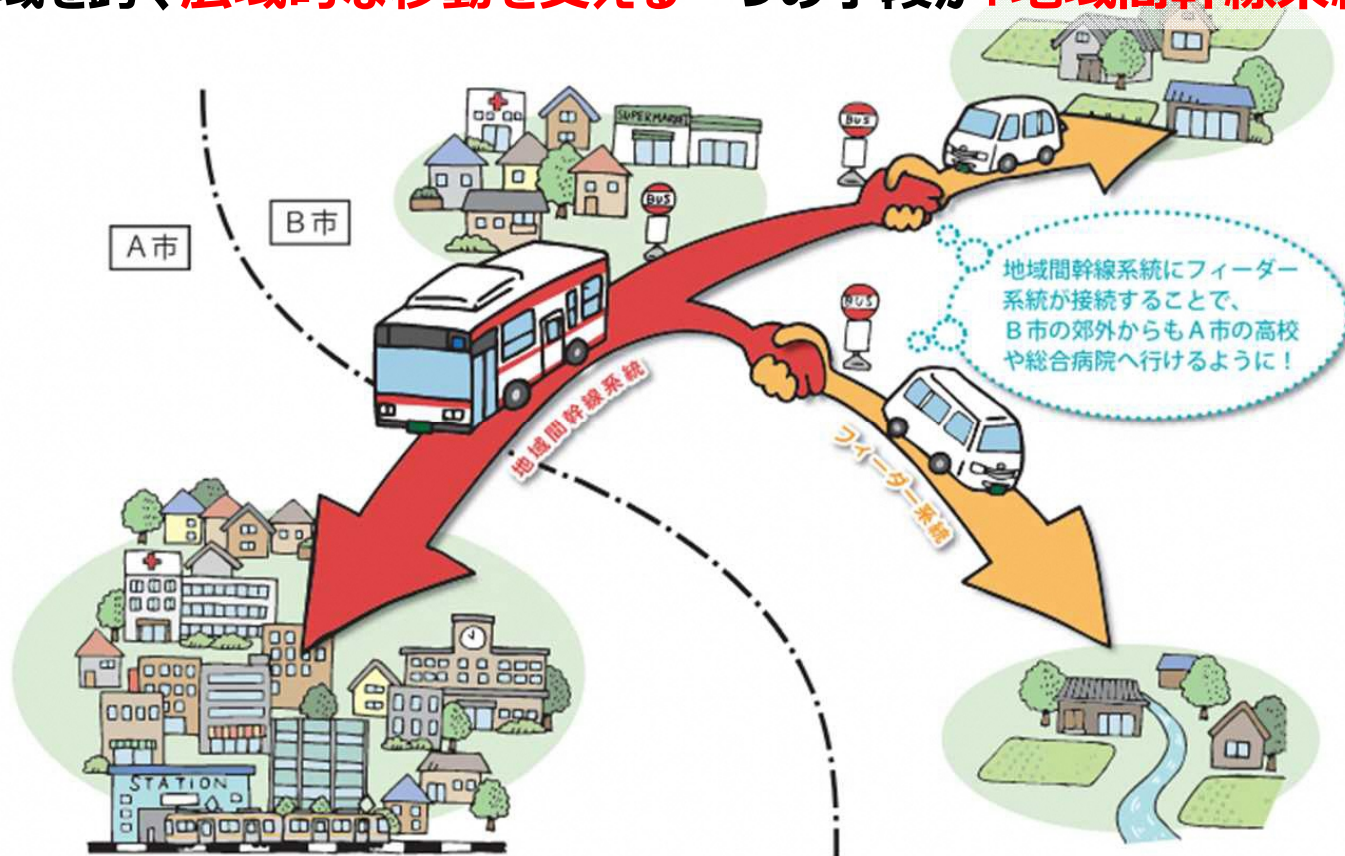
1. 静岡県（交通基盤部都市局地域交通課）からの評価概要の説明
2. 事業者（しずてつジャストライン株式会社）からの幹線系統の説明
3. 菊川市の取組方針等の協議

令和 6 年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

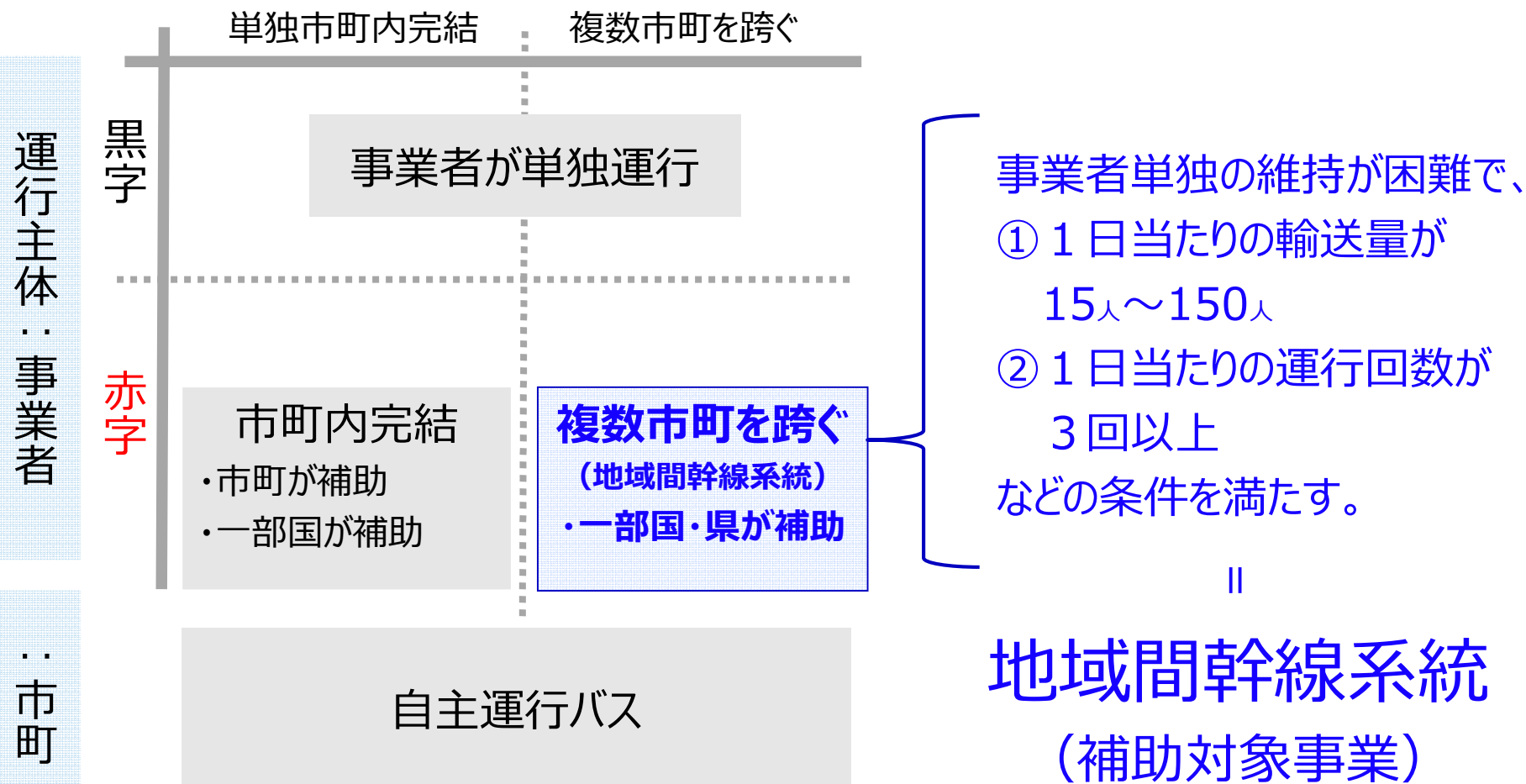
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために（監修：中部運輸局）

地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

○補助対象事業が適切に行われているか確認する

○評価結果を分析し、事業改善に繋げる

→補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会(旧静岡県生活交通確保対策協議会)を指す。

静岡県の地域間幹線系統評価基準（新）

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項 目	評価する内容	評 価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合 計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点未満

〈参考〉静岡県の地域間幹線系統評価基準（旧）

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項 目	評価する内容	評 価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
合 計		A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点



地域間幹線系統評価基準 主な変更点①

1 評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」に分類

項目	評価のポイント
補助基準	国・県の補助基準を満たしているか
実施状況	事業は効果的に実施されたか
幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか

2 評価項目に「輸送量」を追加（補助要件：15人／日）

結果	評価のポイント
15人／日～20人／日	今後利用者が減ると補助要件を満たさなくなるおそれがあるため、改善に向けた利用促進等の努力が必要
15人／日未満	今回から直ちに補助対象外となるわけではないが、今後の計画で補助を受けられなくなるおそれがあるため、見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

地域間幹線系統評価基準 主な変更点②

3 評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更

指標	点数	評価のポイント
A	86点以上	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B	66点～85点	地域間幹線系統として適した運行となっている
C	51点～65点	改善に向け努力を要する
D	50点以下	見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

※C・D評価の系統については、今後国、県の補助要件を満たさなくなるおそれがある。

4 評価対象から「キロ当たり経費」を除外

物価高騰や運転士確保のための処遇改善など、路線維持のために経費が上がっていることから、評価対象から「キロ当たり経費」を除外

令和6年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通			1		1
秋葉バスサービス	2	1		1	4
遠州鉄道	1 0	5		1	1 6
しずてつジャストライン	4	6		1	1 1
富士急モビリティ	4				4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	1	2		4
富士急シティバス		6			6
伊豆箱根バス	1	2			3
東海バス	7	1			8
合 計	3 1	2 2	3	3	5 9

評価結果内訳

○事業者ごとの系統別の評価

	事業者名	系統名	R 6
1	山梨交通	富士宮駅～イオン、星山台～蒲原病院	C
2	秋葉バス サービス	秋葉線	D
3		秋葉中遠線	A
4		秋葉中遠線	A
5		秋葉中遠線	B
6	遠州鉄道	浜北医大三方原聖隷線	B
7		磐田市立病院福田線	A
8		中ノ町磐田線	B
9		秋葉線	B
10		磐田天竜線	A
11		磐田天竜線	B
12		掛塚さなる台線	A
13		内野台線	A
14		内野台線	B
15		磐田市立病院福田線	D
16		引佐線	A
17		萩丘都田線	A
18		大塚ひとみヶ丘線	A
19		気賀三ヶ日線	A
20		奥山線	A
21		掛塚さなる台線	A

	事業者名	系統名	R 6
22	しずてつ ジャストライン	三保草薙線	B
23		五十海大住線	B
24		焼津岡部線	B
25		藤枝吉永線	A
26		島田静波線	A
27		島田静波線	B
28		藤枝相良線	B
29		菊川浜岡線	A
30		掛川大東浜岡線	A
31		掛川大東浜岡線	B
32		掛川大東浜岡線	D
33	富士急 モビリティ	御殿場線	A
34		駿河小山線	A
35		十里木線	A
36	富士急バス	河口湖線	A
37		河口湖線	A
38	富士急 静岡バス	新富士線	A
39		曾比奈線	C
40		大淵線	C
41		大月線	A
42		大月線	B

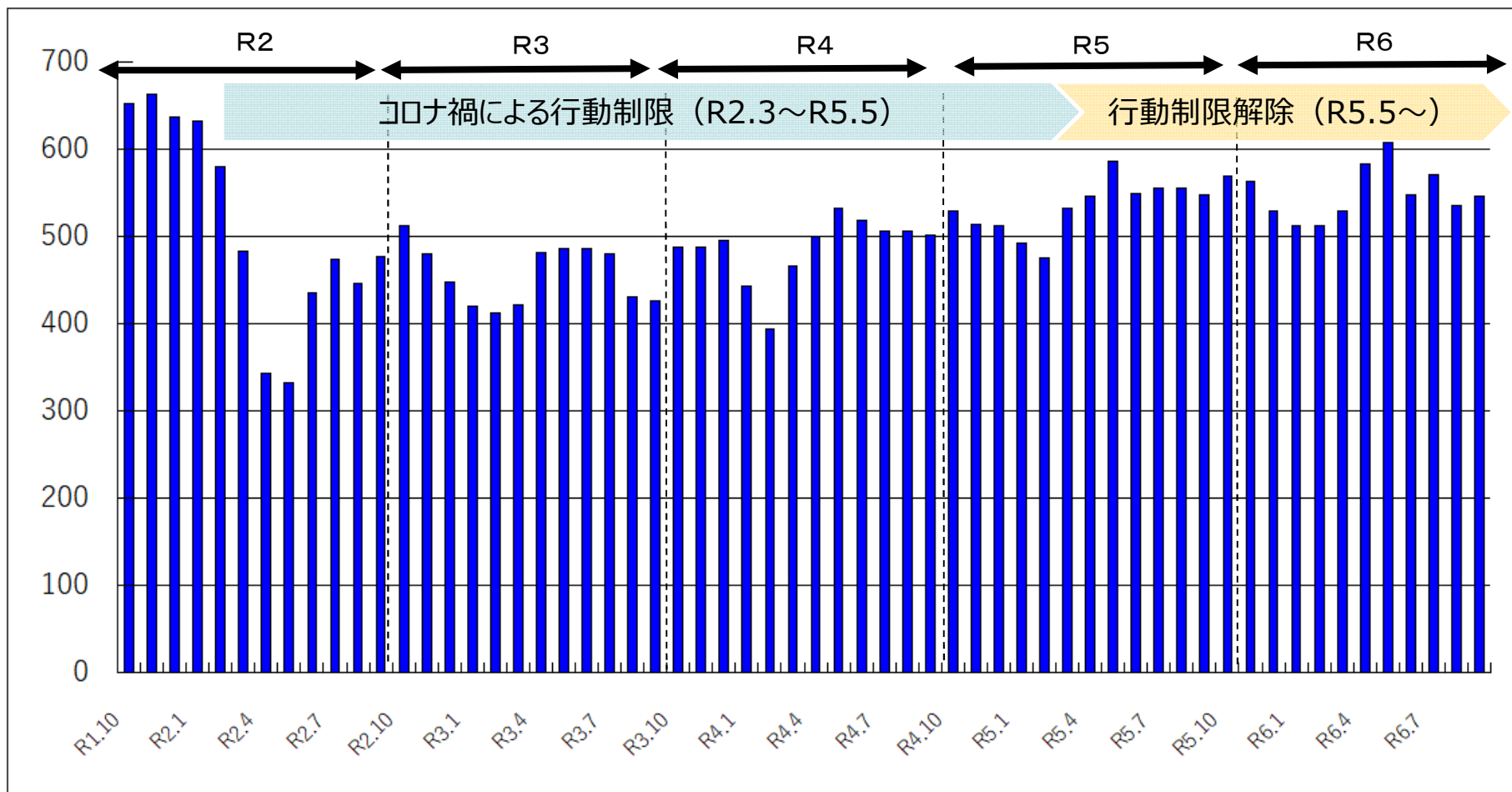
	事業者名	系統名	R 6
43	富士急 シティバス	駿河平線	B
44		須山線	B
45		原線	B
46		桜堤線	B
47		がんセンター線	B
48		がんセンター線	B
49	伊豆箱根バス	沼津大岡三島線	A
50		長岡伊豆三津シーパラダイス線	B
51	東海バス	沼津静岡長岡線	B
52		石廊崎線	A
53		天城峠線	A
54		戸田線	A
55		西海岸線	A
56		バサラ峠線	A
57		バサラ峠線	A
58		下賀茂線	A
59		柿田線	B

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R6.9)

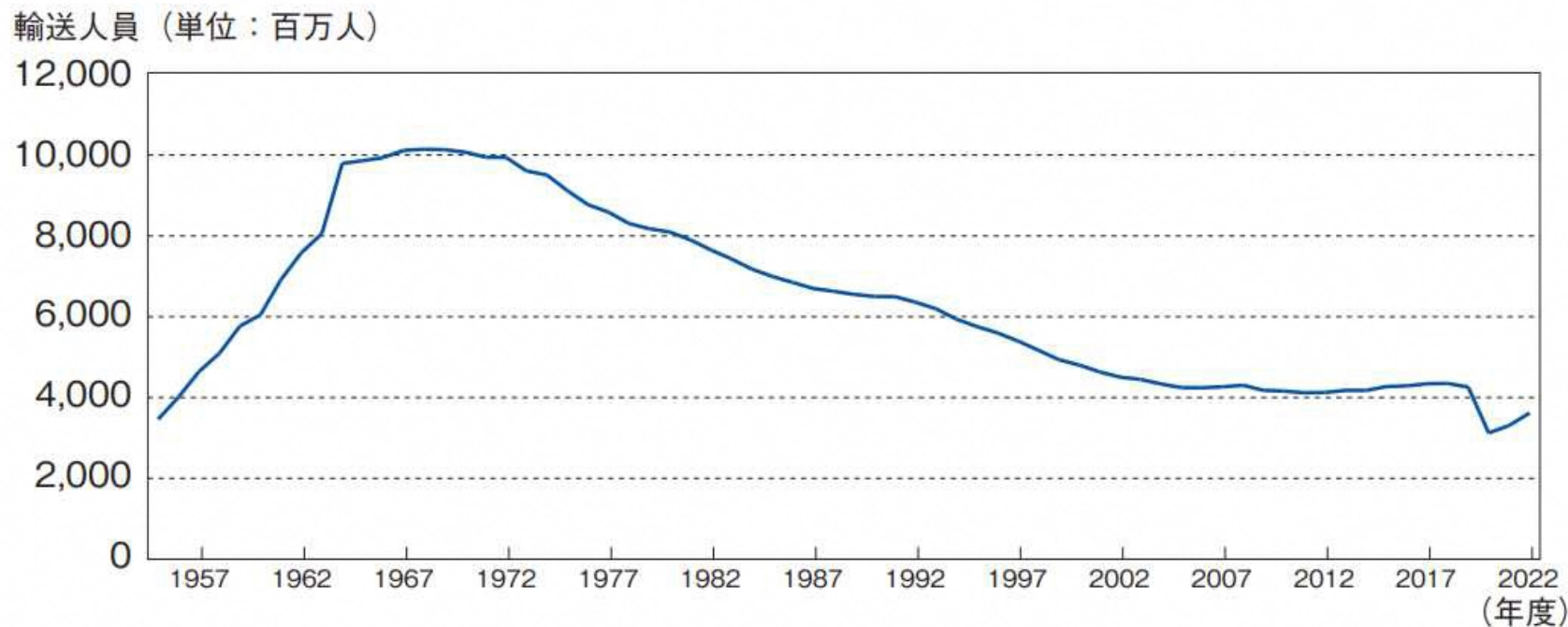
(単位:万人)



(静岡県地域交通課調査)

〈参考〉国内の一般路線バス輸送人員の推移

図表1-3-1-7 一般路線バス輸送人員の推移

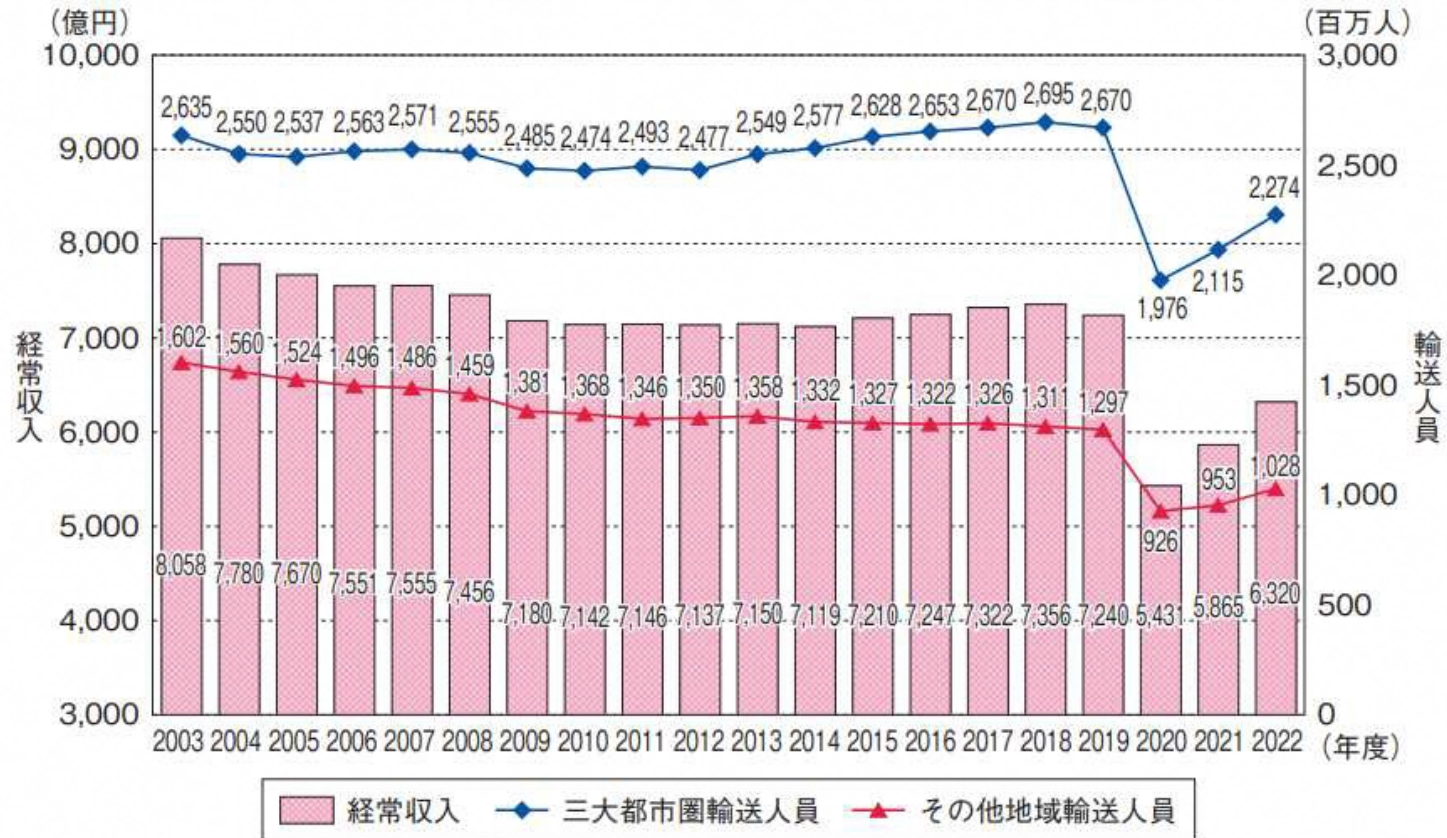


資料：「自動車輸送統計調査」から国土交通省総合政策局作成

（出典：国作成資料令和5（2023）年度交通の動向）

〈参考〉一般路線バスの輸送人員、経常収入の推移

図表1-3-1-8 都市部・地方部別の一般路線バスの輸送人員、経常収入の推移



注1：各数値データは、乗合バスの保有車両数が30両以上のバス事業者のデータを採用。

注2：三大都市圏とは、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、三重、岐阜、大阪、京都、兵庫である。

資料：国土交通省物流・自動車局作成

(出典：国作成資料令和5(2023)年度交通の動向)

事業者、自治体の連携による利用促進の取組



実施日

令和6年12月7日（土）・8日（日）

対象路線

県内全域の約400路線（路線バス、コミュニティバス含む）

対象者

県内の学校に通う小学生約17万3000人

※リーフレット配布部数

（同規模での小学生を対象としたバス無料デーは全国初）

掲載メディア

- ・NHK放送局、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、静岡朝日テレビ（Web）、静岡新聞SBS（アットエス）、くふうロコしずおか（Web）
- ・SBSラジオ（IPPO）、FMHaro
- ・静岡新聞、中日新聞、読売新聞

効果検証

- ・無料対象路線での乗車人員調査、小学生や保護者を対象としたアンケートなどを基に実施効果を検証（公表は2～3月を予定）



令和6年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

なお、令和6年度評価では、より実態を反映した評価となるよう、国補助要件となっている「輸送量」を評価項目に加える等の見直しを行った（見直しのポイントは別紙のとおり）。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価（収支率 50%以上満点）
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価（+ 5 %以上満点）
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価（10 点満点）
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価（50%以上満点）
説明事項	（点数なし）	利用実態等を含めた当該系統の運行目的等
事業者の取組		路線維持のための増収策、路線維持のための費用削減策

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評 価	内 容
A（86 点以上）	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B（66～85 点）	地域間幹線系統として適した運行となっている
C（51～65 点）	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D（0～50 点）	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考※：R3～4：B、R5：A）※R5 以前の評価は R6 と評価基準が異なるため参考

- ・評価対象系統全 59 系統中、A 評価：31 系統、B 評価：22 系統、C 評価：3 系統、D 評価：3 系統
- ・平均点数が 83.1 点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和6年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

(別紙)

見直しのポイント

- ・評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」の3部門に整理した
- ・「補助基準」「実施状況」を各40点満点、「幹線性・広域性」を20点満点とし、系統の特性よりも補助要件を満たしているかや、補助系統の実施状況を重視した『実績指向型』に見直しを行った

区分	評価の考え方	見直し内容
①補助基準	国・県の補助金を満たしているか	・運行回数に加え、新たに輸送量を評価基準に追加
②実施状況	事業は効果的に実施されたか	・従前の収支率、乗車人員の評価を採用 ・収支率、乗車人員は実績に比例した配点とする ・キロ当たり経費は、コロナ後の物価高騰や運転士不足等の社会情勢の変化をふまえ、基準単価（ブロック単価）との比較による評価は行わない
③幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか	・従前のネットワーク構成、広域トリップ率を採用 ・ネットワーク構成は経路が変わらない限り、系統固有の加点 ・広域トリップ状況は実績に比例、5％に満たない場合は幹線系統としての役割が僅少であるため0点
④合計	－	・評価の合計点（満点）を79点から100点に変更 ・評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更 A：86点以上 （幹線系統として優れた役割を果たしている） B：66点～85点 （幹線系統として適した運行となっている） C：51点～65点未満 （改善に向け努力を要する） D：50点未満 （見直しを含めた路線のあり方の検討が必要）

令和6年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名		系統名	補助基準(40点)			実施状況(40点)			幹線性・広域性(20点)			点数	評価					事業者 平均	全体評価
			運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)		収支率 (15点)	乗車人員 (15点)		ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)			A	B	C	D	計		
													86～100	66～85	51～65	0～50			
山梨交通	1	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	10	5	15	12	20	32	6	5	11	58			○		1	58.0	B [全体評価の理由] ・平均評価点数が83.1点である。
秋葉バスサービス	2	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	0	10	3	3	6	10	5	15	31				○	4	71.0	
	3	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	15	20	35	10	5	15	90	○						
	4	秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	15	20	35	6	8	14	89	○						
	5	秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	15	6	21	5	8	13	74		○					
遠州鉄道	6	浜北医大三方原聖隷	10	30	40	12	3	15	10	8	18	73		○			16	85.9	
	7	磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	20	35	7	5	12	87	○						
	8	中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	6	26	9	5	14	80		○					
	9	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	30	40	12	15	27	7	8	15	82		○					
	10	磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	10	30	40	20	20	40	8	10	18	98	○						
	11	磐田天竜線(ららぽーと経由)	10	30	40	15	3	18	8	8	16	74		○					
	12	掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	20	40	9	8	17	97	○						
	13	内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	15	35	10	8	18	93	○						
	14	内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	15	6	21	10	8	18	79		○					
	15	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	15	3	18	5	10	15	48				○			
	16	引佐線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	17	萩丘都田線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○						
	18	大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	20	40	10	0	10	90	○						
	19	気賀三ヶ日線	10	30	40	20	20	40	10	5	15	95	○						
	20	奥山線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	しずてつジャストライン	21	掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○					
22		三保草薙線	10	30	40	15	15	30	10	2	12	82		○					
23		五十海大住線	10	30	40	12	3	15	10	8	18	73		○					
24		焼津岡部線	10	30	40	15	3	18	6	10	16	74		○					
25		藤枝吉永線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
26		島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	20	32	10	10	20	92	○						
27		島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75		○					
28		藤枝相良線	10	30	40	15	6	21	10	10	20	81		○					
29		菊川浜岡線	10	30	40	20	20	40	5	8	13	93	○						
30		掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	20	32	9	10	19	91	○						
31		掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○					
富士急モビリティ	32	掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	3	3	6	4	10	14	30				○	4	94.2	
	33	御殿場線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	34	駿河小山線	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86	○						
	35	十里木線	10	30	40	20	15	35	8	10	18	93	○						
富士急バス	36	河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				2	100	
	37	河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
富士急静岡バス	38	新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				4	68.7	
	39	曾比奈線	10	5	15	20	3	23	8	10	18	56			○				
	40	大淵線	10	5	15	20	3	23	10	10	20	58			○				
	41	大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86	○						
富士急シティバス	42	大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○			6	78.5	
	43	駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79		○					
	44	須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○					
	45	原線	10	30	40	20	3	23	10	2	12	75		○					
	46	桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83		○					
	47	がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	5	11	74		○					
伊豆箱根バス	48	がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	10	16	79		○			3	78.6	
	49	沼津大岡三島線	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86	○						
	50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75		○					
東海バス	51	沼津静浦長岡線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75		○			8	94.1	
	52	石廊崎線	10	30	40	20	20	40	7	8	15	95	○						
	53	天城峠線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○						
	54	戸田線	10	30	40	20	20	40	7	8	15	95	○						
	55	西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○						
	56	バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
	57	バサラ峠線(下田駅～宇久須)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○						
	58	下賀茂線	10	30	40	15	15	30	7	10	17	87	○						
計											83.1	31	22	3	3	59			

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	菊川浜岡線	菊川駅前	菊川市立総合病院	浜岡営業所
系統キロ程	関係市町			
17.5 km	菊川市	御前崎市		

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか	7.5 回/日	10	7.6 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	46.5 人/日	30	38.0 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	61.0 %	20	52.9 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績 105,316 人 計画 64,345 人	20	64,345 人 53,607 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 2 箇所 乗継バス停 1 箇所	5	2 箇所 0 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	37.4 %	8	37.7 %

補助基準	40 /40
実施状況	40 /40
幹線性・広域性	13 /20
合計	93 /100

評価指標

A

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	・ 菊川市及び御前崎市住民の菊川駅までの通勤、通学 ・ 菊川市立総合病院までの通院 ・ 小笠高校及び池新田高校への通学
ネットワーク 構成の詳細	(拠点) 浜岡営業所・菊川駅前
	(乗継ぎバス停) 浜岡
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 菊川駅・菊川市役所・常葉学園菊川高校・菊川西中学校・菊川文化会館・加茂小学校・ 六郷小学校・菊川警察署・菊川市立総合病院・小笠高校・横地小学校・小笠図書館・小 笠北小学校・岳洋中学校・菊川市役所小笠支所・菊川市民総合体育館・小笠南小学校・ 浜岡総合運動場・第一小学校・池新田高校・笠南医療センター・中遠調理師家政専門学 校・浜岡中学校・御前崎市役所

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	・ J R 運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・ 小学校へのバス教室の実施 ・ バス乗り方リーフレットの配布 ・ 全国IC相互利用の導入 (2013年3月より) ・ ICカード電子マネー機能搭載 ・ バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・ 運賃改定の実施 (2024年10月1日より)
費用削減策	・ エコドライブの徹底 ・ 利用実態に見合った運行便数への改善 ・ 燃料消費率の改善 (デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導) ・ 燃料使用量の削減 (車両搭載燃料を抑制) ・ 車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書

市町名		菊川市
対象系統		
評価指標	A	菊川浜岡線 菊川市立総合病院系統
	B	
	C	
	D	
市町の取組		
・市のホームページ（コミュニティバスページ）へしずてつジャストライン(株)のリンクを貼り、時刻等の検索性を高める。 ・コミュニティバスの時刻表へ菊川浜岡線の時刻や乗り継ぎ情報等を掲載し、相互の利用促進を図る。 ・市が携わる職業案内の場において、しずてつジャストライン(株)の運転手募集情報を提供し、運転手不足解消を図る。		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	AまたはB	上記取組を継続し、利用促進を図る。
	CまたはD	

（記載要領）

- 1 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 2 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください。

(参考) 菊川浜岡線の国庫補助金交付要件の状況

系統名(起点～経由地～終点)

菊川浜岡線

菊川駅前～菊川市立総合病院～浜岡営業所

期間	1日あたり 輸送量	1便あたり 平均乗車密度	1日あたり 運行回数
R1. 10～R2. 9	30.6	4.5	6.8
R2. 10～R3. 9	31.9	4.2	7.6
R3. 10～R4. 9	30.7	4.1	7.5
R4. 10～R5. 9	38.0	5.0	7.6
R5. 10～R6. 9	46.5	6.2	7.5

※算出方法

- ・ 輸送量＝平均乗車密度×運行回数
- ・ 平均乗車密度＝運送収入÷実車走行キロ÷平均賃率

※地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付要件（抜粋）

- ・ 複数市町にまたがるもの
- ・ 1日当たりの計画運行回数が3回以上
- ・ 輸送量が15人～150人／日と見込まれること

菊川市地域公共交通計画

【中間報告】

令和7年1月

菊 川 市

【 目 次 】

	頁
序 計画策定の目的と位置づけ	1
1 菊川市の地域概況の整理	3
2 公共交通の現状に関する整理	16
3 公共交通の利用実態及びニーズに係る調査	26
3－1 市民アンケート調査	26
3－2 公共交通利用実態調査	27
(1) 民間バス等利用実態調査	27
(2) 菊川市コミュニティバス利用実態調査	34
(3) J R 菊川駅利用実態調査	35
3－3 地区別意見交換会	37
3－4 高校生アンケート調査	38
3－5 主要施設ヒアリング調査	44
3－6 事業者ヒアリング調査	48

序 計画策定の目的と位置づけ

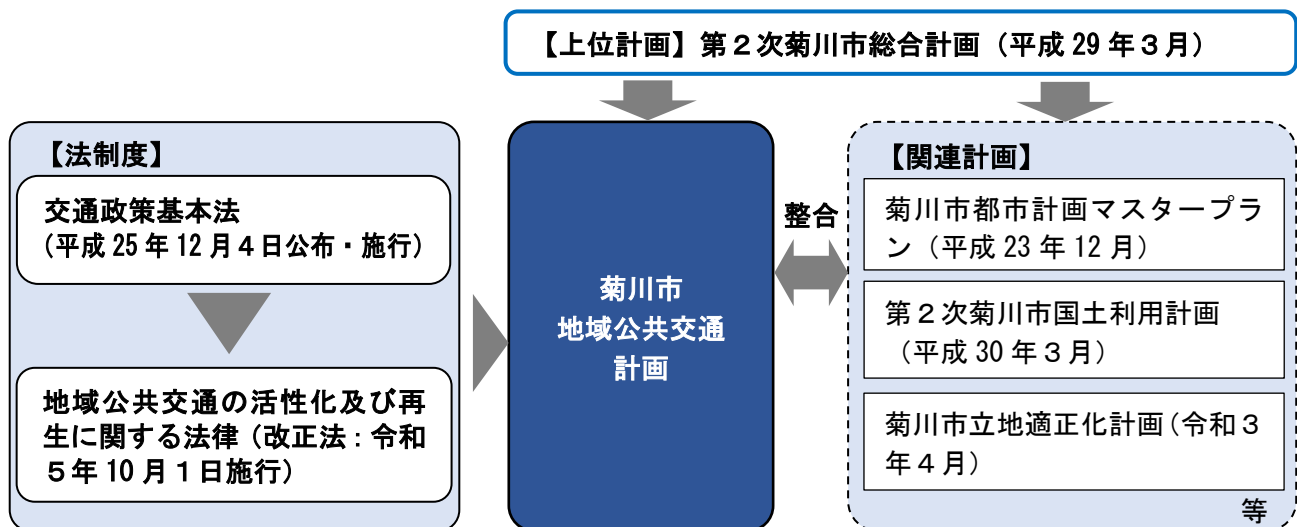
(1) 計画策定の目的

菊川市の公共交通は、鉄道や路線バス、コミュニティバス（定時定路線型7コース、コミタクくん2コース）、自主運行バス「萩間線」及びタクシーなど運行中であるが、公共交通利用者は自家用車の普及及び人口減少等により、減少傾向で、今後さらに加速していくことが懸念される。一方で、急速な高齢化の進展や運転免許証返納者の増加等により、公共交通の必要性が高まっている。

令和元年8月に策定した「菊川市市地域公共交通網形成計画」は、令和7年度をもって計画期間終了を迎えるため、現計画の計画目標に基づく評価指標の達成状況や実施事業の取組み状況などについて評価・検証を行い、改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」を踏まえ、現在の計画を改新し、公共交通政策のマスタープランとなる「菊川市地域公共交通計画」を策定することを目的とする。

(2) 計画の位置付け

本計画は「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第5条に規定する法定計画として、上位計画である「第2次菊川市総合計画（平成29年3月）」に即し、「菊川市都市計画マスタープラン（平成23年12月）」、「菊川市立地適正化計画（令和3年4月）」等との整合を図り、総合的なまちづくりの一環として公共交通に係る事項を位置付ける計画とする。



(3) 計画区域

本計画の区域は、鉄道（JR 東海道本線）、路線バス、自主運行バス、菊川市コミュニティバス及びタクシーなど公共交通機関相互の連携を図り、一体的に推進する必要があるため、菊川市全域とする。

(4) 計画期間

本計画の計画期間は、2026 年度から 2030 年度までの 5 年間とする。

また、計画の期間内においても、今後の社会情勢や市民ニーズ等の変化に適応するよう必要に応じて計画の見直し・修正を行う。

■ 菊川市地域公共交通網形成計画と主な関連計画の計画期間

(年度)

年度	～2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031～
第 2 菊川市総合計画 (平成 29 年 3 月)	2017～2025								
菊川市都市計画マスタープラン (平成 23 年 12 月)	2011～2030								
菊川市立地適正化計画 (令和 3 年 4 月)	2022～2045								
菊川市地域公共交通計画		計画策定		2026～2030					次期計画

1 菊川市の地域概況の整理

(1) 地勢

菊川市は、静岡県の中西部に位置し、東部に日本一の大茶園牧之原台地が広がり、市の中心を一級河川菊川が流れる、温暖な気候に恵まれた自然豊かな地域である。

市域は東西方向約9km、南北方向約17kmで、面積は94.19km²である。

平成17年1月17日に旧小笠町と旧菊川町が合併し誕生している。



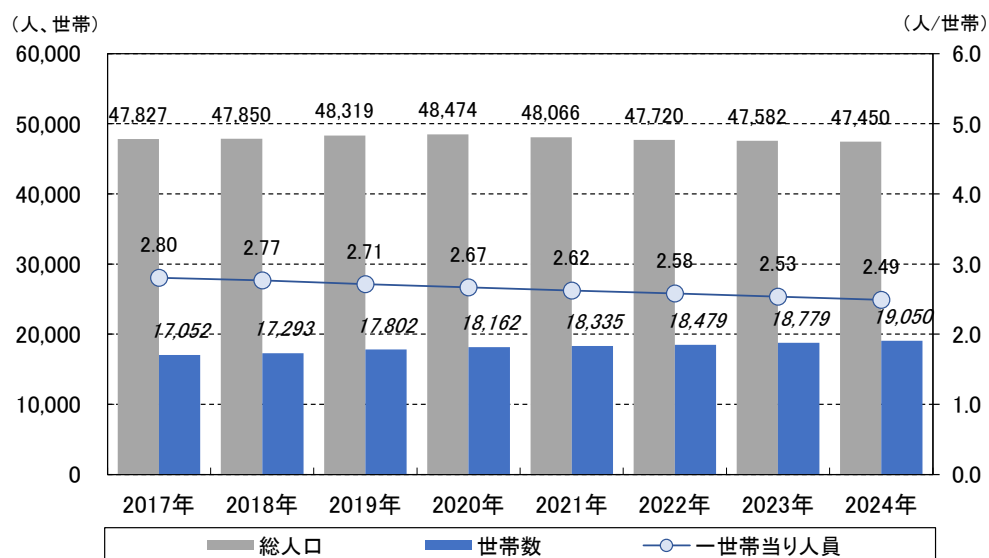
(2) 人口

①総人口・世帯数

菊川市の総人口は、2024年（令和6年）で47,450人であり、2020年（令和2年）をピークに緩やかに減少傾向となっている。

世帯数は、2024年（令和6年）で19,050世帯と年々増加している。核家族化の進展や高齢者の独居世帯の増加等を背景として一世帯当たり人員は年々減少傾向となっている。

■総人口・世帯数の推移



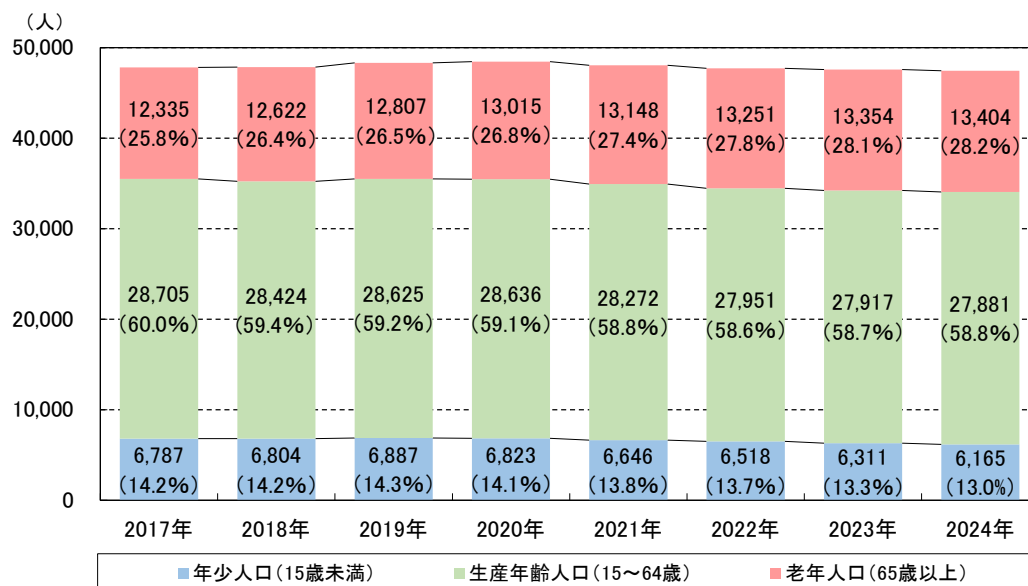
出典：住民基本台帳（各年3月31日時点）

②年齢3区分別人口

年齢3区分別人口は、2024年（令和6年）は、年少人口（15歳未満）が6,165人、生産年齢人口（15～64歳）が27,881人、老年人口（65歳以上）が13,404人となっており、2017年（平成29年）以降少子高齢化が進行している。

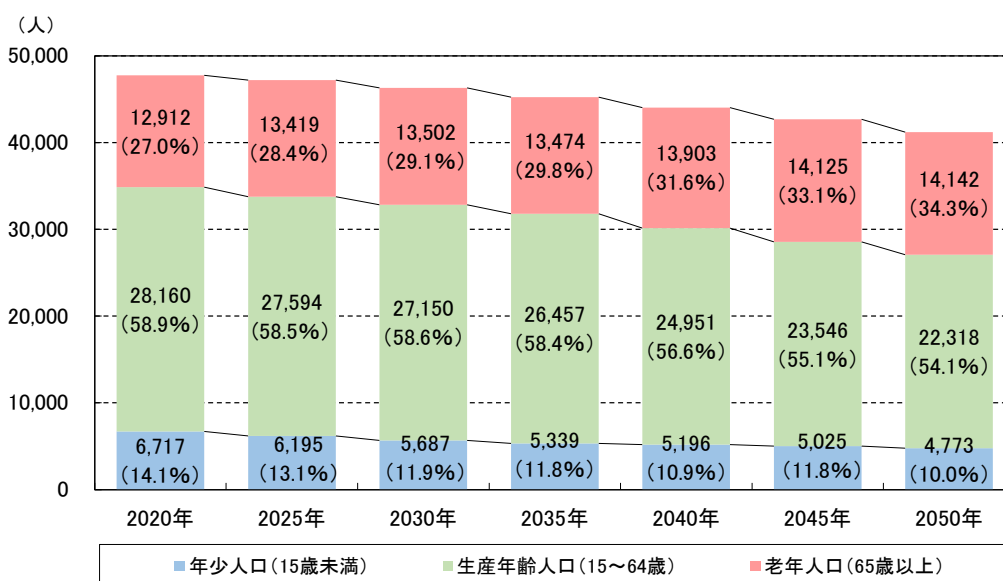
老年人口は8年間（2017年～2024年）で約1.1倍増加し、総人口に占める老年人口の割合は、28.2%となっている。将来推計人口を見ると、2040年には30%を超えており、今後更なる少子高齢化の進展が予想される。

■年齢3区分別人口の推移



出典：住民基本台帳（各年3月31日時点）

■将来推計人口



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）

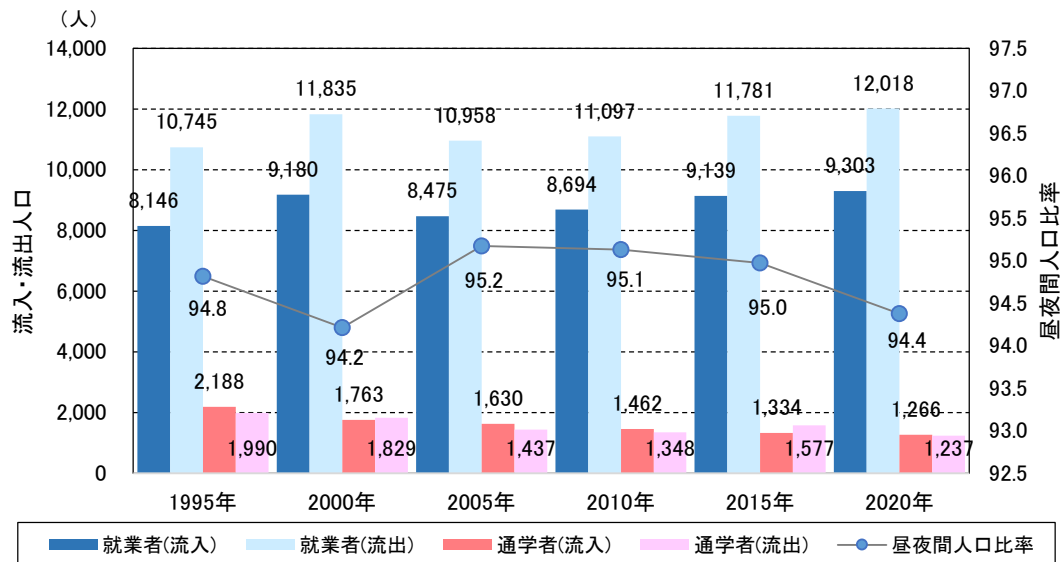
（各年10月1日辞典の推計人口：2020年は国勢調査による実績数）

③昼夜間人口

就業者は流入人口より流出人口の方が多いが、いずれも年々増加傾向となっている。通学者は年々減少傾向となっており、2020年時点では流入人口の方が僅かに多いが、大きな差はない。

昼夜間人口比率（昼間人口÷夜間人口）は例年 95%前後で推移しており、夜間人口の方が多い。

■昼夜間人口

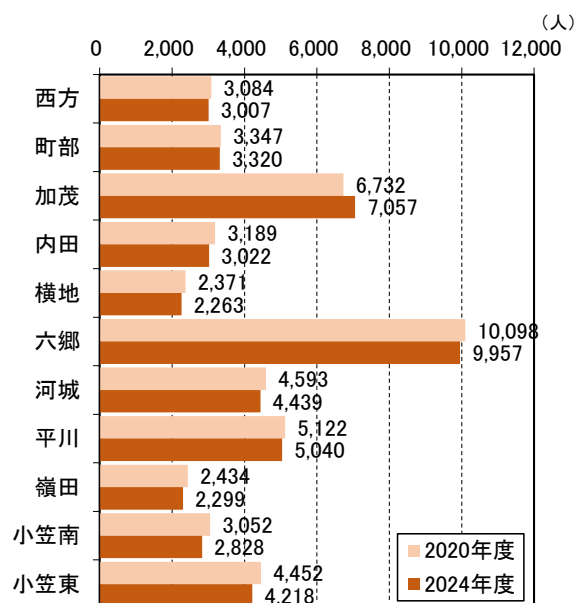


出典：国勢調査

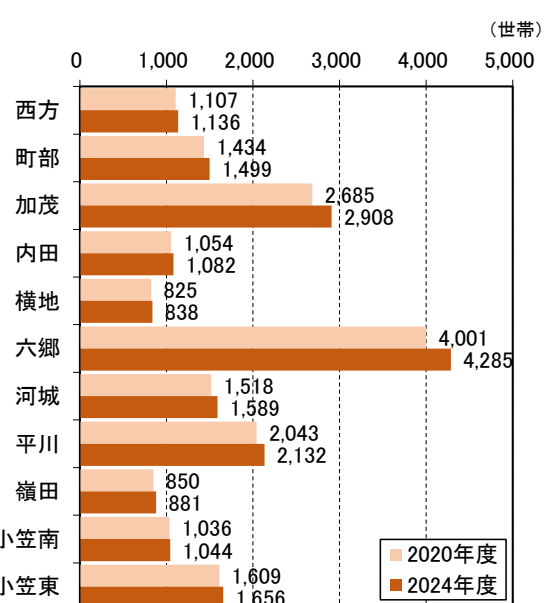
④地区別人口・世帯数

地区別人口は六郷、加茂、平川地区の順で多く、菊川駅周辺から菊川 IC 間や小笠支所周辺等に多く分布している。直近5年間の推移を見ると、人口は町部地区、加茂地区、横地地区、平川地区で増加しており、その他の地区では人口が減少している。世帯数は小笠南地区を除く全ての地区で増加している。

■地区別人口の推移

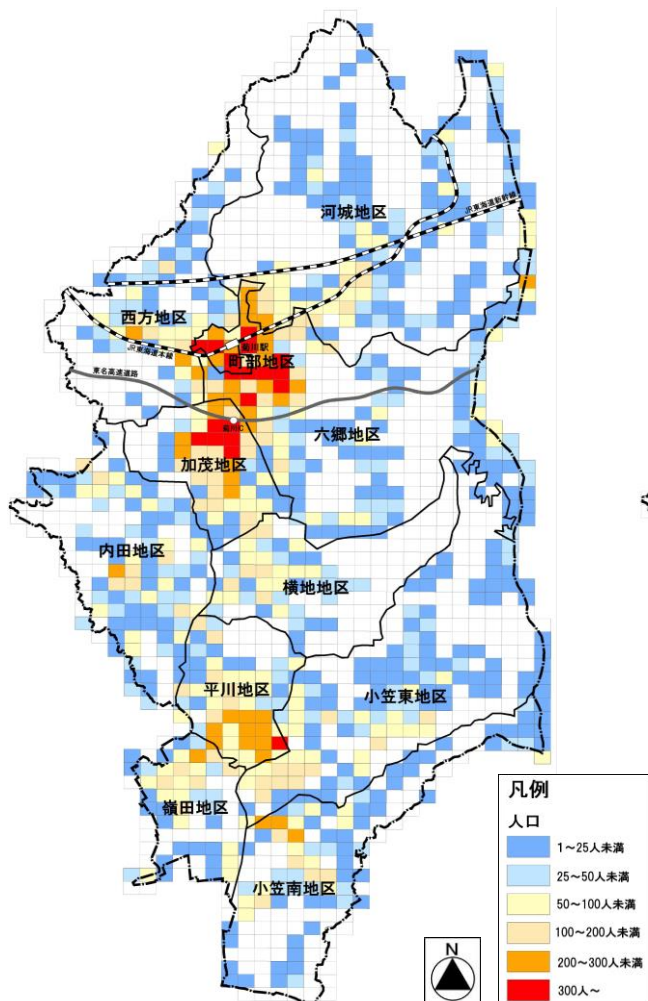


■地区別世帯数の推移

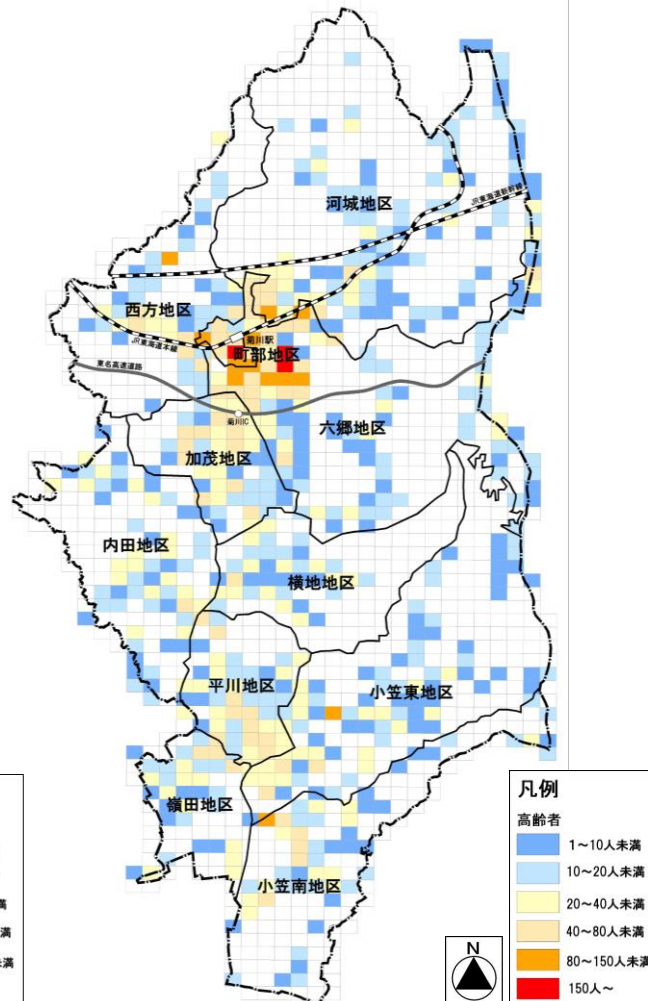


出典：令和6年度版菊川市データルーム（各年3月31日時点）

■地区別人口分布図 (250m メッシュ)



■地区別人口 (65 歳以上) 分布図 (250m メッシュ)

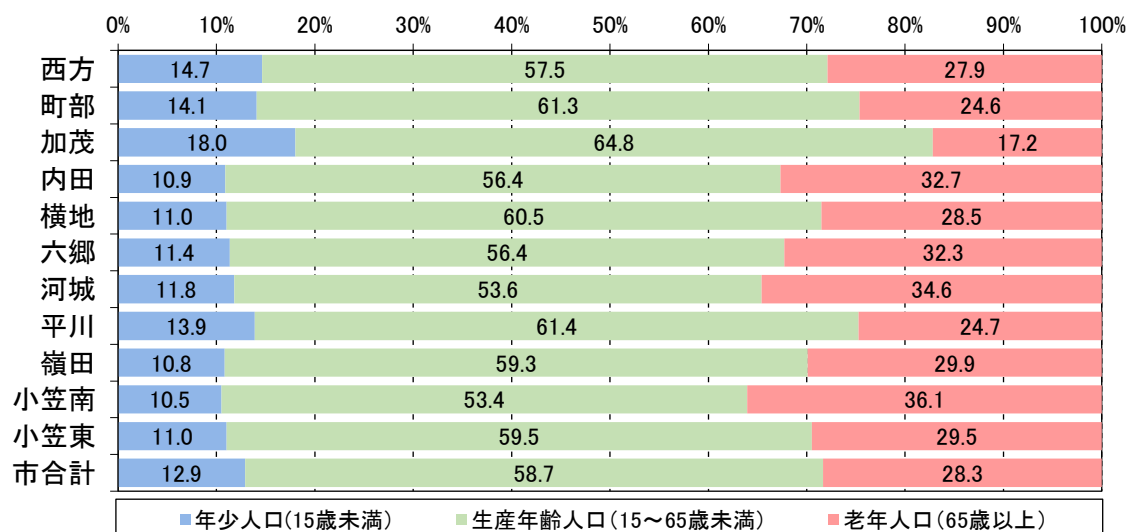


出典：令和2年国勢調査

⑤地区別年齢3区分別人口

地区別年齢3区分別人口の構成比を見ると、老年人口割合は小笠南 (36.1%)、河城 (34.6%)、内田 (32.7%) の順で高く、加茂 (16.2%)、町部 (24.6%)、平川 (24.7%) の順で低い。

■地区別年齢3区分別人口構成比

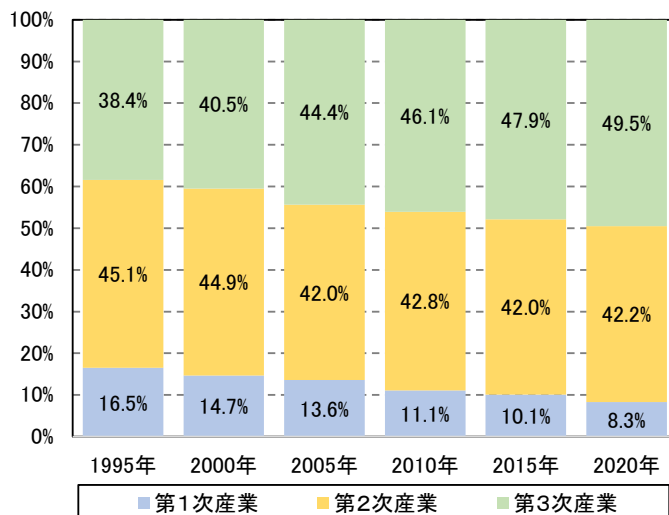


出典：菊川市オープンデータ (令和6年8月31日現在)

(3) 産業

産業別就業人口は、サービス業を主体とした第3次産業が年々増加傾向となっており、1995年から2020年の25年間で11.1%増加している。一方、農業を主体とした第1次産業人口と製造業を主体とした第2次産業人口は減少傾向にあり、特に第1次産業人口は25年間で約半減している。

■産業別就業人口の推移



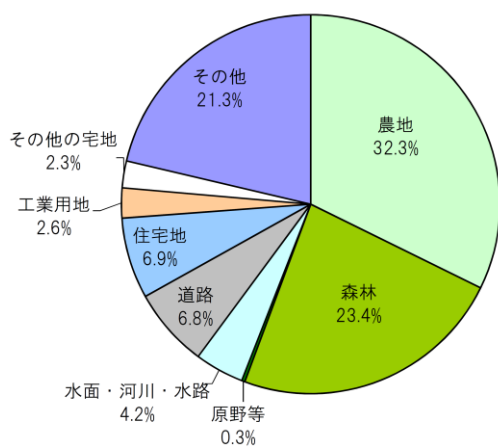
出典：国勢調査

(4) 土地利用状況

菊川市は自然豊かな地域であり、主な土地利用としては、JR 菊川駅から菊川 IC にかけてと市南部の(主)掛川浜岡線沿いに商業地が帯状に分布し、その周辺に住宅地や水田が広がっている。

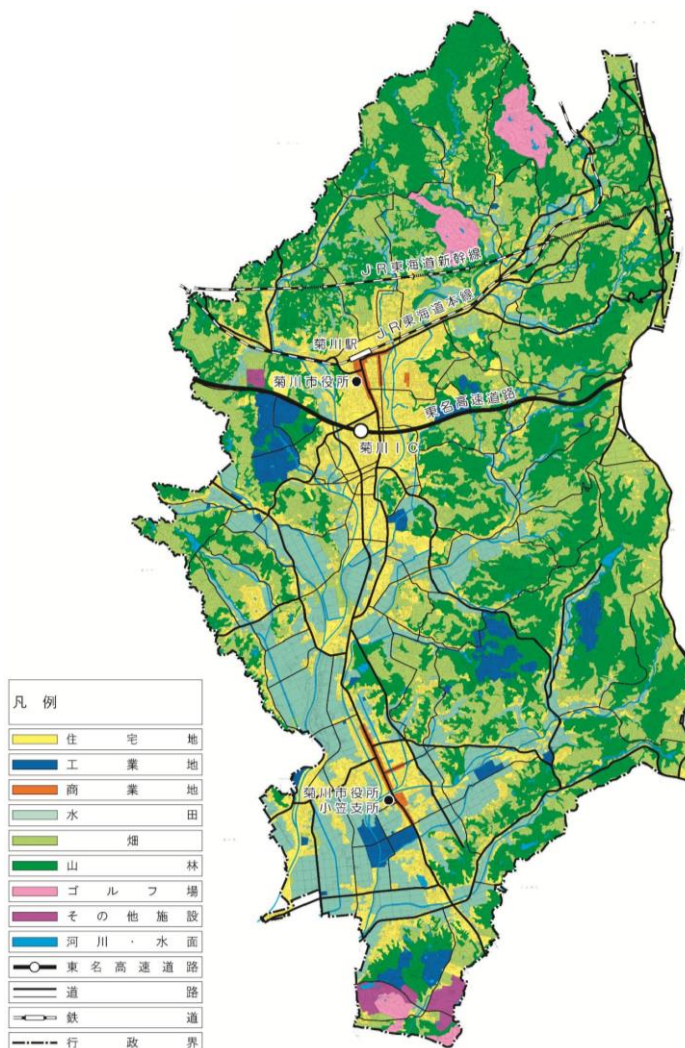
工業地は、菊川 IC の西側と東側、市の東南部、南部に形成され、また、市北部にはゴルフ場が2箇所あり、北部から牧之原台地西側一帯に山林が広がっている。

■土地利用構成比



出典：第2次国土利用計画

■土地利用現況図



出典：第2次国土利用計画

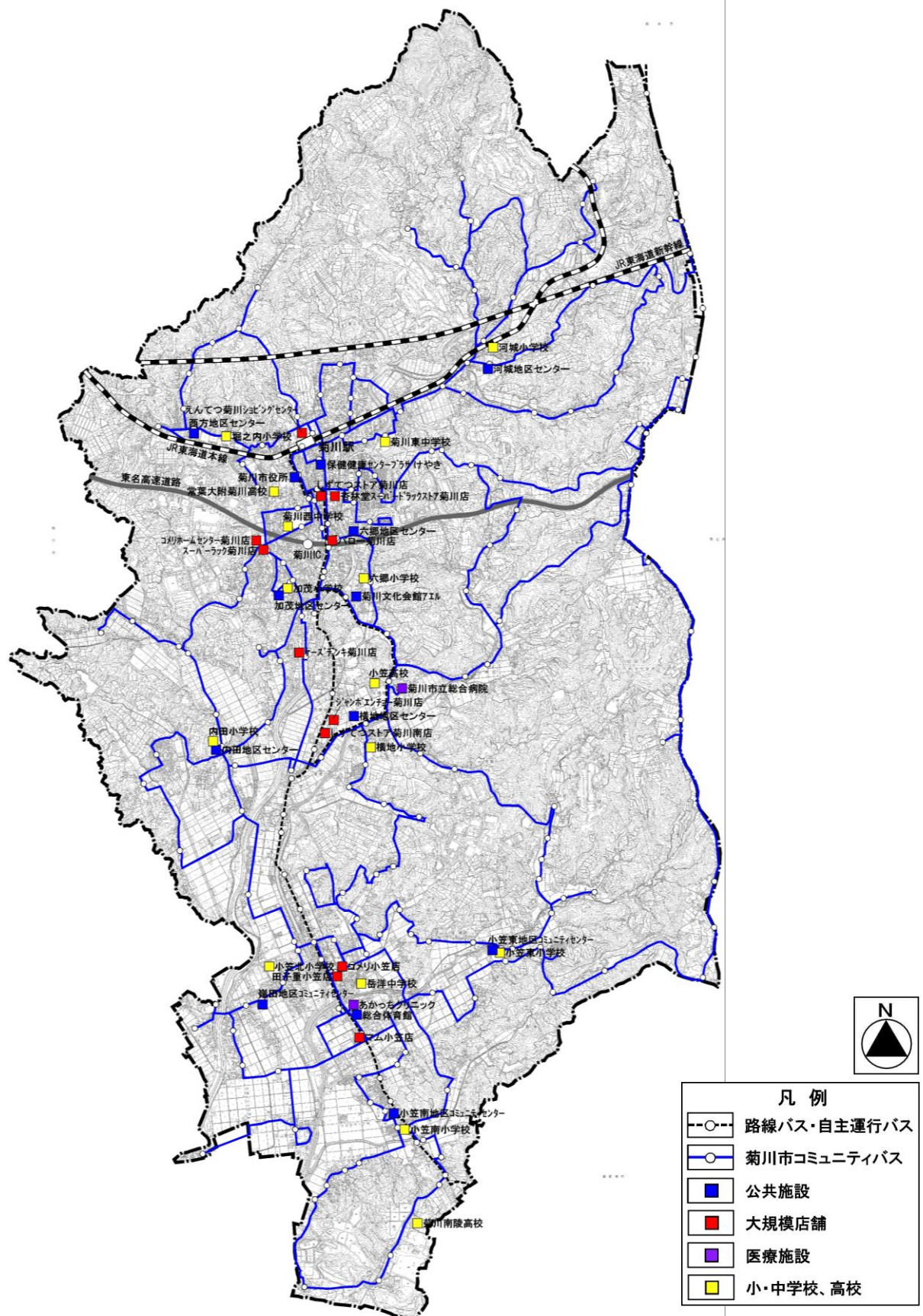
注：小笠支所は2017年度（平成29年度）から移転

(5) 主要施設分布状況

主要施設については、菊川駅から菊川 I C にかけて商業施設や公共施設などが多数集積し、また、市の中心部に菊川市立総合病院や、南部にも商業施設が点在している。

これら主要施設は、公共交通沿線に立地している。

■主要施設分布図



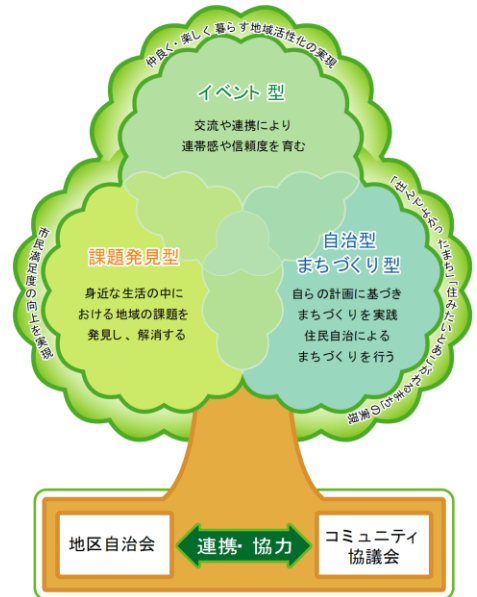
（６）市民協働のまちづくり

菊川市では、地域を核としたコミュニティ協議会の設立を推進するとともに、市民活動推進講座の開催や市民活動ガイドブックの作成などにより、市民活動の活性化に取り組んでいる。

また、コミュニティ協議会やNPO法人などの市民活動団体の活動を支援するため、1%地域づくり活動交付金制度※を創設するとともに、まちづくり出前行政講座を実施し行政情報を提供している。

※まちづくり団体(地域づくり及びコミュニティ協議会)が、自発的かつ主体的に取り組む公益的な「まちづくり、地域づくり活動」に係る経費の一部を助成する公募型の助成制度。

■コミュニティ協議会の活動イメージ

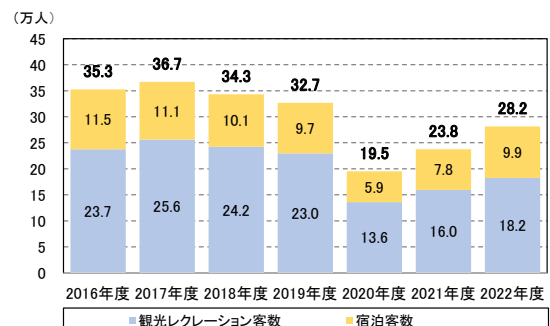


出典：みんなで創るコミュニティ

（７）観光動向

菊川市は市内に JR 東海道本線菊川駅や東名高速道路菊川 IC を有し、富士山静岡空港にもアクセスしやすい立地条件にあるが、他市と比べて交流人口が少ない状況となっている。年間観光交流客数（観光レクリエーション客数＋宿泊客数）は、2022 年度（令和 4 年度）が 28.2 万人で、コロナ禍から回復傾向となっている。

■観光交流客数（観光レクリエーション客数＋宿泊客数）の推移



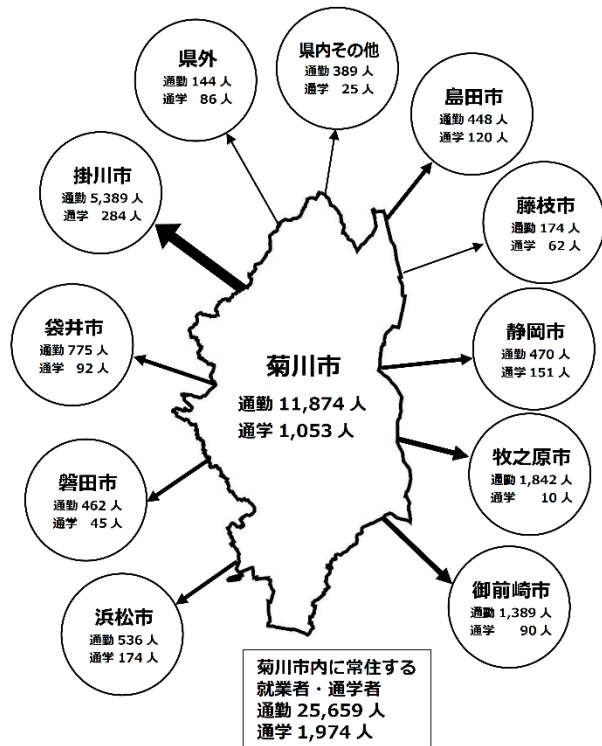
出典：静岡県「静岡県観光交流の動向」

(8) 交通特性

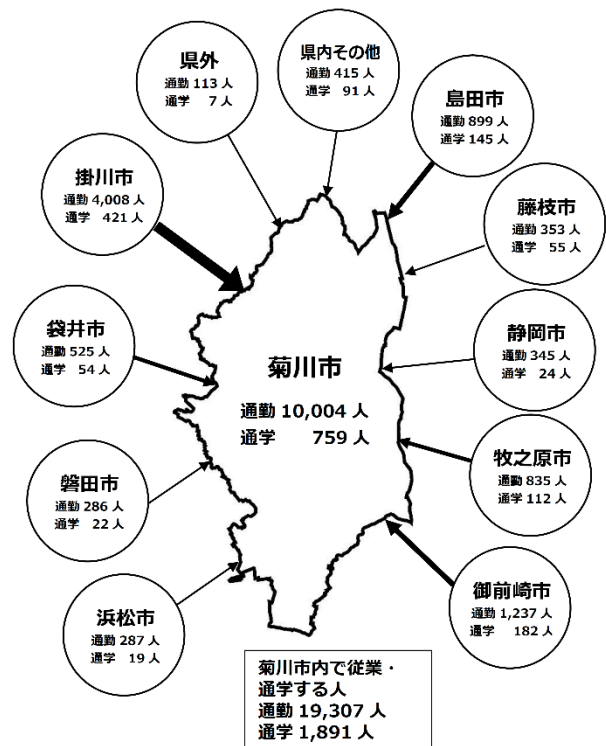
菊川市に常住する就業者は 25,659 人、通学者は 1,974 人となっており、そのうち約 5 割は市内で通勤・通学している。市外へは、通勤では掛川市や牧之原市が多く、通学は掛川市や浜松市が多くなっている。

一方、菊川市内への通勤者は 19,307 人、通学者は 1,891 人となっており、そのうち通勤は約 5 割、通学は約 4 割が市内在住の人によるものである。市外は通勤通学ともに、掛川市や御前崎市からが多い。

■菊川市から従業地別の通勤通学者の人数



■菊川市への常住地別の通勤通学者の人数



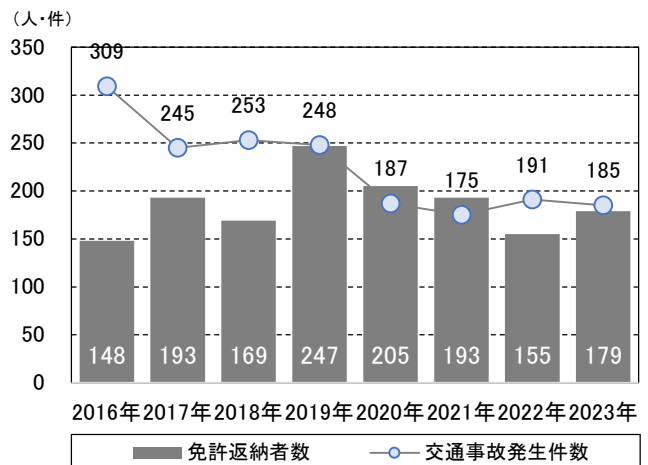
※「通勤」は 15 歳以上通勤者、「通学」は 15 歳以上通学者の人数を指している。

出典：令和 2 年国勢調査

(9) 運転免許返納状況

運転免許返納者数は 2023 年（令和 5 年）で 179 名となっている。市内の交通事故発生件数は、2016 年（平成 28 年）が 309 件で、2023 年（令和 5 年）が 185 件と年々減少している。2012 年（平成 24 年）4 月 1 日以降に運転経歴証明書の交付を受けている方は菊川市コミュニティバスの運賃が交付月＋6 か月間に限り免除となる。また、タクシー協会では、65 歳以上の免許を返納した方に対して、10% 運賃を割引くサービスを行っている。

■運転免許返納者数の推移



出典：令和 6 年度菊川市データルーム

①第2次菊川市総合計画

取り組むまち

○ 将来都市構造概念図

○ 将来都市構造概念図

図例

- 都市核 (都市核)
- 都市圏 (都市圏)
- 山地ゾーン (山地ゾーン)
- 農業ゾーン (農業ゾーン)
- 駅前接エリア (駅前接エリア)
- 中央部 (中央部)
- 東部 (東部)
- 南部 (南部)
- 西部 (西部)
- 中央部 (中央部)
- 東部 (東部)
- 南部 (南部)
- 西部 (西部)

「施策」：交通事業者と連携して交通手段の確保に努めます

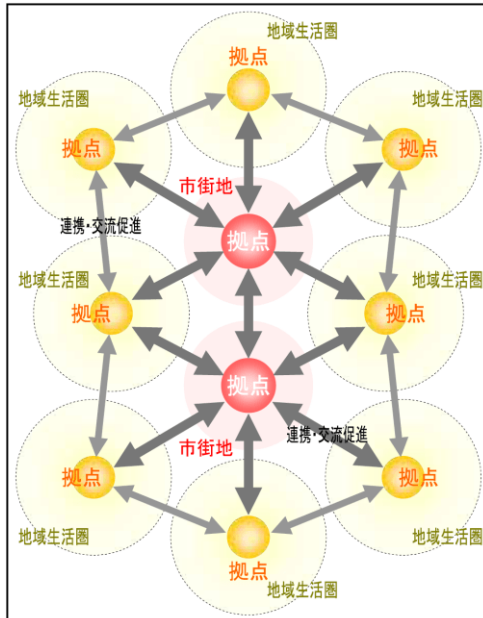
基本目標	基本施策
1. 未来を支えるまちづくり	○移動率を改善する_郷土愛を育み、定住を促進する ○出生率を高める_結婚・出産・子育てを支援する
2. 魅力を高めるまちづくり	○ひと_多様な人材の活躍を推進する ○しごと_働きやすい環境を実現する ○まち_安心できる生活環境を築く

③菊川市都市計画マスタープラン（平成 23 年 12 月）

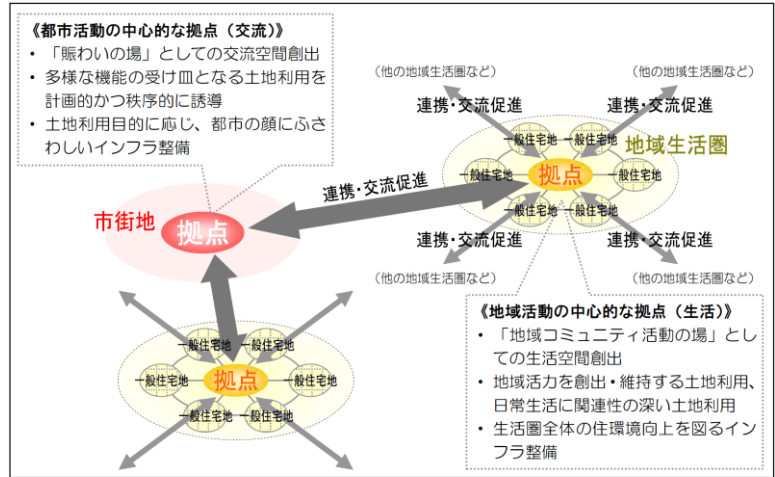
【目標年次】 2030 年（令和 12 年）

【菊川市都市政策の根本的な考え方（3本柱）】

- その1：ネットワーク型都市構造の構築による、一体性の高い都市づくり
- その2：拠点の充実・強化による、機能性の高い都市づくり
- その3：地域資源の有効活用による、個性と魅力のある都市づくり



（ネットワーク型都市構造のイメージ）



（拠点機能の充実・強化のイメージ）

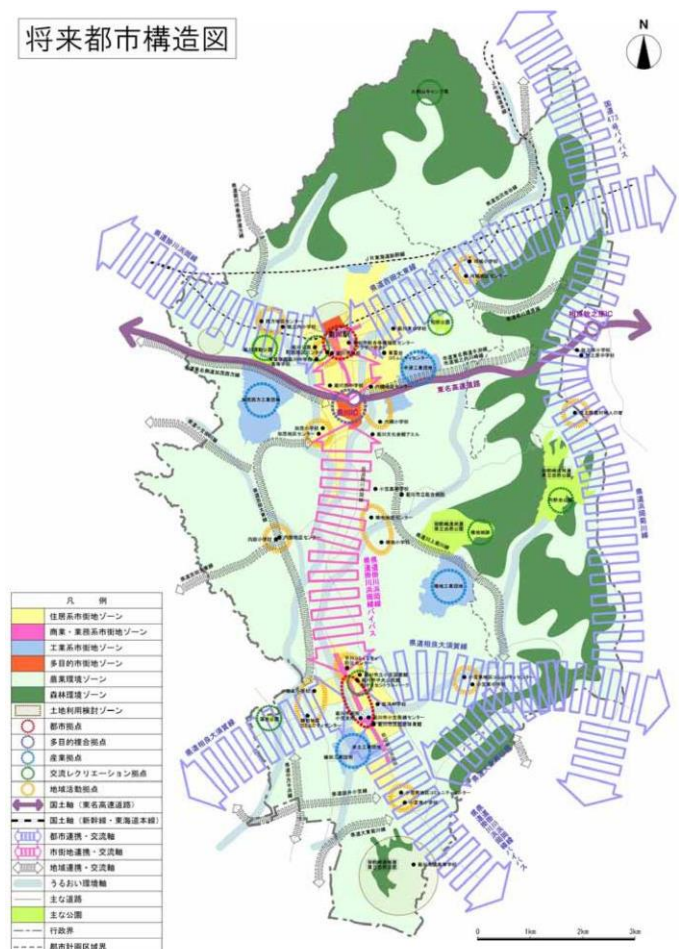
【都市づくりの基本理念】

- 住み続けることに安心と喜びを感じる都市づくり
 - －「生活基盤」の充実・向上－
- 賑わいと活力と生み出す都市づくり
 - －「都市活力」の創出・創造－
- 環境と調和・共生した都市づくり
 - －「環境共生」への取り組み－
- 個性的で誇りの持てる都市づくり
 - －「地域資源」の保全・活用－
- 市民・事業者・行政等の協働による都市づくり
 - －「自立・協働」の意識高揚－

【都市づくりのテーマ】

：大切な水・緑を守り育み、いきいきとした暮らしを創造する都市・菊川

将来都市構造図





【公共交通体系の整備方針】

《基本的な考え方》

- ・公共交通空白地帯・不足地域の改善を進め、市民ニーズや地域特性に応じたサービス提供のあり方や手法等についても調査研究を行い、どこでも誰でも使い易い公共交通サービスの確立に努めます。
- ・今後の高齢化の進展を見据え、自動車交通から公共交通への転換を促進します。また、その維持と施設の改善等を進めながら、市民の利便性向上と利用者数の増を図り、将来にわたって市民の足の確保に努めます。

《整備方針》

- ・路線バスやコミュニティバス等の既存公共交通機関の維持に努めるとともに、利便性の向上による利用促進を図るため、運行計画の再構築などの取り組みを行います。
- ・既存公共交通機関の利用促進を図ることにより、省エネルギー型の交通体系を充実させ、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減による環境負荷の軽減を図ります。

④菊川市立地適正化計画（令和4年3月）

【目標年次】 2040年（令和22年）

【まちづくり方針（ターゲット）】

拠点の魅力と利便性の向上により働き盛りの人々に選ばれるまち（なか）へ

【課題解決のための誘導方針（ストーリー）】

○方針1 ポテンシャルを生かした魅力ある拠点の形成

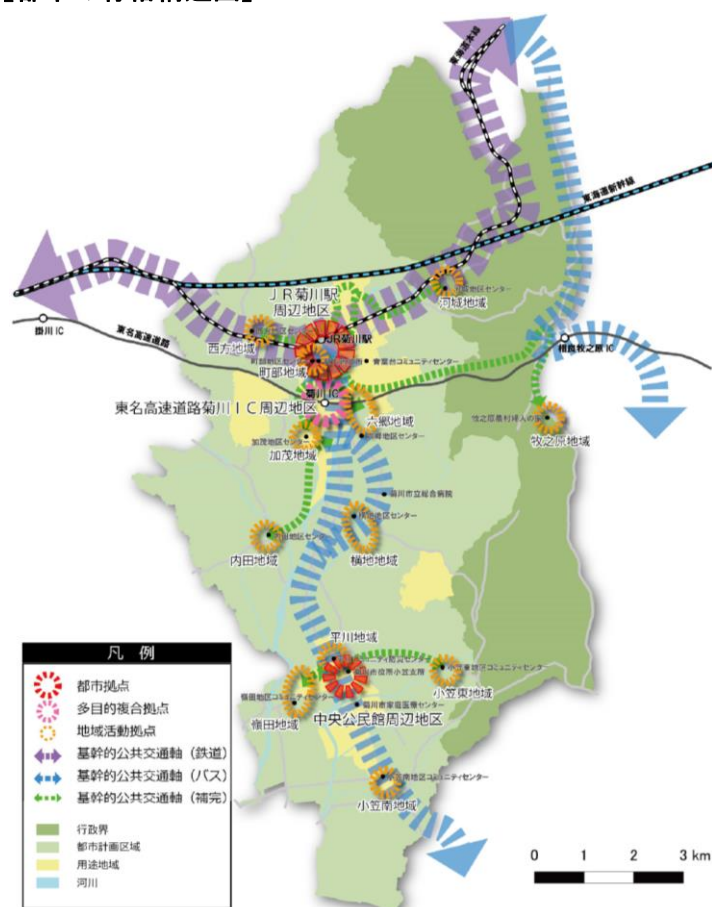
○方針2 利便性の高い交通ネットワークの維持と利用促進

・拠点間を繋ぐ利便性の高い既存ネットワークの維持

・公共交通の利用促進

○方針3 各地域の特性を生かしたメリハリある居住環境の形成

【都市の骨格構造図】



拠点	都市拠点（JR 菊川駅周辺地区）	市の中心市街地として、商業・業務機能をはじめ多様な都市機能の集積を図り、賑わいのある都市空間の形成を目指します。
	都市拠点（中央公民館周辺地区）	市の中心市街地である JR 菊川駅周辺を補完しつつ、小笠地区の中心として、日常的な生活サービス機能を提供する拠点の形成を目指します。
	多目的複合拠点 （東名高速道路菊川 IC 周辺地区）	市の中心市街地である JR 菊川駅周辺を補完しつつ、商業機能をはじめとした多様な都市機能の集積を目指します。
	地域活動拠点 （①西方地域 ②町部地域 ③加茂地域 ④内田地域 ⑤横地地域 ⑥六郷地域 ⑦牧之原地域 ⑧河城地域 ⑨平川地域 ⑩嶺田地域 ⑪小笠南地域 ⑫小笠東地域）	地域生活圏における交流の場、コミュニティ活動の場としての拠点の形成を目指します。
公共交通軸	基幹的公共交通軸（鉄道）	JR 東海道本線は、市内外への移動における市民の移動手段として重要な役割を担っており、将来にわたり維持・充実を目指します。
	基幹的公共交通軸（バス）	基幹的なバス路線は、市民の市内移動の足として必要性・重要性が高いため、公共交通軸に位置付け、交通事業者と連携しながら維持・充実を図ります。
	基幹的公共交通軸（補完）	地域活動拠点と他の拠点を結ぶ路線は、既存コミュニティの維持のため、公共交通軸に位置付け、維持を図ります。

【交通に関する施策（公共交通）】

○菊川駅の交通結節機能の強化

菊川駅の南北自由通路と北口駅前広場の整備について、早期整備に向けた関係機関との協議・検討を推進します。

○地域公共交通網形成計画との連携

本市では、新たな公共交通の施策展開を図るため、2019（令和元）年に菊川市地域公共交通網形成計画を策定しました。そのため、同計画で位置付けた施策による事業を推進し、居住や都市機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと公共交通の連携によるネットワークによるまちづくりを進めます。

【目標】

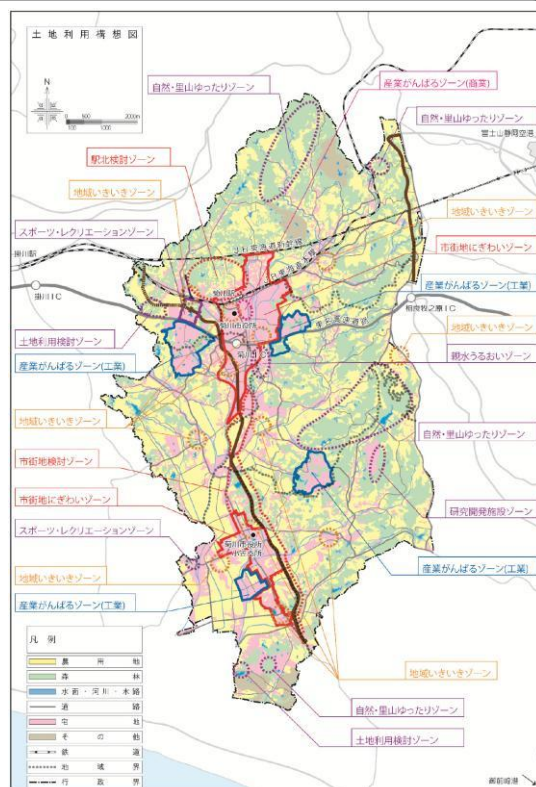
指標	現状値（2018）	目標値（2025）
公共交通利用者満足度	46.6%	50.0%

⑤第2次菊川市国土利用計画（平成30年3月）

【目標年次】 2025年（平成37年）

【土地利用の基本方針】

- 人口減少社会の到来を踏まえた健全で効果的な土地利用の推進
- 広域的視点に立った土地利用の推進
 - ➡市の拠点と周辺地域コミュニティとを結ぶ交通ネットワークの形成
- 自然環境や景観に配慮した土地利用の推進
- 地域コミュニティを支える土地利用の推進
- 市民の安全・安心を実現する土地利用の推進
- 活力ある産業振興を図る土地利用の推進
- 諸計画との調整



⑥菊川市公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂）

【計画期間】 2017年度～2046年度（30年間）

【基本理念】

将来にわたり魅力あるまちづくりを実現するために、経営的視点から公共施設等の見直しを図り、「安全・安心な公共施設」「適切な住民サービス」を次世代へ引き継ぎます。

【公共施設マネジメントの3つの基本方針】

：施設総量の適正化、長寿命化の推進、施設の有効利用

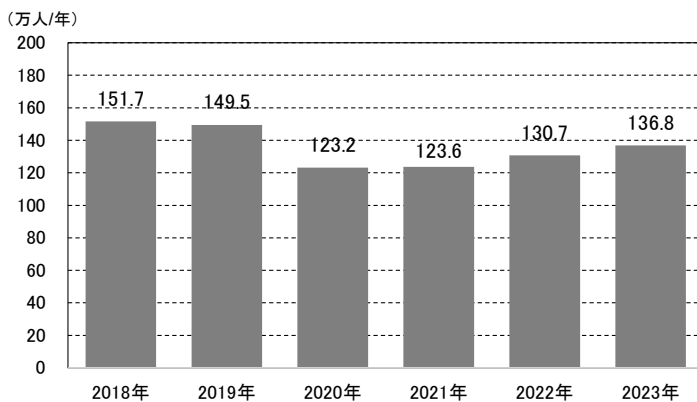
2 公共交通の現状に関する整理

(1) 鉄道

菊川市の鉄道は JR 東海道本線の菊川駅が設置されており、運行便数は平日が 64.5 便、土が 61 便、日祝が 60.5 便運行している。

年間乗車人員は 2023 年（令和 5 年）に 136.8 万人で、コロナ禍から回復傾向となっている。

■菊川駅年間乗車人員



出典：令和 6 年度版菊川市データルーム

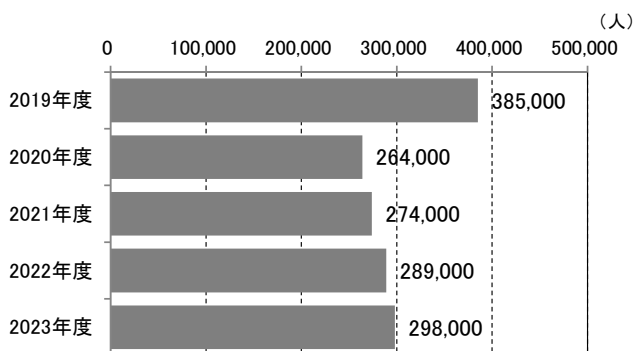
(2) 路線バス及び自主運行バス

路線バスはしずてつジャストライン株式会社により、菊川駅と浜岡営業所を結ぶ菊川浜岡線 1 路線（便数：平日 23.0 便、土日祝 16.0 便）が運行している。

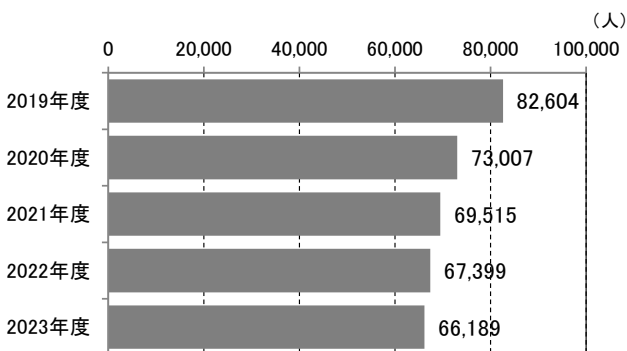
自主運行バス「萩間線」は、バス事業者が撤退した路線の生活交通を確保するため、牧之原市・島田市・菊川市の 3 市共同（便数：平日 10.5 便、土日祝 7.0 便）で運行している。運行委託事業者はしずてつジャストライン(株)である。

菊川浜岡線の年間利用者は 2020 年にコロナウイルスの影響で激減後、回復傾向であるが、コロナウイルス前までは戻っていない。萩間線は年々減少傾向となっている。

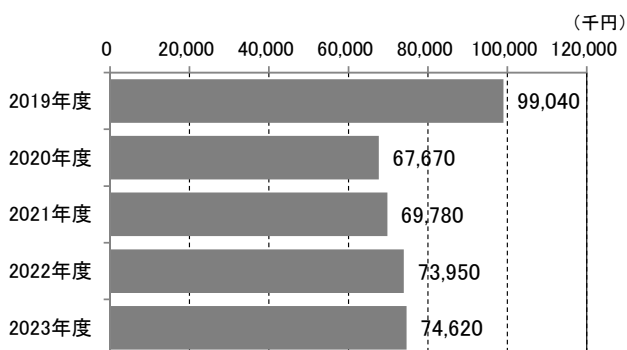
■路線バス・菊川浜岡線の年間利用者数



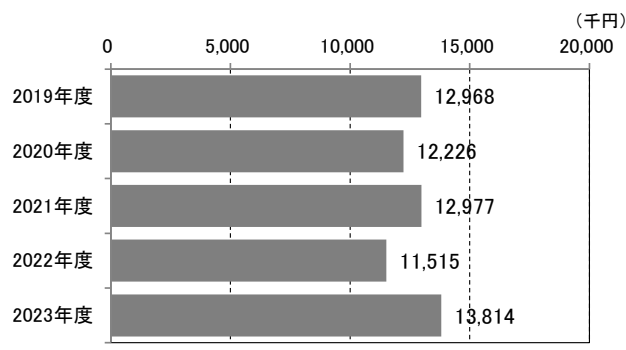
■自主運行バス・萩間線の年間利用者数



■路線バス・菊川浜岡線（病院系統）の収入状況



■自主運行バス・萩間線の収入状況



(3) 菊川市コミュニティバス

①これまでの経緯

合併前	○旧菊川町は、公立病院の移転に伴い、高齢者の通院のため、福祉循環バス・タクシーの運行を開始。 ○旧小笠町は、高齢者の外出支援（通院）として、タクシー利用料金助成を実施。（タクシー料金相当（基本運賃 610 円＋お迎え料金 120 円）、最大で年間 48 枚交付）
2005～2006 年度 （平成 17～18 年度）	○2005 年度（平成 17 年度）から 3 つの路線（菊川まちなか線、小笠西ルート、小笠東ルート）のコミュニティバスの実証運行を実施。 →実験後、福祉循環バス・タクシーとタクシー利用料金助成を廃止。但し、障害者へのタクシー利用料金助成は継続。
2007～2016 年度 （平成 19～28 年度）	○コミュニティバス 7 コースの本格運行を開始。 ○2008 年度（平成 20 年度）から 2016 年度（平成 28 年度）まで、バス停の新設・移設・廃止、ルート変更、フリー降車・乗降区間の拡大、便数の見直し、運行時間の変更を行った。
2017 年度～ （平成 29 年度～）	○2020 年度（令和 2 年度）から 2 つの路線（奈良野・布引原子コース、三沢・河東コース）のデマンド試験運行を開始、2023 年度（令和 5 年度）から本格運行を開始。
2024 年度～ （令和 6 年度～）	○菊川西循環コースの経路変更（長池団地への乗り入れを追加） ○三沢・河東コースの経路変更（前岡池東側道路をフリー乗降区間に変更）

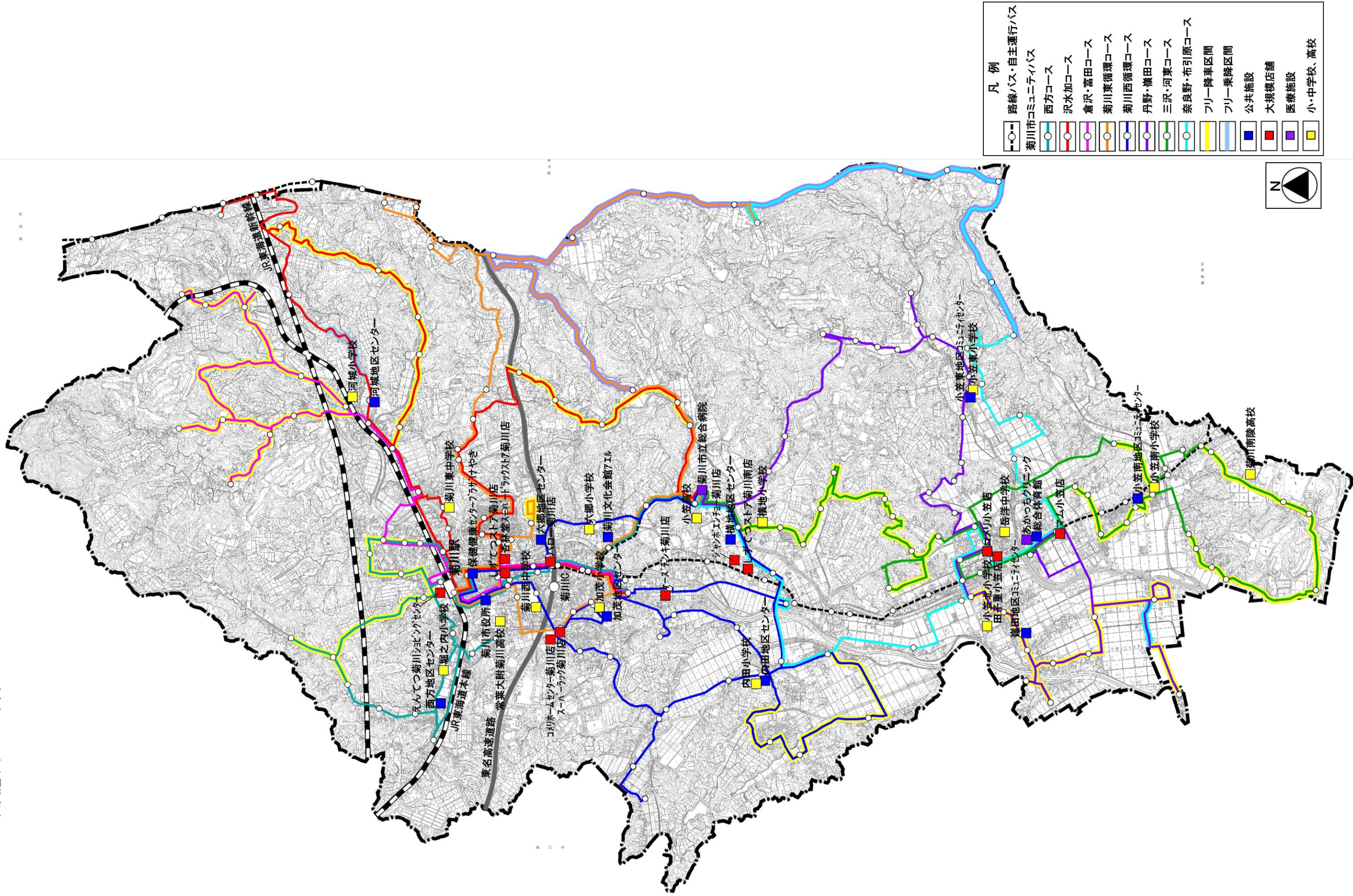
②運行概要

菊川市コミュニティバスは路線バスが運行していない公共交通空白地域を中心に、菊川市立総合病院を起点とし、7 コースの本格運行を行っている。

■菊川市コミュニティバスの運行概要

運行ルート ・便数	コース	運行時間帯	便数
	西方コース	7：04～15：40	往復各 4 便
	沢水加コース	7：16～16：40	往復各 5 便
	倉沢・富田コース	7：15～17：20	往復各 6 便
	菊川東循環コース	7：04～17：02	6 便
	菊川西循環コース	7：27～16：31	6 便
	丹野・嶺田コース	7：05～16：51	往路 5 便、復路 4 便
	三沢・河東コース※午後便は予約型	7：07～12：48	6 便（午前）、3 便（午後）
	奈良野・布引原コース（予約型）	7：30～16：50	往復各 6 便
運行日	平日のみ（土・日・祝日及び年末年始（12 月 29 日～翌年 1 月 3 日は運行なし））		
車両	10 人乗り（運転手含む）ワゴンタイプ（各コース 1 台、7 台）		
運賃	小学生以上 100 円 ※次に該当する方は運賃が免除 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、療育手帳の交付を受けている方 ・要介護認定を受け、要介護 1 以上の方 ・運転経歴証明書の交付を受けている方（交付月＋6 ヶ月間に限り免除） ・未就学児童（小学生未満） ・他のコースから乗り継ぐ方（当日限り）		

■公共交通ネットワーク図



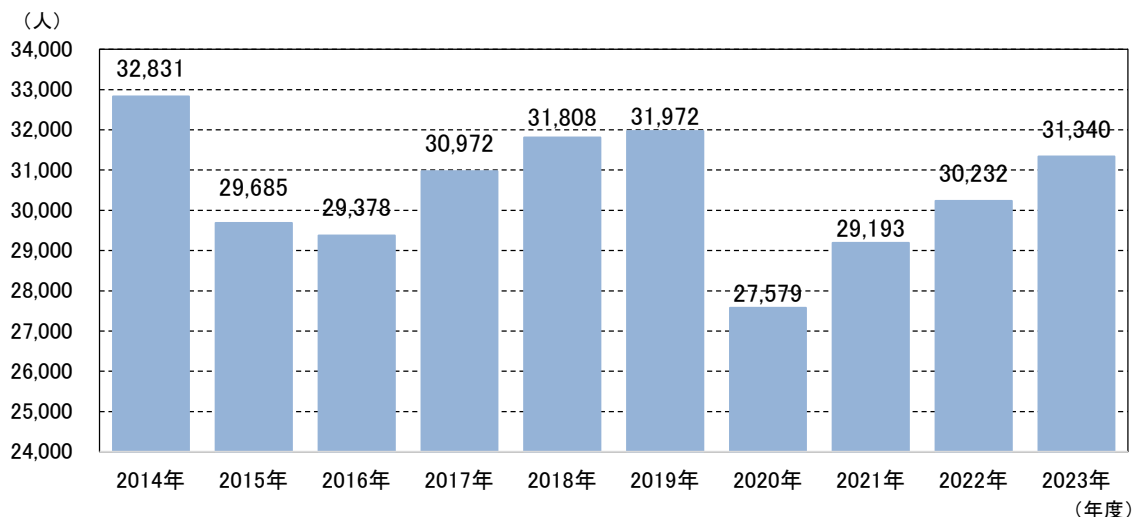
③利用状況

ア) 全体及びコース別利用者数

コミュニティバスの全体利用者数（2023 年度）は 30,972 人/年で、2020 年度に新型コロナウイルス、また一部路線のデマンド化により減少しているが、その後回復し 30,000 人前後で推移している。

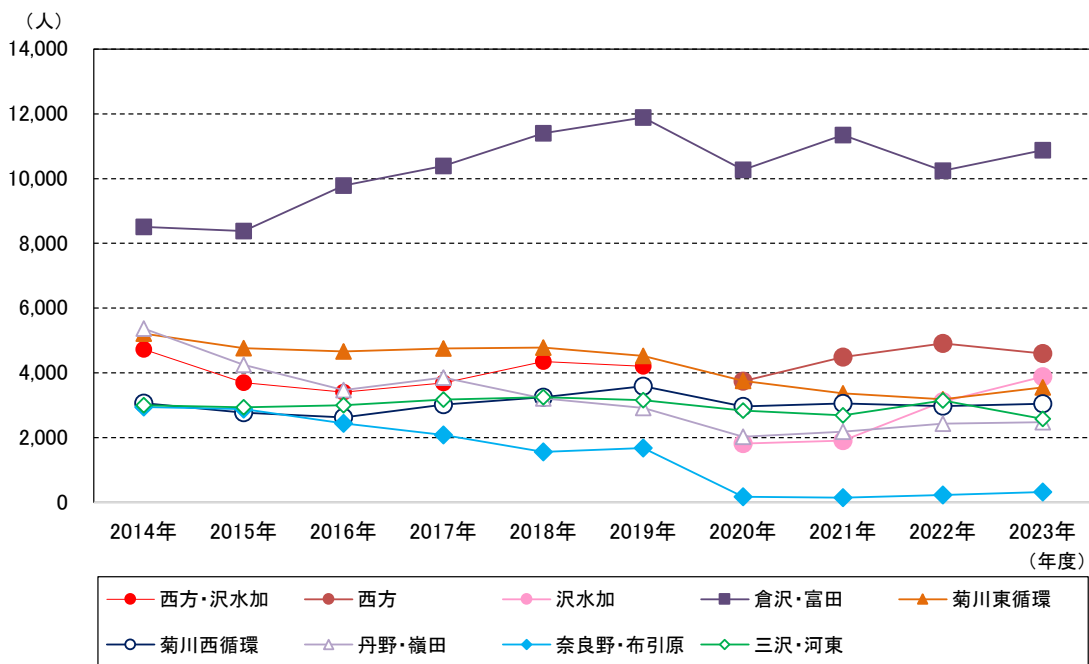
コース別利用者数の推移を見ると、西方・沢水加コースは 2020 年度以降、西方コース及び沢水加コースに分かれ、合計利用者数は増加している。奈良野・布引原コースは 2020 年度にデマンド運行が開始され、全体の利用者数は減少したものの、デマンド利用者は年々増加している。その他のコースは新型コロナウイルスの影響で 2020 年度に減少しているが回復傾向である。

■全体利用者数（予約型運行含む）



出典：菊川市資料

■コース別利用者数（予約型運行含む）

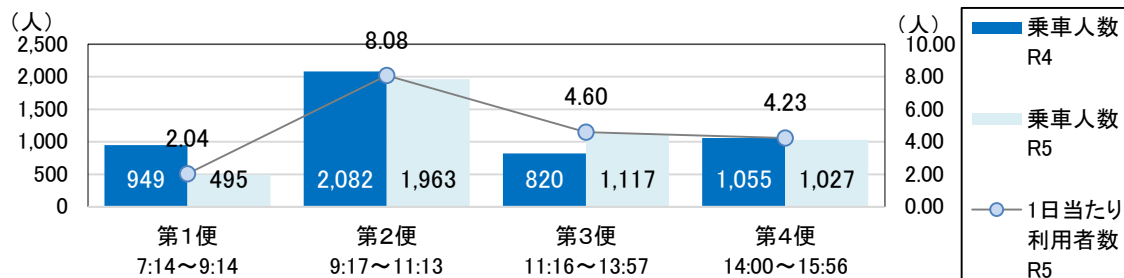


出典：菊川市資料

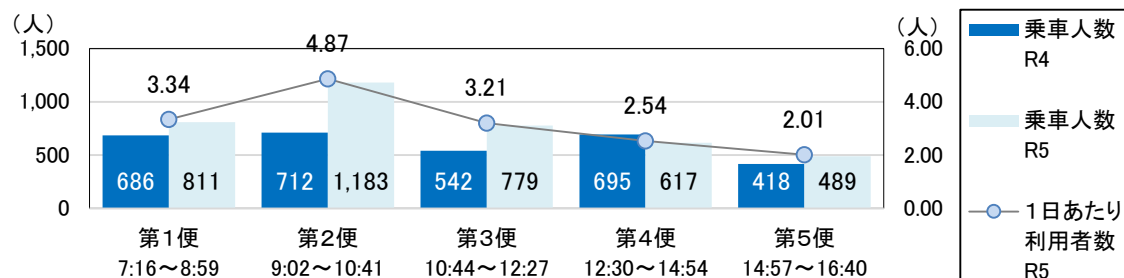
イ) 便別利用者数

【定時定路線】

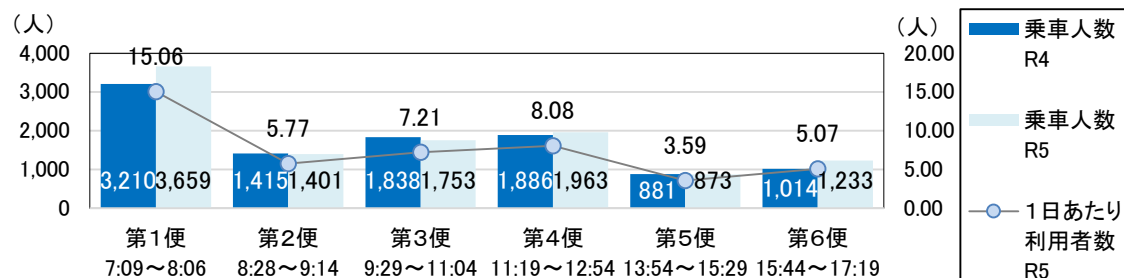
《西方コース》第2便が最も多い。第1便はR4～R5にかけて約半減している。



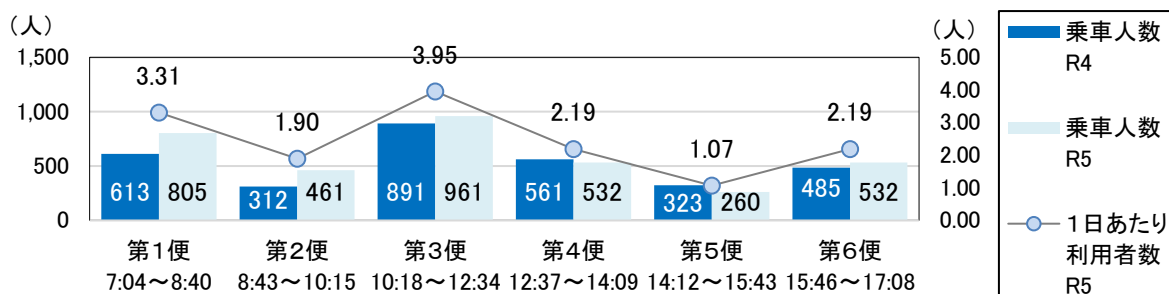
《沢水加子コース》第2便が最も多く、時間帯が遅くなるほど利用者が減少している。



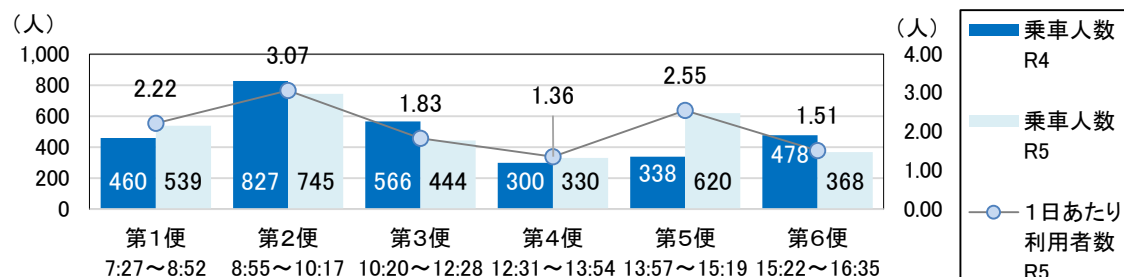
《倉沢・富田コース》第1便が最も多く、次いで第3便、第4便が多い。



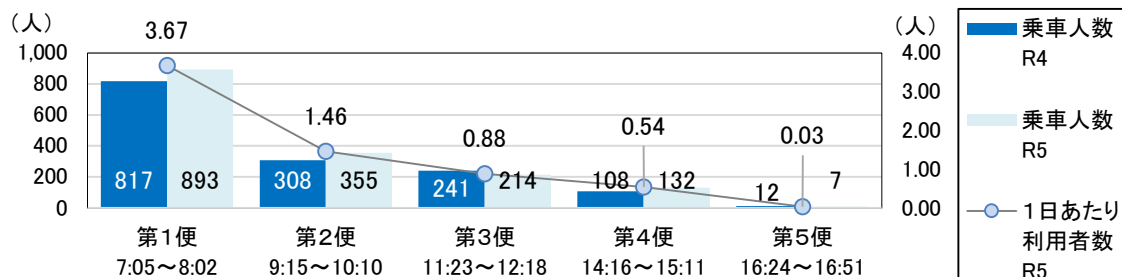
《菊川東循環コース》第1便と第3便が多く、第5便が少ない。



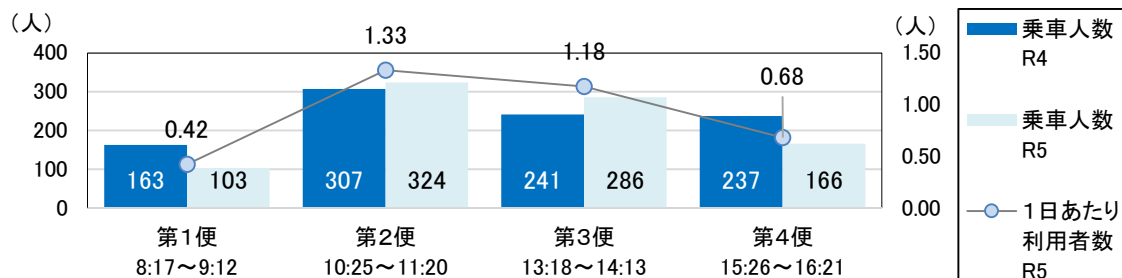
《菊川西循環コース》第2便と第5便が多い。第4便が少ない。



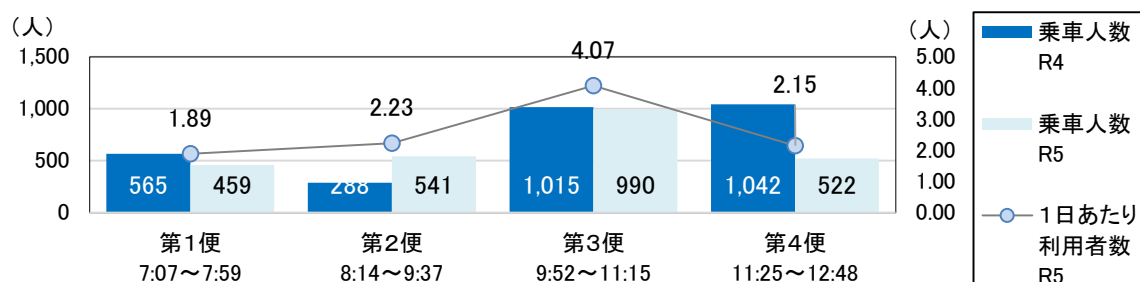
《丹野・嶺田コース（往路：西ヶ崎公民館→菊川病院）》第1便が多く、遅い便になるほど少ない。



《丹野・嶺田コース（復路：菊川病院→西ヶ崎公民館）》第2便と第3便が多い。

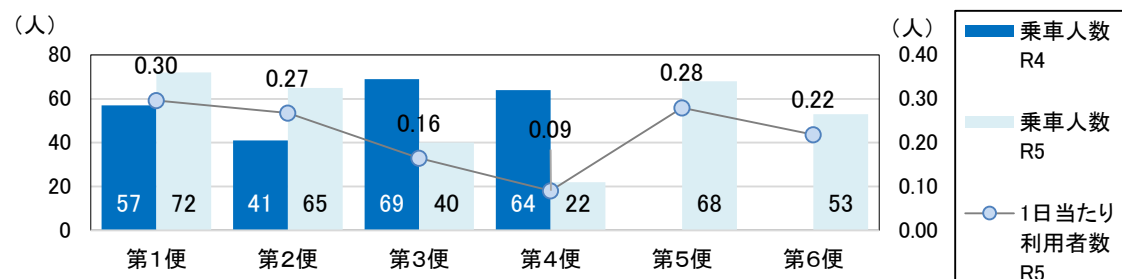


《三沢・河東コース》第3便が多く、第1便が少ない。第4便はR4～R5にかけて半減している。

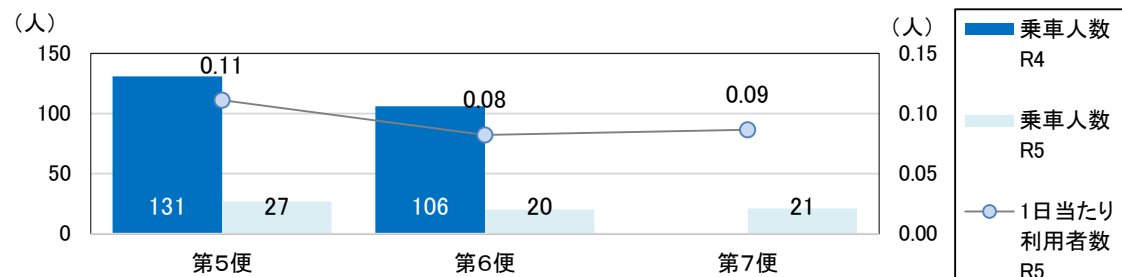


【デマンド運行】

《奈良野・布引原コース》第1便が多い。R5は増便した第5便第6便も多く、R4からR5にかけて第3便と第4便の利用が減少。



《三沢・河東コース》R4は第5便と第6便が多いが、R5は全ての便が少ない。



ウ) 停留所別乗降者数

7 コース全てが乗り入れている菊川市立総合病院が最も多く、次いで菊川駅前、杏林堂菊川店、JA河城支店、JA菊川中央支店、菊川市役所前等、商業施設や公共施設、鉄道駅が多い。

■停留所別乗降者数ランキング・上位 50 位（令和5 年度）

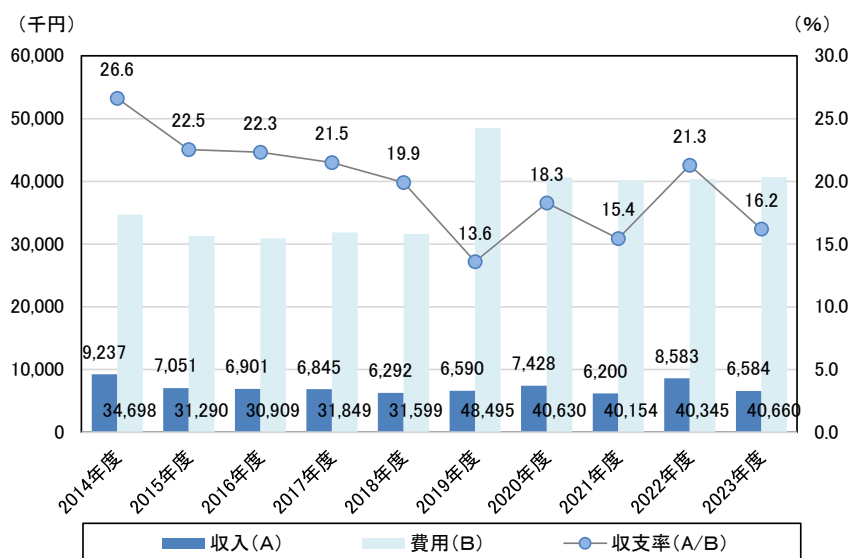
NO	停留所名	乗降者数	1 日あたり	コース名				
1	菊川市立総合病院	8,345	34.3	全コース				
2	菊川駅前	6,581	27.1	西方	沢水加	倉沢・富田	東循環	西循環
3	杏林堂菊川店	4,047	16.7	西方	沢水加	倉沢・富田	西循環	東循環
4	JA河城支店	3,122	12.8	倉沢・富田				
5	JA菊川中央支店	3,105	12.8	西方	倉沢・富田	東循環	西循環	
6	菊川市役所前	1,939	8.0	西方	倉沢・富田	東循環	西循環	
7	田子重小笠店	1,723	7.1	丹野・嶺田	三沢・河東	奈良野・布引原		
8	えんてつ菊川ショッピングセンター	1,708	7.0	西方	倉沢・富田			
9	上倉沢公会堂	1,682	6.9	倉沢・富田				
10	上本所団地	1,540	6.3	沢水加	倉沢・富田			
11	病院北薬局前	1,446	6.0	西方	沢水加	倉沢・富田	東循環	西循環
12	バロー西	1,371	5.6	西方	倉沢・富田			
13	上倉沢茶農協	1,184	4.9	倉沢・富田				
14	火剣山入口前	843	3.5	倉沢・富田				
15	潮海寺地区公民館	785	3.2	西方	倉沢・富田			
16	上本所（マルモ）	751	3.1	西方	倉沢・富田			
17	青葉台一丁目	692	2.8	沢水加	東循環			
18	豆尻橋	677	2.8	西方				
19	ブラザけやき	629	2.6	西方	沢水加	倉沢・富田	東循環	西循環
20	五丁目上	628	2.6	西方	倉沢・富田			
21	河城地区センター	611	2.5	沢水加	倉沢・富田			
22	虹の丘	570	2.3	沢水加	東循環			
23	平田	553	2.3	丹野・嶺田	三沢・河東	奈良野・布引原		
24	沢水加原	530	2.2	東循環				
25	青葉台三丁目	491	2.0	沢水加	東循環			
26	スーパーラック前	487	2.0	東循環	西循環			
27	古谷	475	2.0	丹野・嶺田				
28	和田公会堂前	472	1.9	沢水加	倉沢・富田			
29	川中公民館	467	1.9	丹野・嶺田				
30	菊川西中学校前	449	1.8	西循環				
31	JA菊川センター	425	1.7	倉沢・富田	西循環			
32	緑ヶ丘	407	1.7	西方				
33	菊川インター前	382	1.6	西方	倉沢・富田			
34	菊川眼科前	349	1.4	東循環				
35	堀口公民館	348	1.4	三沢・河東				
36	萬田橋	303	1.2	西方				
37	富士見台	298	1.2	沢水加	東循環			
38	杉原脳神経外科前	291	1.2	東循環	西循環			
39	北之谷	290	1.2	三沢・河東				
40	潮海寺仁王門下	279	1.1	倉沢・富田				
41	平尾団地3号公園	263	1.1	西循環				
42	杏林堂小笠店	259	1.1	丹野・嶺田	三沢・河東	奈良野・布引原		
43	青葉台コミュニティセンター	256	1.1	沢水加	東循環			
44	きくがわデイサービスぎおんの里	237	1.0	西方	倉沢・富田			
45	六本松集会所	236	1.0	沢水加				
46	宝珠寺	234	1.0	三沢・河東				
47	下倉沢公会堂入口	229	0.9	倉沢・富田				
48	友田公会堂	227	0.9	倉沢・富田				
49	八幡谷	226	0.9	三沢・河東				
50	牧之原上（桂花堂前）	223	0.9	東循環				

④運行収支

菊川市コミュニティバスの費用は 2020 年度以降横ばい、収入は増減を繰り返しており、収支率は 2019 年度以降増減を繰り返しているが、2014 年度と比較して悪化している。同じく、利用者 1 人当たり経費も増加している。

■菊川市コミュニティバスの運行収支

年度	費用（A）	収入（B）	運行経費 （C）= A - B	利用者数（D）	利用者1人あたり経費 （E）= C / D	市民 1 人あたり経費 （F）= C / 該当年度末人口
2014年度	34,698,367円	9,236,894円	25,461,473円	32,831人	776円	532円
2015年度	31,289,682円	7,051,000円	22,132,056円	29,685人	746円	451円
2016年度	30,909,150円	6,900,618円	24,008,532円	29,378人	817円	501円
2017年度	31,848,931円	6,845,050円	25,003,881円	30,972人	807円	522円
2018年度	31,599,413円	6,291,600円	25,307,813円	31,808人	795円	523円
2019年度	48,495,347円	6,589,970円	41,905,377円	31,972人	1,310円	864円
2020年度	40,630,193円	7,427,800円	33,202,393円	27,579人	1,203円	690円
2021年度	40,154,132円	6,199,700円	33,954,432円	29,193人	1,163円	711円
2022年度	40,345,186円	8,583,300円	31,761,886円	30,232人	1,050円	668円
2023年度	40,660,020円	6,583,500円	34,076,520円	31,340人	1,087円	718円



出典：菊川市資料

（４）タクシー

菊川市では、2 社（堀之内タクシー(株)、菊川タクシー(有)）が運行中で、タクシー協会では、65 歳以上の免許を返納した方に対して、乗車の際に運転経歴証明書を提示することで運賃を 10%割引というサービス「運転免許証返納割引」を行っている。

【タクシー事業者の概要】

菊川タクシー(有)	営業所：菊川市加茂 3020-1 車両保有台数：23 台（運転者数：27 人） ※うち大型等車両（ワンボックス車両）1 台、福祉車両（車椅子等が乗降可能な設備搭載）3 台、ユニバーサルデザイン（UD）車両 16 台
堀之内タクシー(株)	営業所：菊川市半済 735-3

出典：タクシー事業者アンケート調査

(5) 福祉有償運送

障がい者や要介護者など公共交通機関を利用することが困難な方に対して4事業者が許可を得て運行している。

(参考) 福祉有償運送事業及び移送サービスの概要

■福祉有償運送事業概要

利用対象者	ひとり暮らしで菊川市内に在住し、一般の交通手段を利用することが困難な人で、次のいずれかに該当する人とその付添い人 ・介護保険の要支援又は要介護認定者 ・身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳所持者
事業実施日	月～金曜日（但し、祝祭日、年末年始を除く）
サービス利用時間	午前8時45分から午後4時30分まで
利用料金	入会金2,000円、基本料金（初乗り走行1.5kmまで）300円、超過料金（1km毎に加算）100円 ※事前予約制
移送の範囲	菊川市内及び近隣市（運送の出発地または到着地が菊川市内にあること）

■移送サービス概要（リフト付き車両で通院や退院時の送迎を行い、生活を支援する事業）

対象者	次のすべてに該当する方 1. 市内に住所を有し、在宅で生活されている方 2. 単独で、タクシーやその他公共交通機関を利用することが困難な方 3. 同居または別居の家族など、家庭内での送迎が困難な方 4. (1)または(2)に該当する方 (1) 要介護度3以上かつ介護保険認定の主治医意見書において、寝たきり度がB以上の自立歩行が困難な方 (2) 身体障害者手帳1級または2級を所持し、障がい区分が下肢機能障がい、体幹機能障がい、視覚障がい、で自立歩行が困難な方
利用回数	月片道4回（往復は2回）まで
送迎範囲	自宅から受診している医療機関（菊川市、掛川市、御前崎市内） ※その他の地区については要相談

(6) 公共交通空白地域

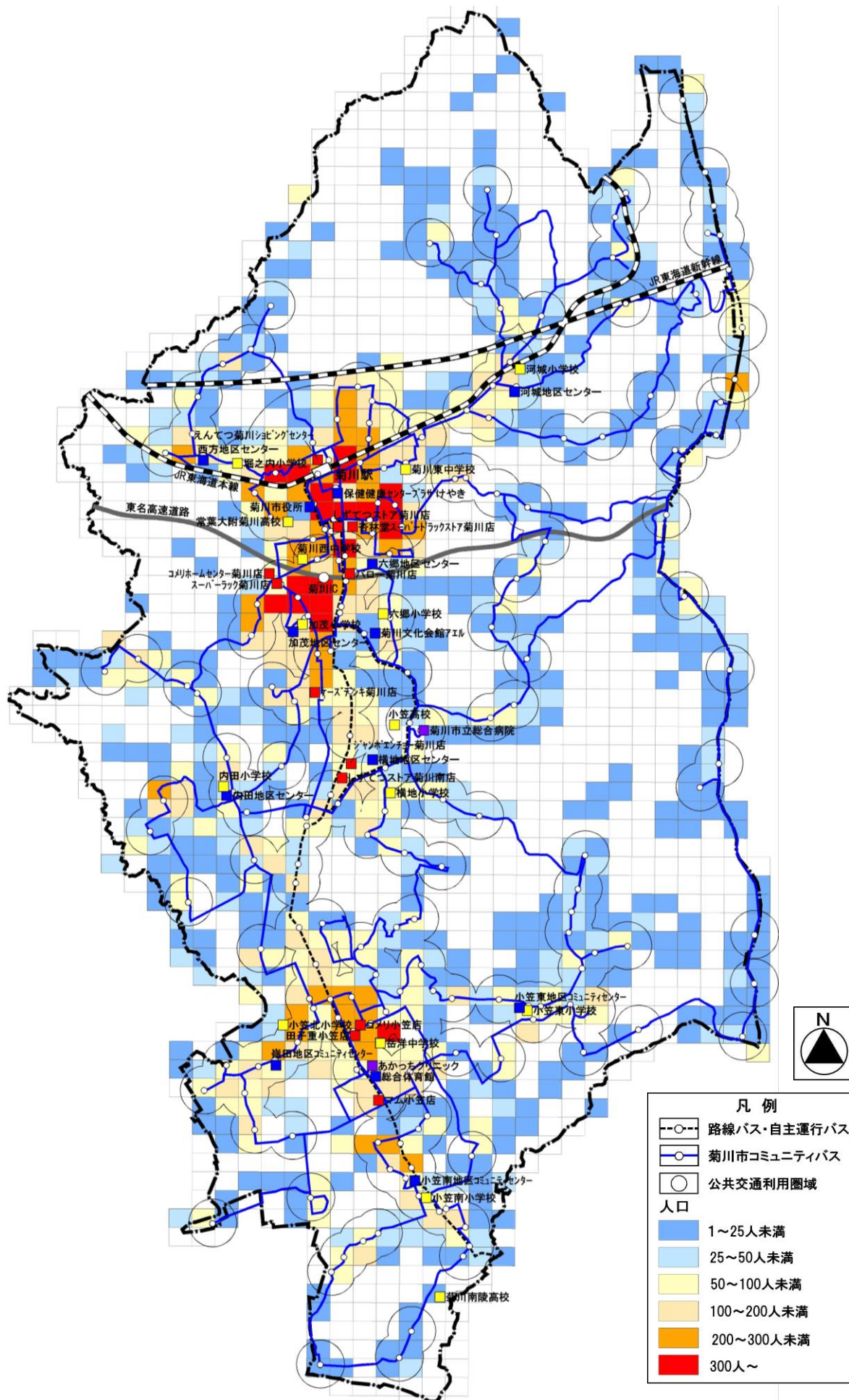
公共交通空白地域（鉄道駅より半径1km以遠、バス停より半径300m以遠）は既存の鉄道や民間路線バス、コミュニティバスにより概ねカバーされており、内田地区など一部地域のみで公共交通空白地域が存在している。

■公共交通利用圏域及び空白地域

	面積 (km ²)	人口（人）				
		年少人口	生産年齢人口	老年人口	不詳	計
公共交通利用圏域	38.34	5,727	23,671	10,812	387	40,597
	40.7%	12.0%	49.5%	22.6%	0.8%	85.0%
公共交通空白地域	55.85	984	4,114	2,052	42	7,192
	59.3%	2.1%	8.6%	4.3%	0.1%	15.0%
合計	94.19	6,711	27,785	12,864	429	47,789

※鉄道駅から半径1km、バス停から半径300m。公共交通利用地域、公共交通空白地域の面積ベース、人口ベースは令和2年国勢調査の250mメッシュ人口と重なる割合を算出

■公共交通利用圏域図



3 公共交通の利用実態及びニーズに係る調査

3-1 市民アンケート調査

公共交通に関する利用状況や利用意向、将来の方向性などについて把握し、これからの公共交通のあり方を検討する上での基礎資料とするために、市民アンケート調査を行った。

調査対象者	15歳以上 2,000人（住民基本台帳による無作為抽出）
調査方法	郵送配布、郵送回収 ※令和6年11月29日（金）発送～令和6年12月17日（火）
調査項目	①回答属性 ・性別、年齢、職業、居住地、自宅近くのバス停有無と徒歩での所要時間、自動車運転免許有無 ②日常生活の移動実態 ・外出頻度、外出時の主な行き先、利用交通手段【目的別（買物、通院、通勤・通学）】 ・外出する時に交通手段が無くて困るものの有無とその目的、対応方法 ③鉄道の利用実態と意識・要望 ・主な利用鉄道駅、利用目的、運行サービスに対する満足度 ④バス（コミュニティバス、路線バス）の利用実態と意識・要望 ・コミュニティバスの利用頻度、行き先などの確認方法、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度、改善点 ・路線バス（菊川浜岡線）の利用頻度、利用目的、運行サービスに対する満足度 ⑤タクシーの利用実態と意識・要望 ・タクシーの利用頻度、利用目的、利用しない理由、運行サービスに対する満足度 ⑥公共交通の利用意向 ・直接移動できるバスなどの公共交通機関が運行した場合に行きたい場所、利用目的、利用頻度 ⑦公共交通の維持・利用促進 ・公共交通の今後の取り組みの方向性、維持・充実していくための費用負担方法、公共交通を維持していくための自身での公共交通の考え方、効果的な公共交通の利用促進策
回収状況	回収票数：〇〇票（回収率：〇〇％）

※現在、入力・集計作業中

3-2 公共交通利用実態調査

(1) 民間バス等利用実態調査

調査対象路線	路線バス・菊川浜岡線、自主運行バス・萩間線
調査方法	【菊川浜岡線】 ・菊川駅、菊川市立総合病院でのバス利用者へ調査票を渡し、その場で調査票の該当箇所を折り込むアンケート方式（ビンゴ形式調査票の活用） 【萩間線】 ・バスの乗客へ調査票を渡して、乗客による回答 ・調査日時：令和6年10月22日（火）、始発から最終まで
調査項目	乗車・降車バス停（OD）、利用者属性（性別、年齢、居住地）、利用目的、利用頻度、運行サービスに対する満足度、改善して欲しいサービス

1) 菊川浜岡線 ※菊川駅 153 票、菊川市立総合病院 8 票

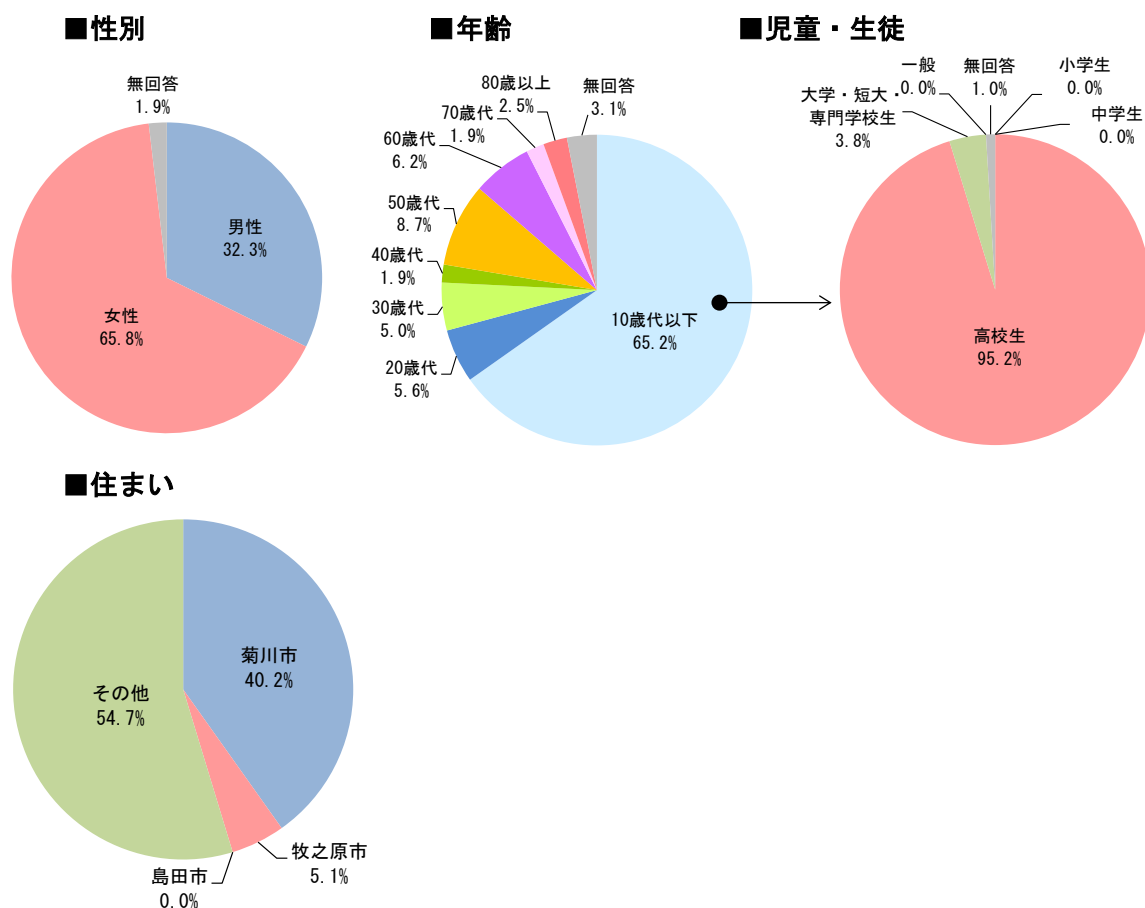
菊川駅及び菊川市立総合病院での利用者は高校生が約6割以上を占め、住まいは菊川市以外が約6割、菊川市が約4割を占めている。

菊川浜岡線に乗る前の交通手段は「鉄道」が、降りた後は「自転車・徒歩」が最も多い。

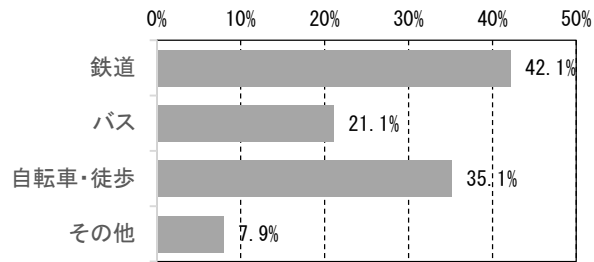
運賃の支払い方法は、「定期券」が64.1%と最も多い。

利用目的は「通学」が64.0%と最も多く、次いで「通勤（16.8%）」となっている。利用頻度は通勤・通学目的が多いため、「週に5日以上」が58.3%と最も多い。

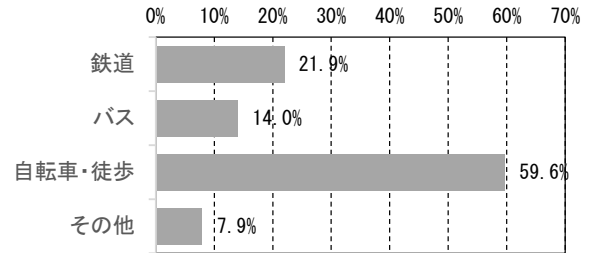
運行サービスの満足度は約7割が満足しており、「不満」、「やや不満」と回答した方は7.8%と少ない。



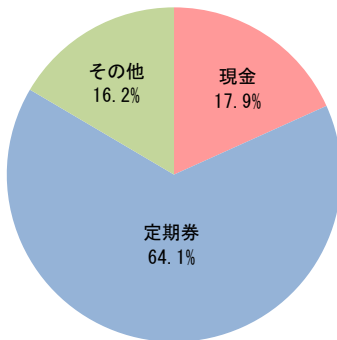
■乗る前の交通手段



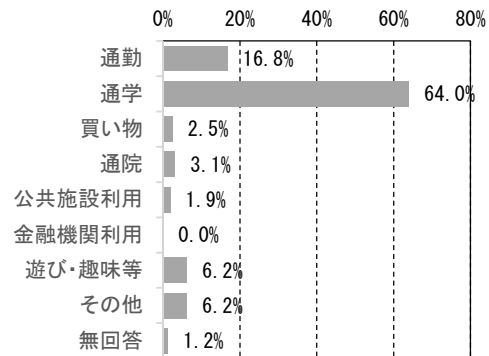
■降りた後の交通手段



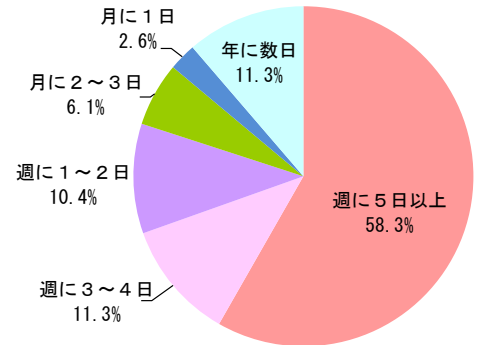
■運賃支払い方法



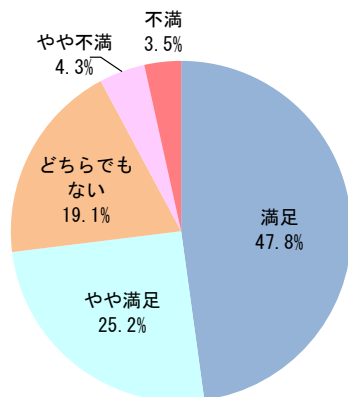
■本日の利用目的



■利用頻度



■運行サービスの満足度



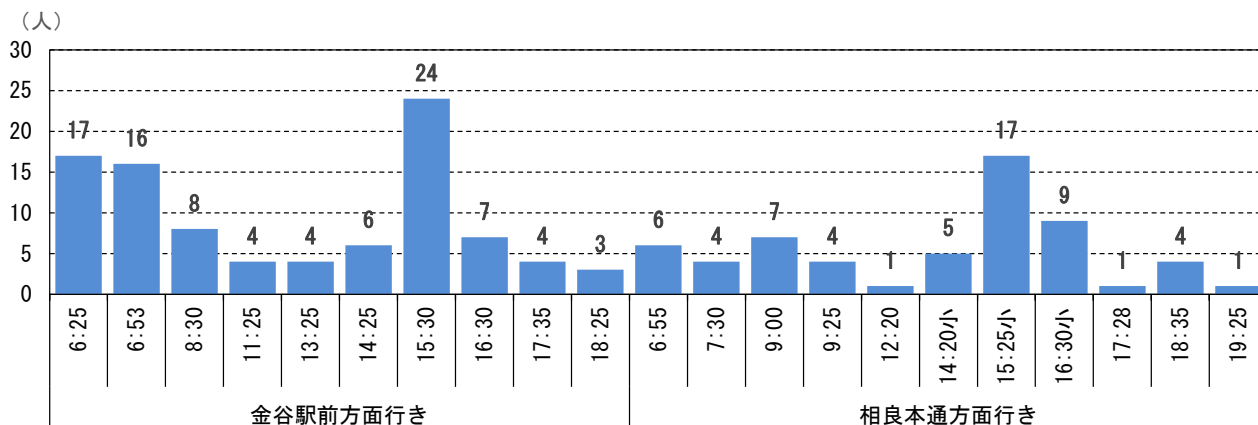
2) 萩間線

①利用実績 ※調査拒否含む

ア) ダイヤ別利用者数

萩間線の日利用者数は 152 人/日で、ダイヤ別に見ると、金谷駅前方面行きは 15 : 30 発が、相良本通方面行き 15 : 25 発で最も多く、ダイヤにより利用の偏りが見受けられる。

■ダイヤ別利用者数

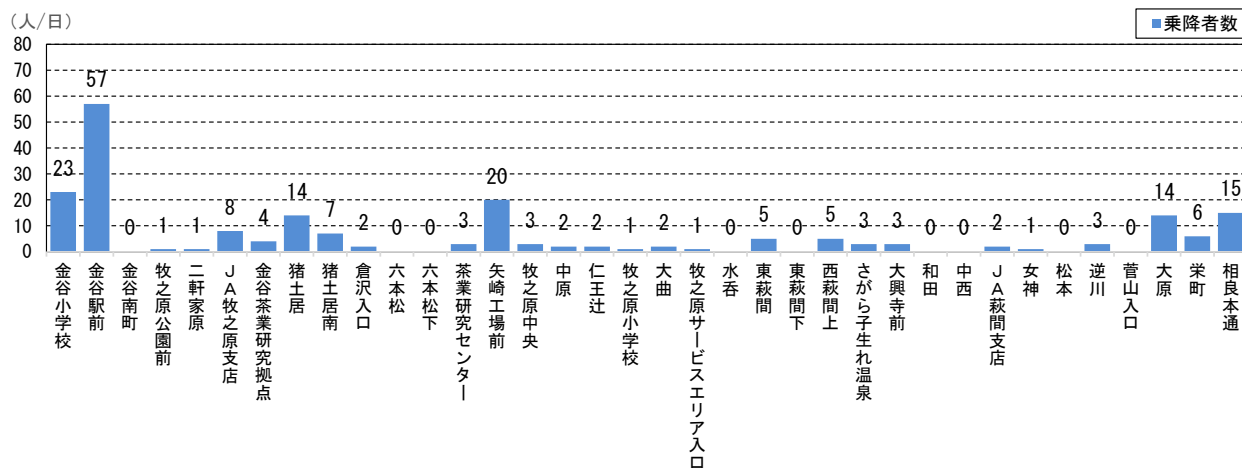


イ) バス停別利用者数

バス停日乗降者数は金谷駅前が最も多く、次いで矢崎工場前、相良営業所、J A 萩間支店の順で多い。

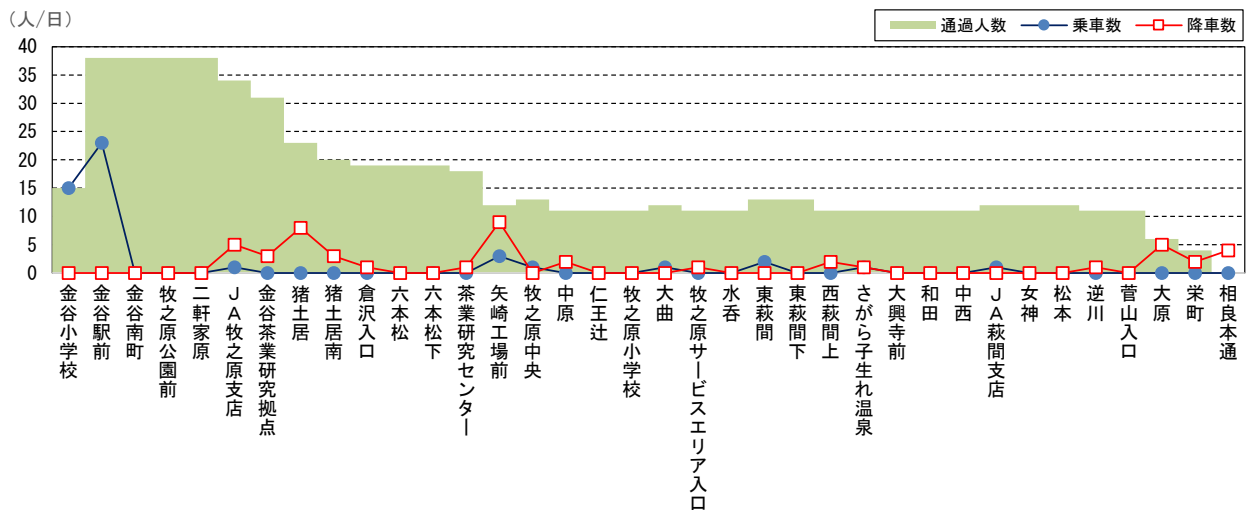
利用ODは、金谷駅前→矢崎工場前（9人）、金谷小学校→猪土居（6人）、矢崎工場前→金谷駅前（6人）、相良本通→金谷駅前（6人）が多い。

■バス停日乗降者数

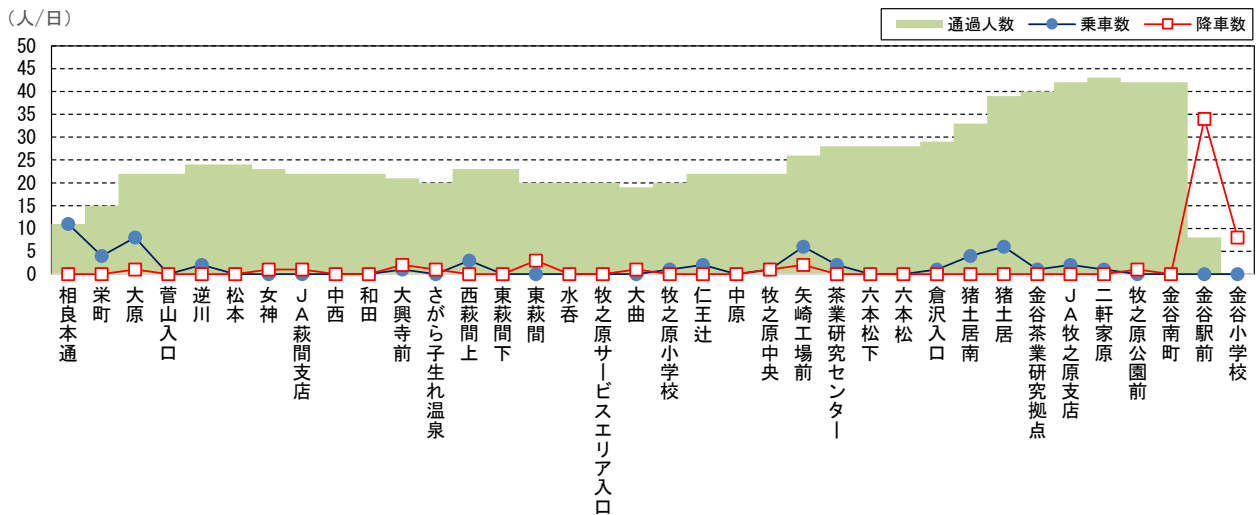


■バス停別バス停別乗車数・降車数・通過人数

(金谷小学校⇒相良本行き)



(相良本通⇒金谷小学校行き)



■ 莖間線OD結果

[illegible]

②利用特性

萩間線の利用者は「10 歳代以下」の高校生、小学生が多く、住まいは島田市が 46.2%、牧之原市が 31.7%、その他が 13.5%、菊川市が 2.9%を占めている。

萩間線前後の交通手段は「自転車・徒歩」が最も多く、次いで「鉄道」となっており、公共交通同士の利用が約 3 割を占めている。

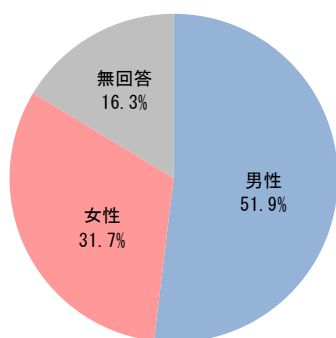
運賃の支払い方法は、「定期券」が 56.7%と最も多い。

利用目的は「通学」が 50.0%と最も多く、次いで「通勤（33.7%）」となっている。

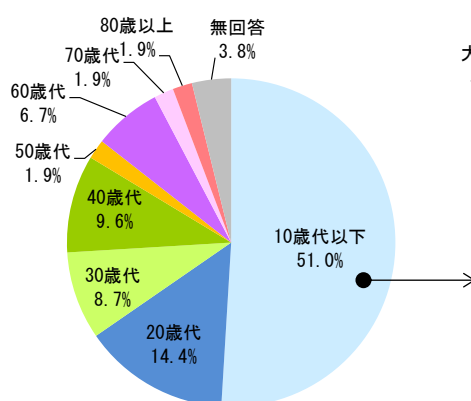
利用頻度は通勤・通学目的が多いため、「週に 5 日以上」が 59.6%と最も多い。

運行サービスの満足度は約 7 割が満足しており、「不満」、「やや不満」と回答した方は 7.7%と少ない。

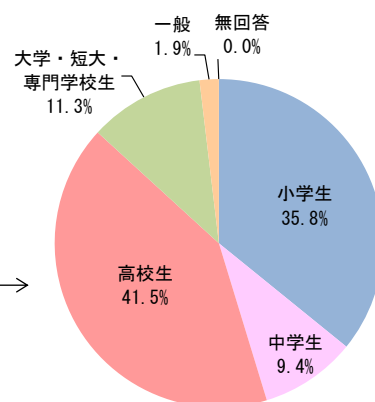
■性別



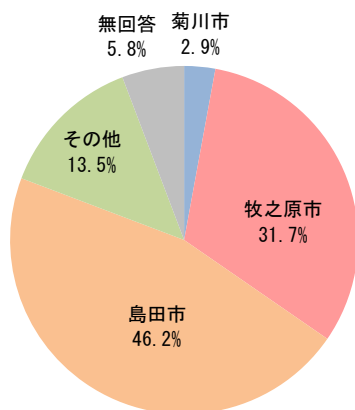
■年齢



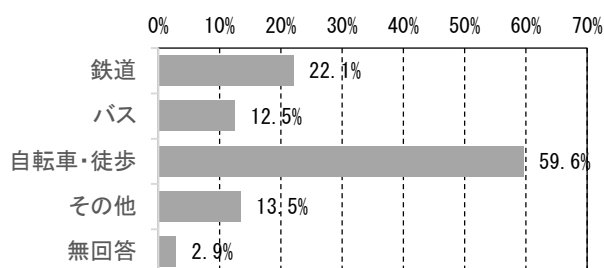
■児童・生徒



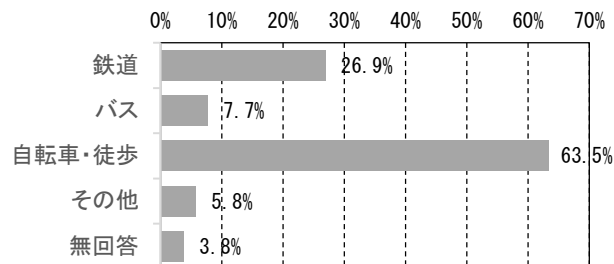
■住まい



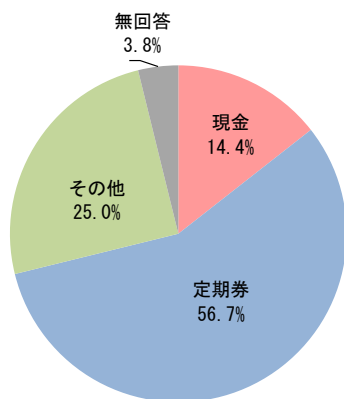
■乗る前の交通手段



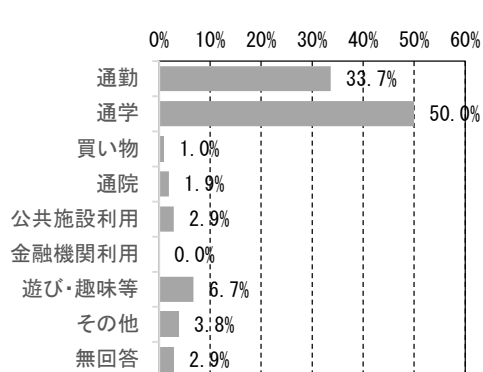
■降りた後の交通手段



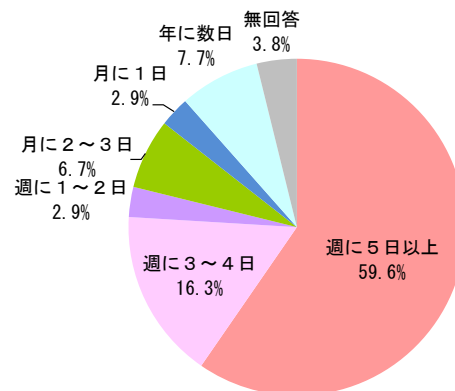
■運賃支払い方法



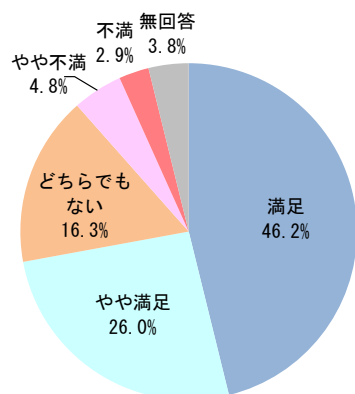
■本日の利用目的



■利用頻度



■運行サービスの満足度



【民間バス等利用実態調査のまとめ】

- 菊川浜岡線、萩間線ともに高校生の通学利用の割合が多く、民間バスの主な利用者層として通学利便に配慮した運行の維持が求められる。
- 民間バス前後の交通手段は両路線とも自転車・徒歩⇄バスへの移動が多いものの、鉄道とバスとの乗り継ぎが2～3割を占めており、公共交通同士の接続強化が必要である。

(2) 菊川市コミュニティバス利用実態調査

調査対象 路線	・ 西方コース ・ 沢水加コース ・ 倉沢・富田コース ・ 菊川西循環コース ・ 菊川東循環コース ・ 丹野・嶺田コース ・ 三沢・河東コース ・ 奈良野・布引原コース
調査方法	・ 調査票を運転手が配布し、郵送回収
調査項目	・ 利用者属性（性別、年齢、住まい、自動車運転免許証有無、自動車所有状況） ・ 利用頻度、利用目的、片道・往復利用有無、往復利用していない理由、時刻の確認方法 ・ 運行サービスに対する満足度、不便と思う点 ・ コミュニティバスからしずてつジャストラインへの乗換え有無や乗換えしない理由 ・ 改善点、今後の取組みの方向性、維持・充実していくための費用負担方法

※現在、入力・集計作業中

(3) JR 菊川駅利用実態調査

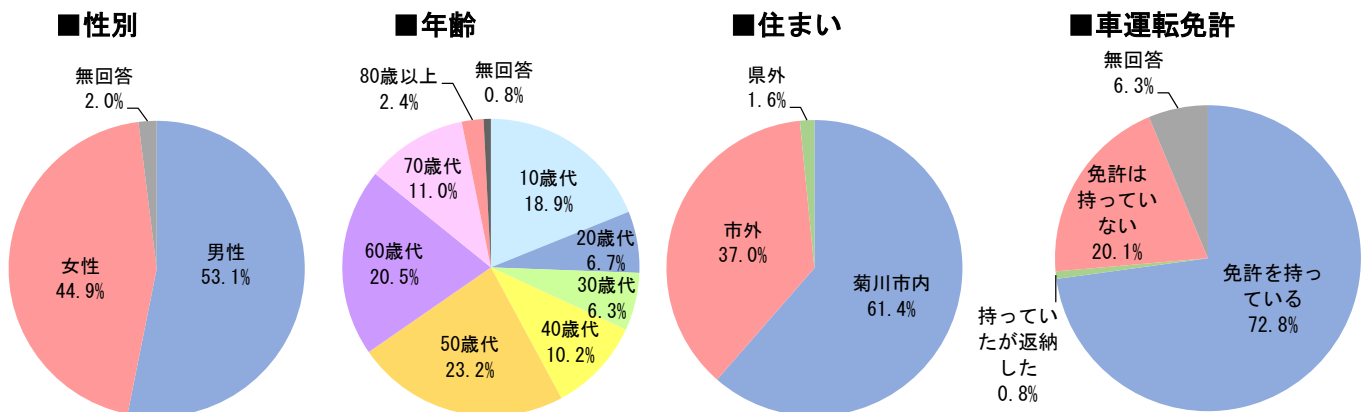
調査方法等	・調査場所：菊川駅南口（改札付近） ・調査方法：調査員による直接手渡し、郵送回収 ・調査日時：令和6年10月22日（火）、7時00分～19時30分まで
調査項目	・利用者属性（性別、年齢、居住地、自動車運転免許有無） ・利用目的、利用頻度、菊川駅まで（から）の利用交通手段 ・運行サービス満足度 ・JR 東海道線（菊川駅）の利用をより一層高めるために必要なサービス
配布・回収状況	配布数 925 票、回収数 254 票（回収率 27.5%）

1) 回答者の属性

回答者の性別は男性、女性とも同程度となっており、年齢は「50 歳代(23.2%)」「60 歳代(20.5%)」「10 歳代 (18.9%)」の順で多く、幅広い年代が回答している。

住まいは、「菊川市内」が 61.4%、「市外」と「県外」が 38.6%となっている。

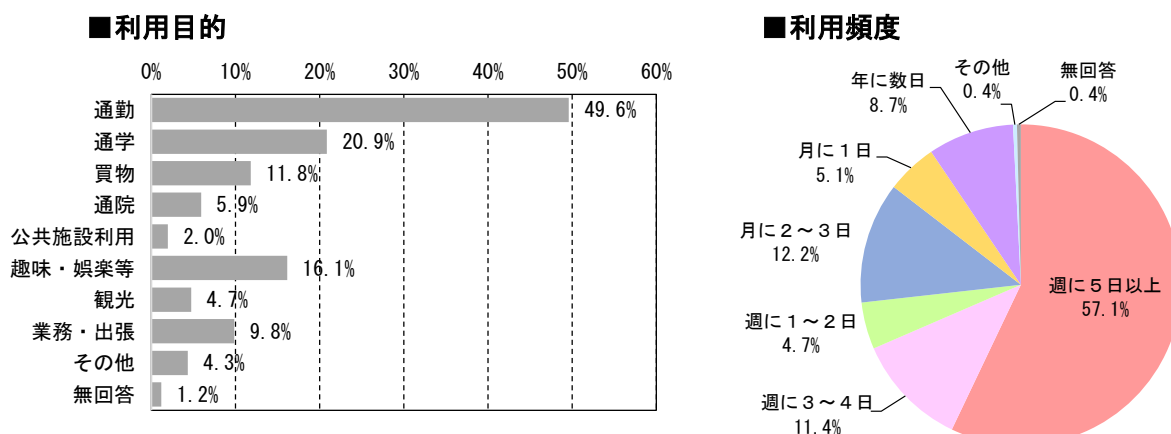
車運転免許は「免許を持っている」方が 72.8%と多い。



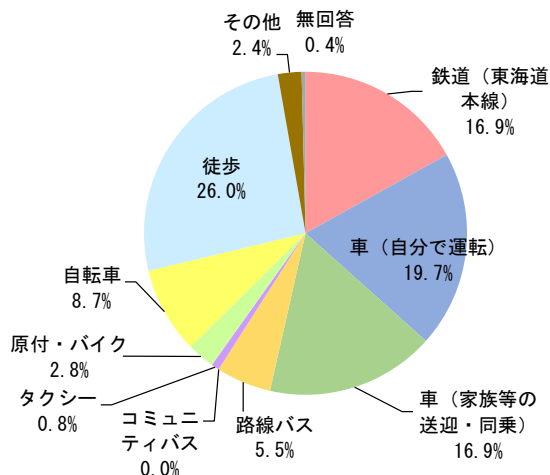
2) 鉄道の利用特性

鉄道（JR 東海道線）の利用目的は「通勤」が 49.6%と最も多く、次いで「通学（20.9%)」、「趣味・娯楽等（16.1%)」の順となっており、利用頻度も利用目的を反映し、「週に 5 日以上」が 57.1%と最も多い。

菊川駅まで（から）の利用交通手段は「徒歩（26.0%)」「車（自分で運転）（19.7%)」「車（家族等の送迎・同乗）（16.9%)」と車利用が多く、「路線バス」「コミュニティバス」は 5.5%と少ない。



■菊川駅まで（から）の利用交通手段

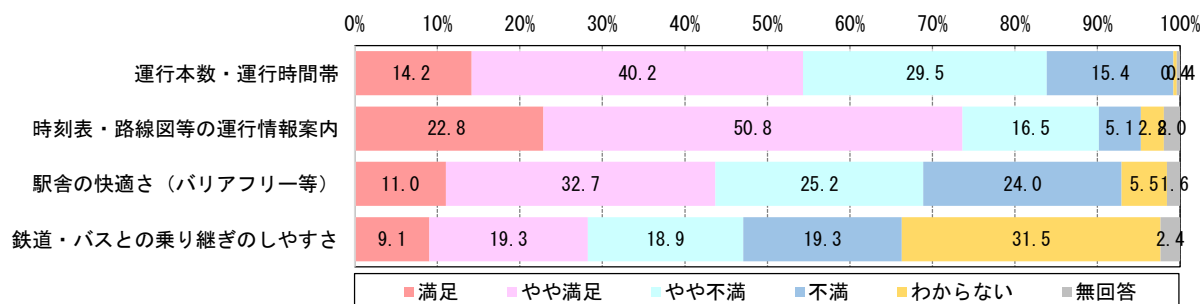


3) 運行サービスの満足度及び改善点

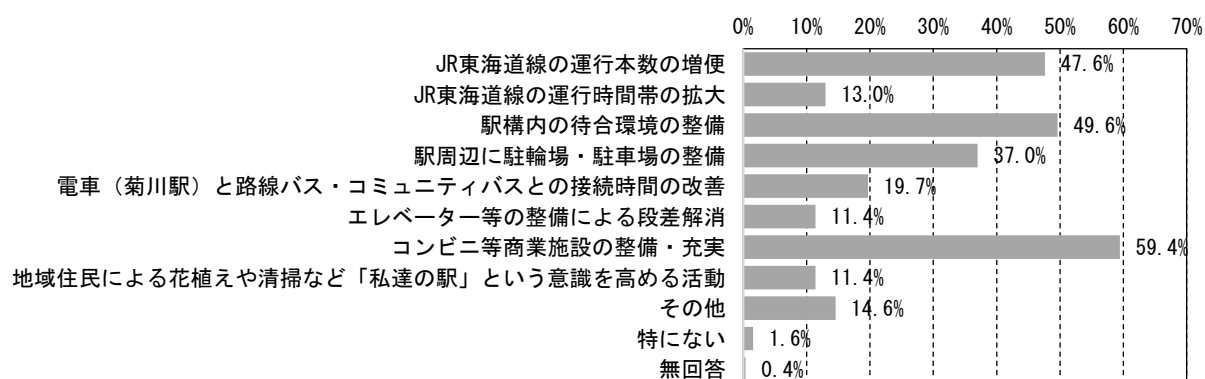
運行サービスに対する満足度は時刻表・路線図等の運行情報案内、運行本数・運行時間帯で満足度が高く、鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさで「わからない」回答が多いものの、満足度が低い。

利用をより高めるために必要なサービスや取組みは、「コンビニ等商業施設の整備・充実（59.4%）」、「駅構内の待合環境の整備（49.6%）」、「JR 東海道線の運行本数の増便（47.6%）」の順で多い。

■運行サービスの満足度



■利用をより高めるために必要なサービスや取組み



【JR菊川駅利用実態調査のまとめ】

- 運行サービスの満足度は「運行本数・運行時間帯」や「時刻表・路線図等の運行情報案内」で高いものの、「駅舎の快適さ」や「鉄道・バスとの乗り継ぎのしやすさ」で満足度が低い。
- 必要なサービスや取組みとしてコンビニ等商業施設の整備・充実（59.4%）、駅構内の待合環境の整備（49.6%）、JR 東海道線の運行本数の増便（47.6%）に対する回答が多い。

3－3 地区別意見交換会

日常生活の移動実態や公共交通に対するニーズ等を市民の生の意見を把握するため、意見交換会を開催する。地区は10地区を3会場以上（中学校区）に分けて実施する。

※今後実施予定

3-4 高校生アンケート調査

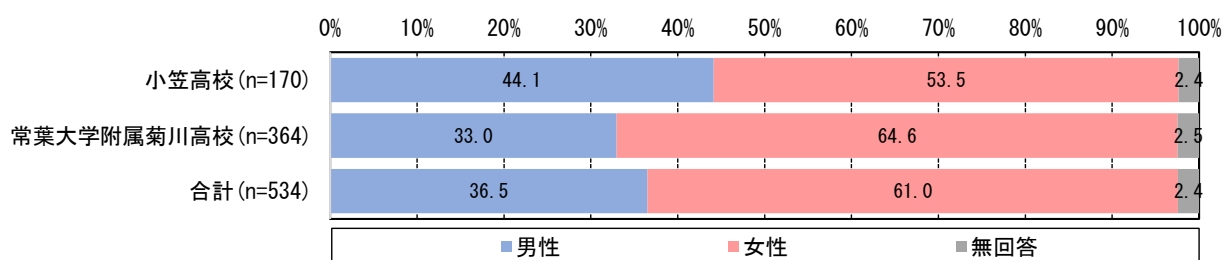
対象者等	2校・2年生（小笠高校（公立）、常葉大学附属菊川高校（私立））
調査方法	手渡し配布・回収
調査項目	・回答者の属性（性別、住所） ・学校への出発・到着時間、自宅から学校までの所要時間 ・通学時の交通手段（晴れの日、雨の日）、公共交通の運賃支払い方法 ・路線バスや菊川市コミュニティバスを利用しない理由 ・登下校の時間帯に合うように運行された場合の利用意向 ・運行内容やバス停の利用環境などに対する改善して欲しい点
回収票数	小笠高校 170 票、常葉大学附属菊川高校 364 票、合計 534 票

（１）回答者の属性

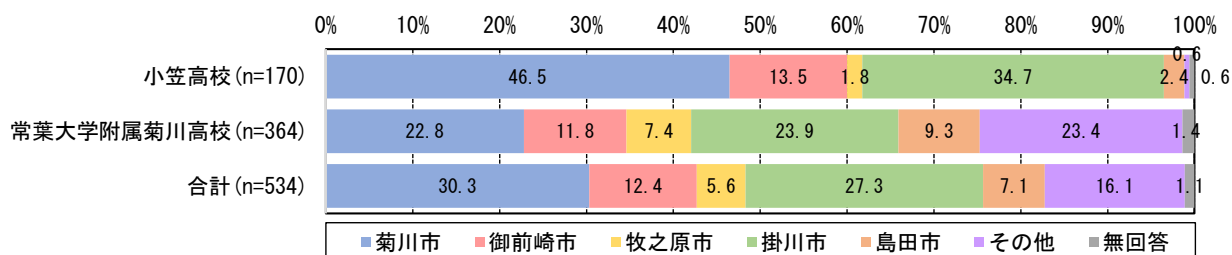
回答者の性別は女性の割合が小笠高校で 53.5%、常葉大学附属菊川高校が 64.6%と多い。

住所は小笠高校が菊川市 46.5%、掛川市 34.7%、御前崎市 13.5%の順で、常葉大学附属菊川高校が掛川市 23.9%、その他 23.4%、菊川市 22.8%の順で多く、常葉大学附属菊川高校の方がやや遠方の自宅から通学している方が多い。

■性別

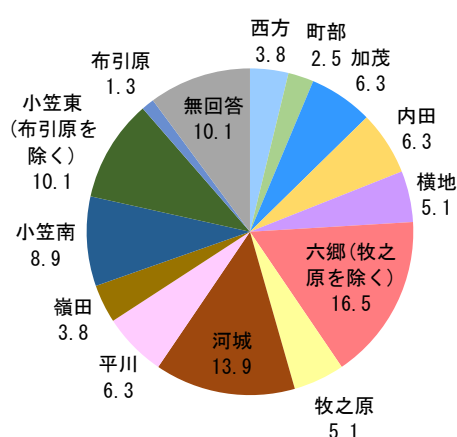


■住所

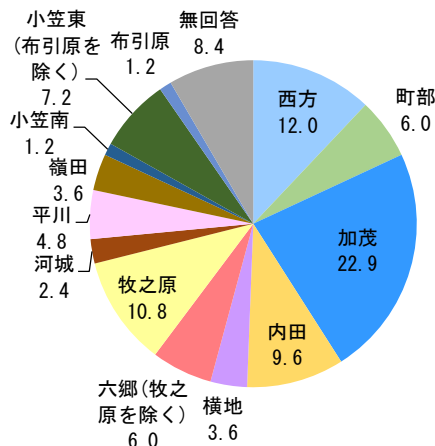


■菊川市内

《小笠高校》



《常葉大学附属菊川高校》



【その他市町村】

《小笠高校 (n = 1)》

袋井市 1 票

《常葉大学附属菊川高校 (n = 85)》

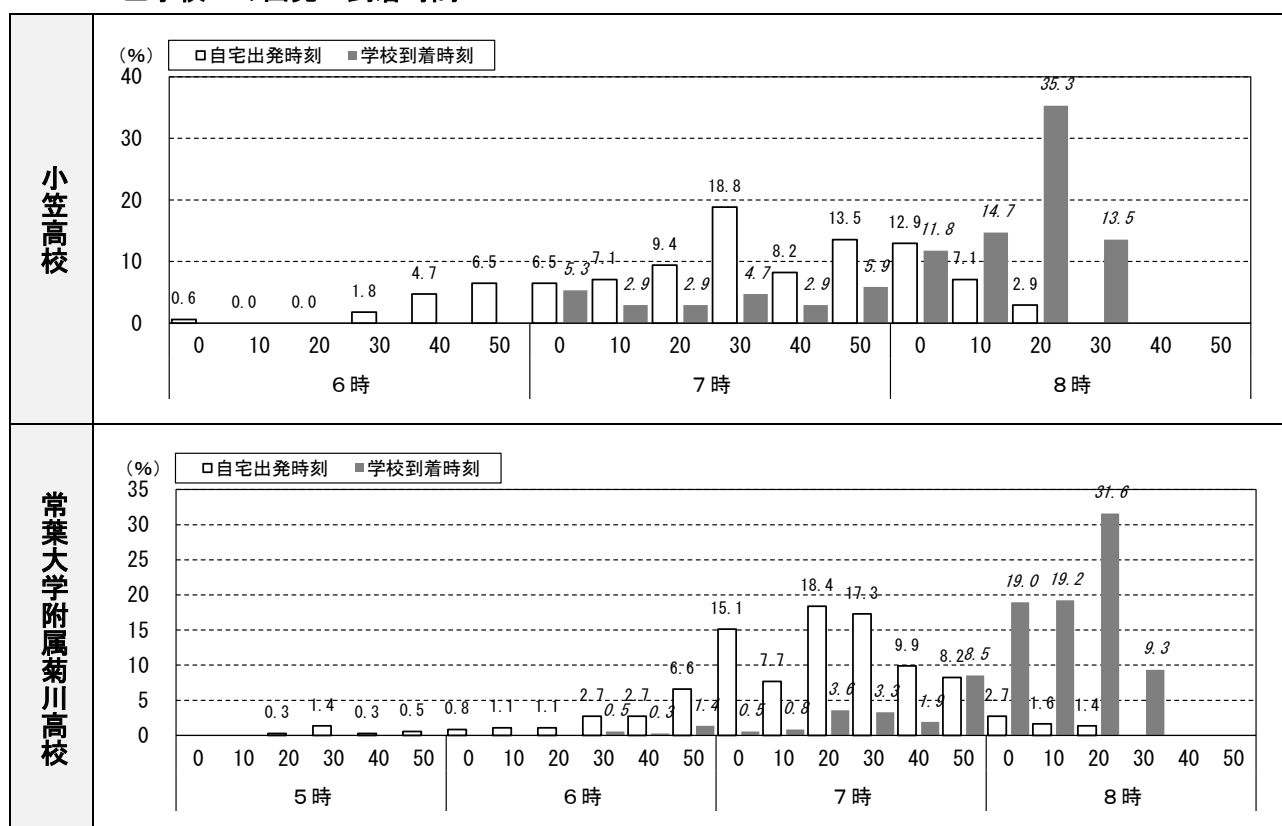
藤枝市 20 票、袋井市 16 票、吉田町 10 票、焼津市 8 票、森町 8 票、磐田市 8 票、静岡市 5 票、浜松市 5 票、川根本町 2 票、沼津市 1 票、豊田市 1 票

(2) 学校への出発・到着時間及び所要時間

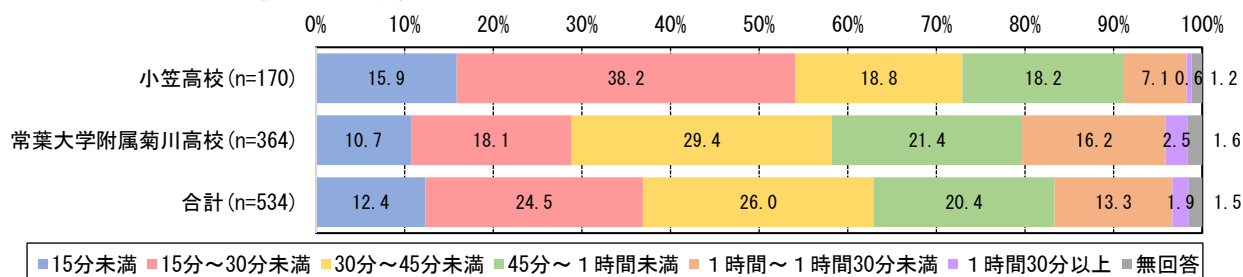
小笠高校、常葉大学附属菊川高校ともに出発・到着時間は自宅出発時間が7時～7時50分台で、学校到着時間が8時～8時20分台が多い。自宅出発時間は常葉大学附属菊川高校の方が遠方の自宅が多いため、早い生徒が多い。

自宅から学校までの所要時間は両校合計で30分～45分未満が最も多く、常葉大学附属菊川高校の方で通学時間が長い生徒が多い。

■学校への出発・到着時間



■自宅から学校までの所要時間



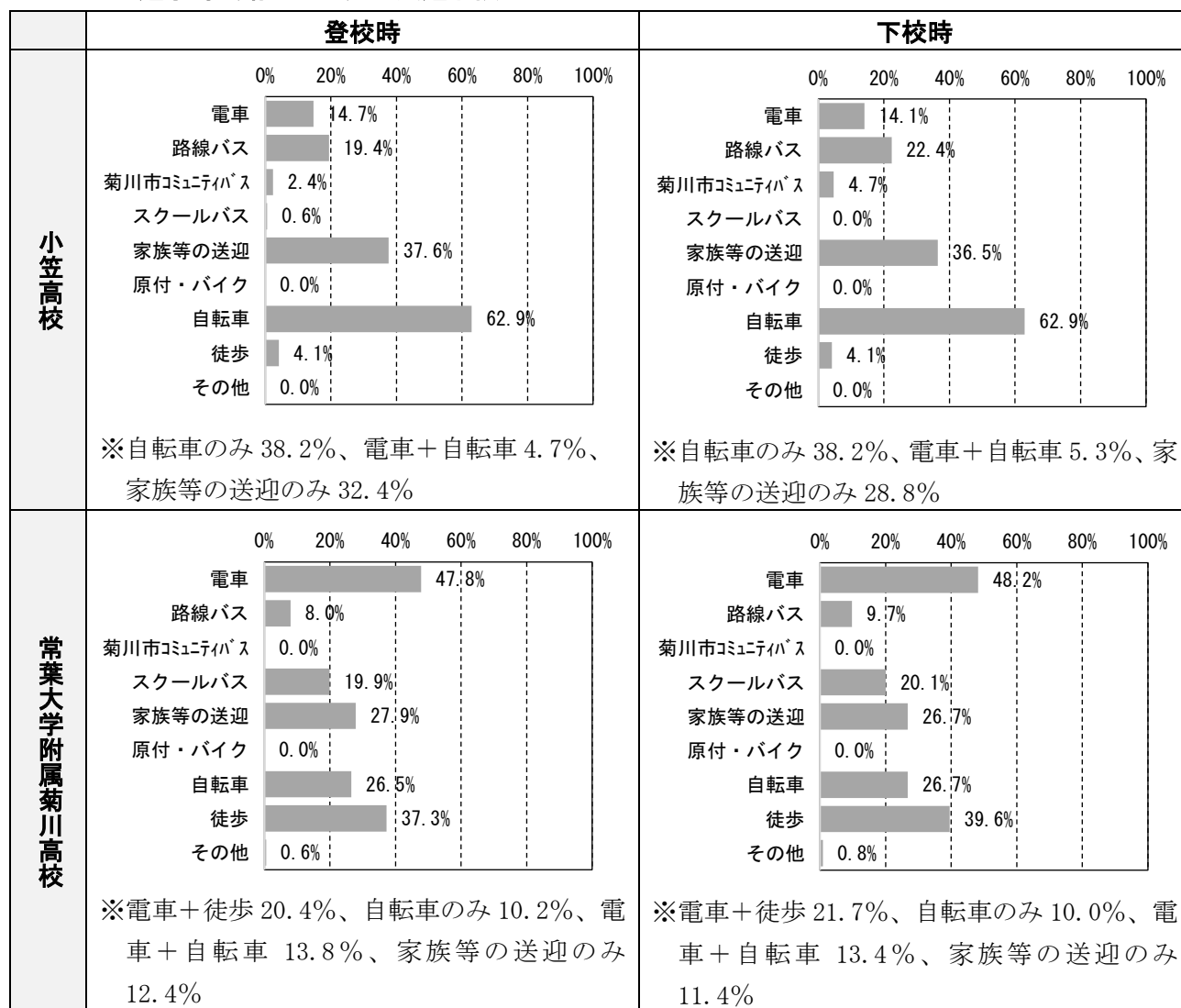
(3) 通学時の交通手段

小笠高校への通学手段（晴れの日）は自転車のみや、家族等の送迎のみが、常葉大学附属菊川高校は電車＋徒歩やスクールバスが多い。

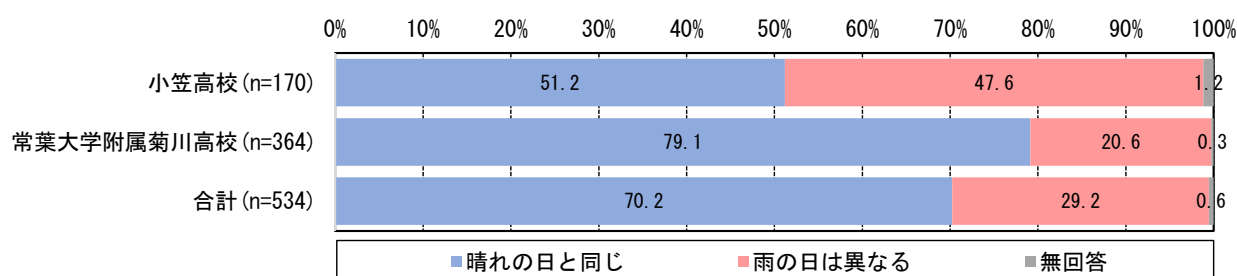
晴れと雨の交通手段の変化は、小笠高校で「雨の日は異なる」割合が47.6%と多く、家族等の送迎が多い。

電車と路線バスの運賃の支払い方法は定期券が多く、電車は93.9%、路線バスが63.9%を占めている。

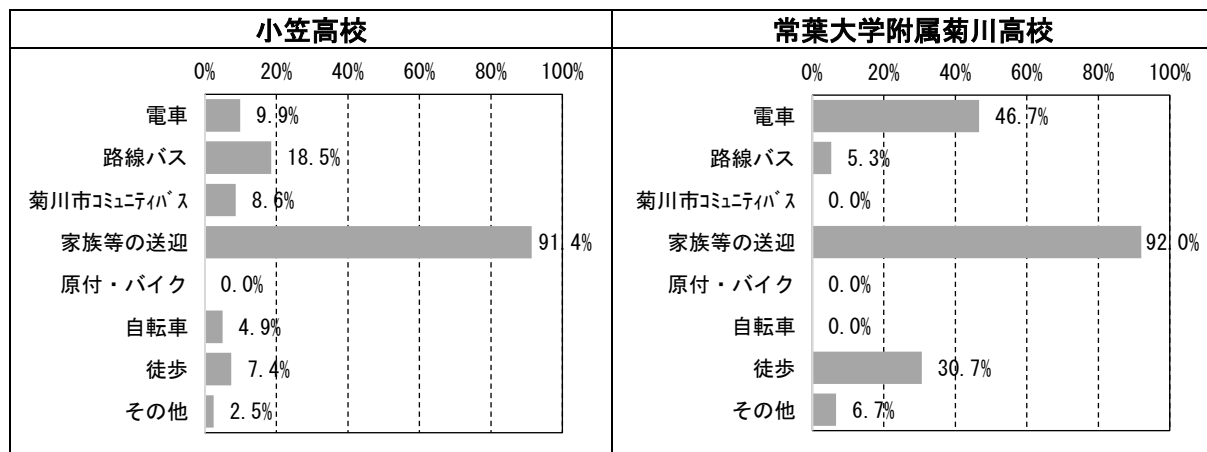
■通学時（晴れの日）の交通手段



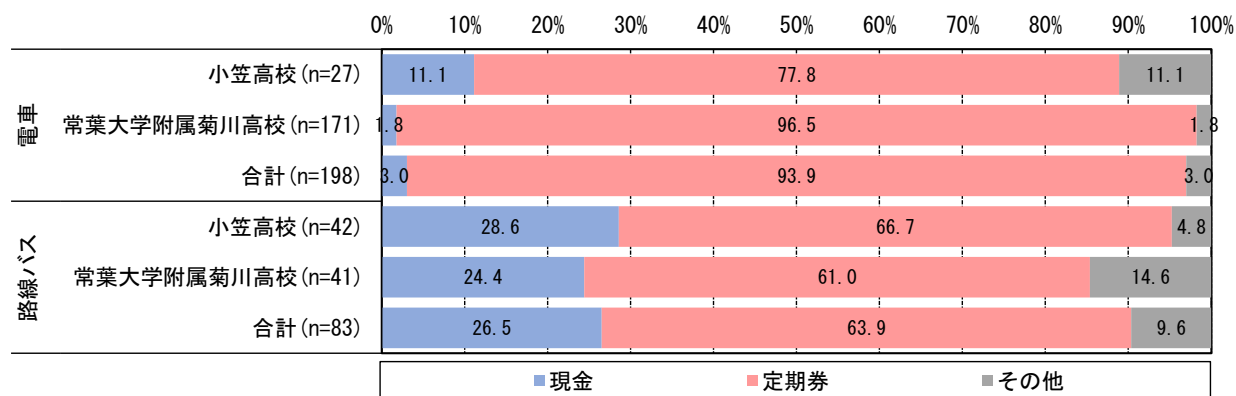
■晴れと雨の交通手段の変化



■通学時（雨の日）の交通手段



■運賃の支払い方法

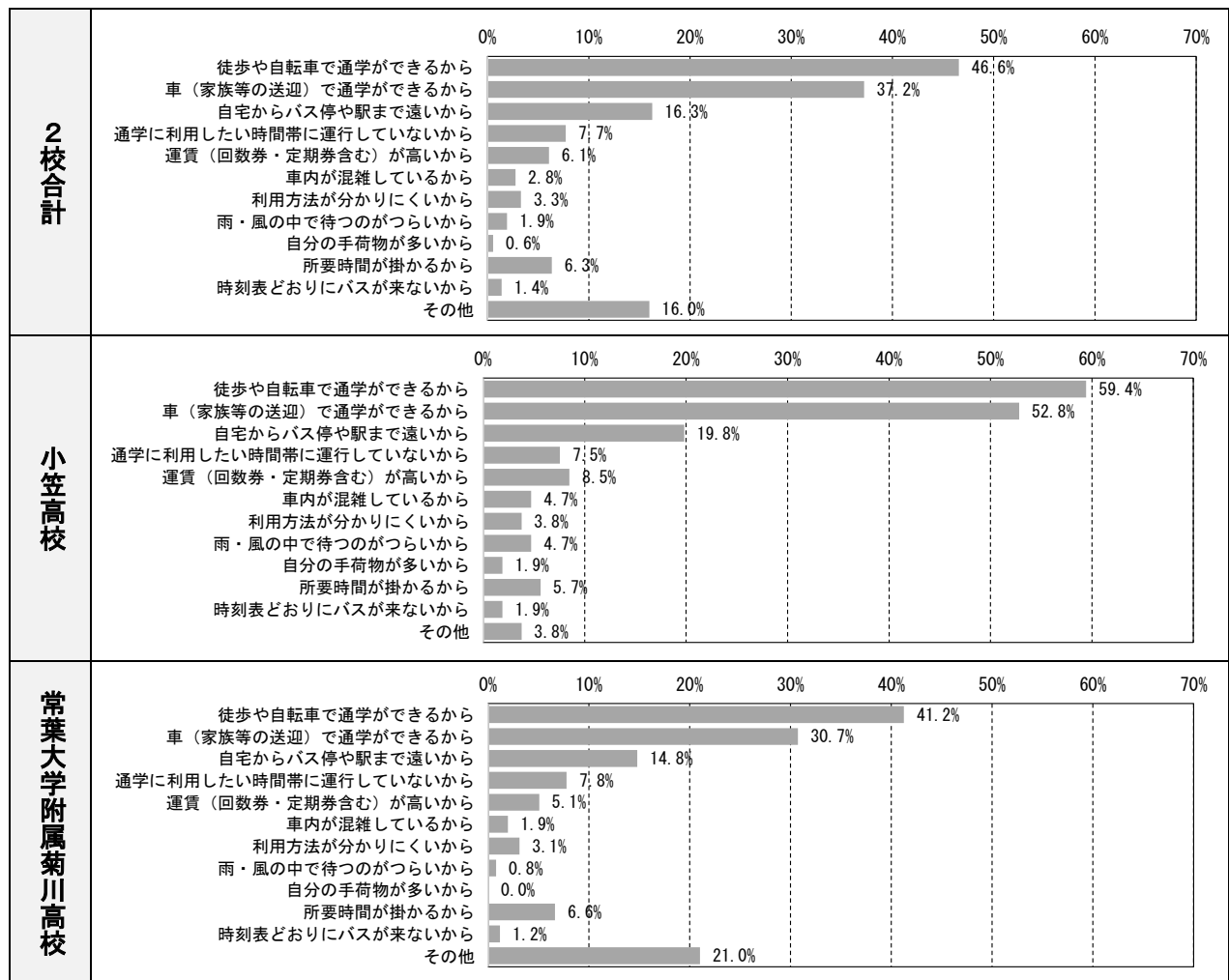


（４）公共交通機関を利用しない理由

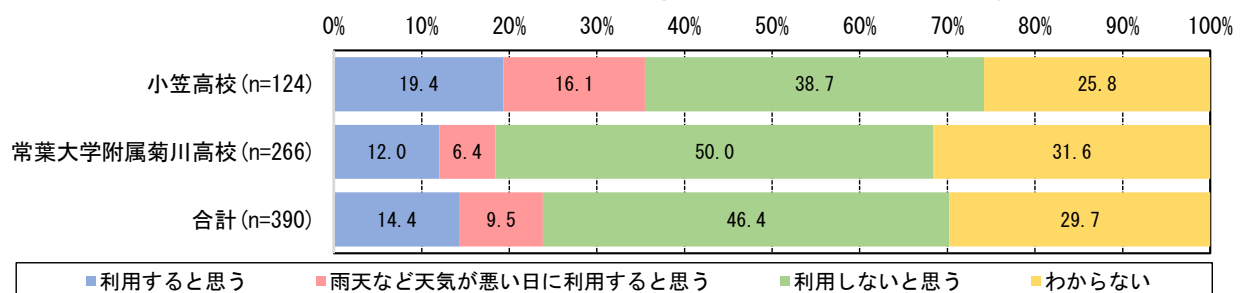
公共交通機関を利用しない理由は「徒歩や自転車で通学ができるから」が46.6%と最も多く、次いで「車（家族等の送迎）で通学ができるから（37.2%）」となっている。

仮にバスのルートやダイヤが登下校の時間帯に合うように運行された場合の利用意向は、小笠高校で「利用すると思う（19.4%）」「雨天など天気が悪い日に利用すると思う（16.1%）」が35.5%を占めている。

■公共交通機関を利用しない理由



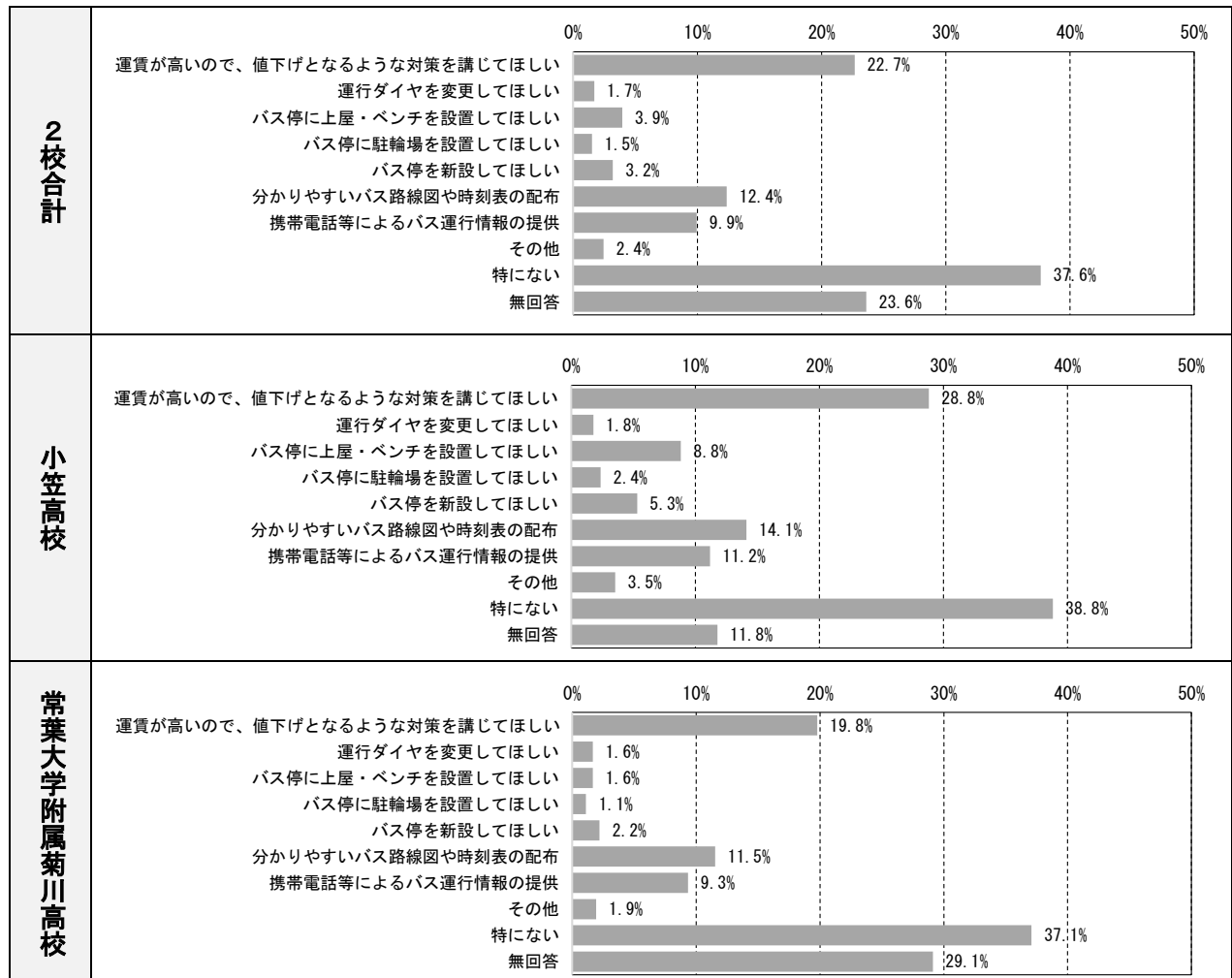
■仮にバスのルートやダイヤが登下校の時間帯に合うように運行された場合の利用意向



(5) 公共交通機関の改善点

公共交通機関の改善点は、「特にない」を除くと、「運賃が高いので、値下げとなるような対策を講じてほしい」が22.7%と最も多く、次いで「分かりやすいバス路線図や時刻表の配布(12.4%)」となっている。

■公共交通機関の改善点



【高校生アンケート調査のまとめ】

- 小笠高校より常葉大学附属菊川高校の方が遠方で、通学時間が長い生徒が多い。
- 通学時の交通手段は晴れと雨の日の変化について、「雨の日は異なる」と回答した方は47.6%を占めており、家族等の送迎割合が晴れの日より多い。
- 公共交通を利用しない理由では「車(家族等の送迎)で通学ができるから」が約4割と高いため、家族等の送迎から公共交通へ転換を促すよう通学利便の改善が必要である。
- 改善点としてバスの運賃に対する値下げ対策や、分かりやすいバス路線図や時刻表の配布の回答が多い。

3-5 主要施設ヒアリング調査

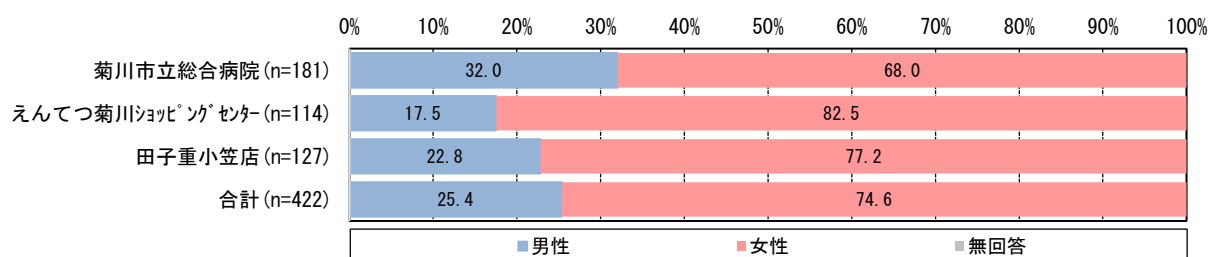
調査方法等	- 調査場所：菊川市立総合病院、えんてつ菊川ショッピングセンター（遠鉄ストア）、田子重小笠店 - 調査方法：調査員による直接ヒアリング - 調査日時 - 菊川市立総合病院：令和6年11月13日（水）8：30～17：00 - えんてつ菊川ショッピングセンター：令和6年10月22日（火）9：30～17：30 - 田子重小笠店：令和6年10月22日（火）9：00～17：00
調査項目	- 回答者の属性（性別、住所、住まい、自動車運転免許有無） - 施設への利用特性（利用交通手段、利用頻度） - 施設への不便度、不便と感じている理由 - 菊川市コミュニティバスの改善点
回収票数	菊川市立総合病院 181 票、えんてつ菊川ショッピングセンター111 票、田子重小笠店 127 票、合計 422 票

（１）回答者の属性

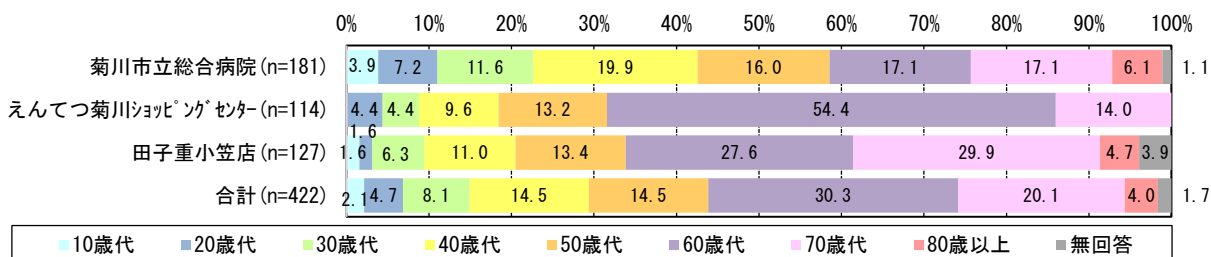
性別は、「女性」が74.6%、「男性」が25.4%と女性の割合が多く、年齢は60歳以上が約55%を占めている。住まいは「菊川市内」が72.7%、「市外」が27.3%で、特に菊川市立総合病院で「市外」の割合が38.7%と多い。

自動車運転免許は「免許を持っている」が82.9%と最も多く、「持っていたが返納した」、「免許は持っていない」と回答した方は菊川市立総合病院で20.4%と多い。

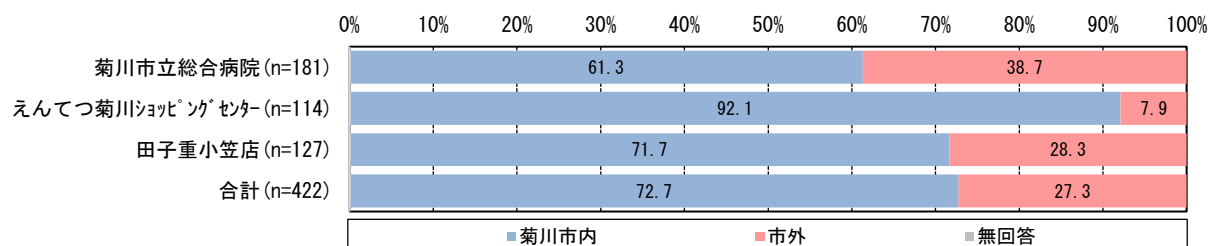
■性別



■年齢

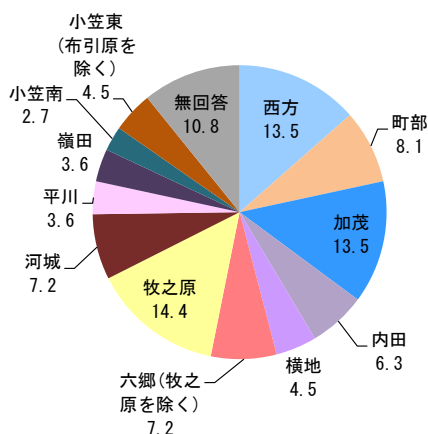


■住まい

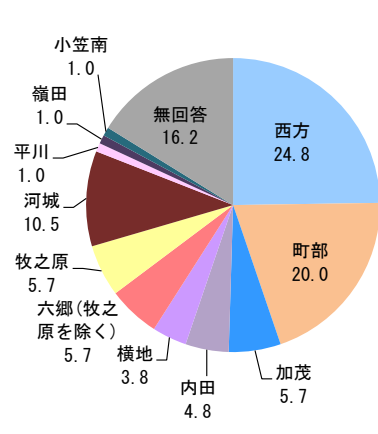


■住まい・市内

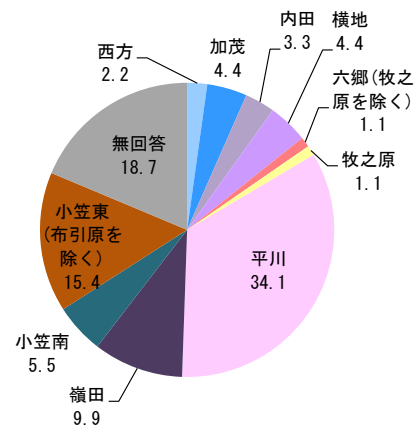
《菊川市立総合病院》



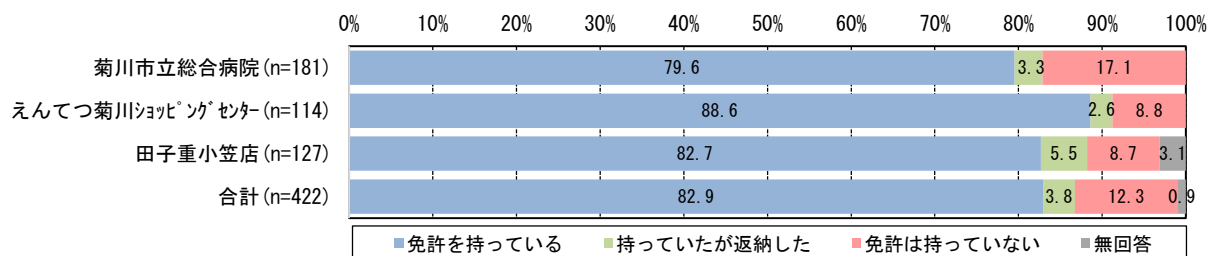
《えんてつ菊川ショッピングセンター》



《田子重小笠店》



■自動車運転免許



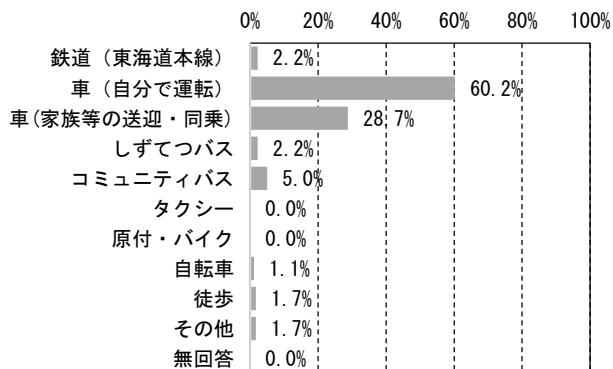
(2) 施設への利用特性

施設への利用交通手段は、各施設とも「車（自分で運転）」が最も多く、次いで「車（家族等の送迎・同乗）」となっており、特に菊川市立総合病院で「車（家族等の送迎・同乗）」の割合が28.7%と多い。

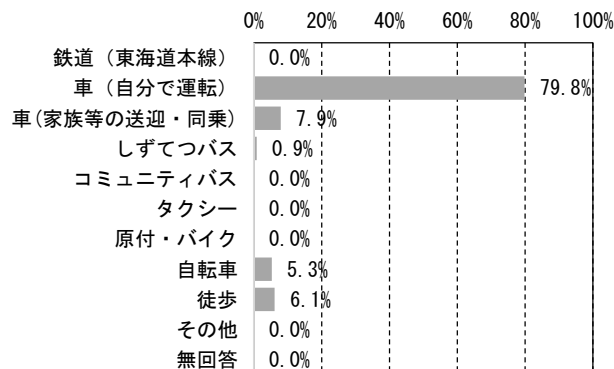
施設の利用頻度は、菊川市立総合病院は「その他」、「月に1日」が、えんてつ菊川ショッピングセンターと田子重小笠店は「週に1～2日」、「週に3～4日」の割合が多い。

■施設への利用交通手段

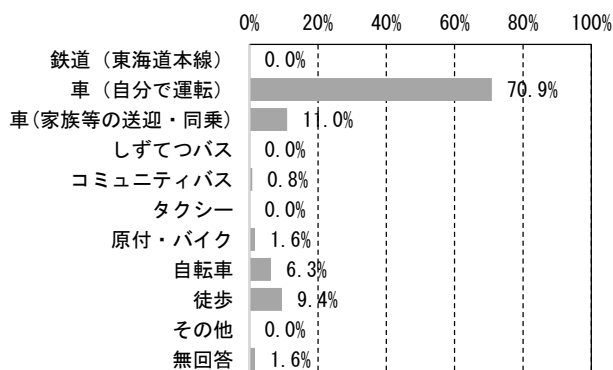
《菊川市立総合病院》



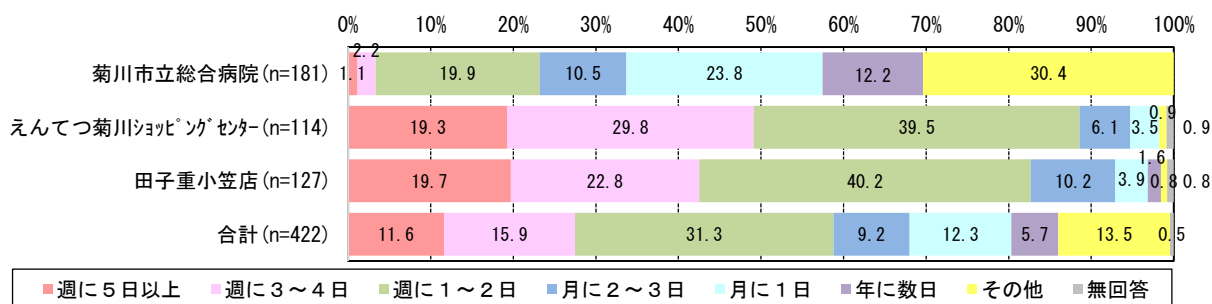
《えんてつ菊川ショッピングセンター》



《田子重小笠店》



■施設の利用頻度

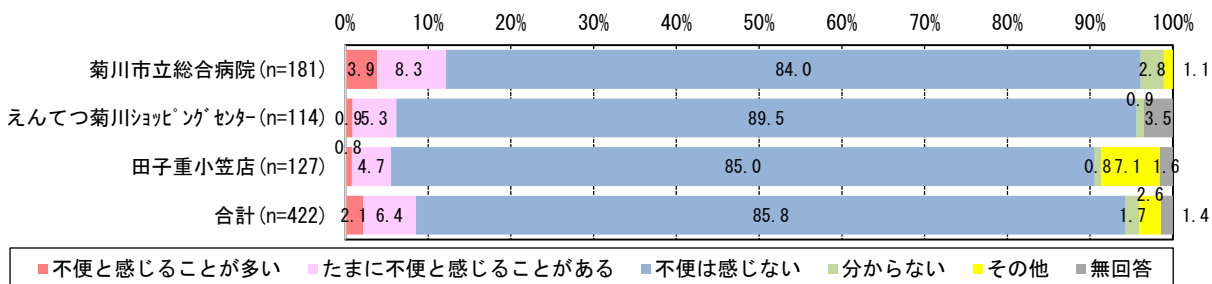


（3）施設への不便度

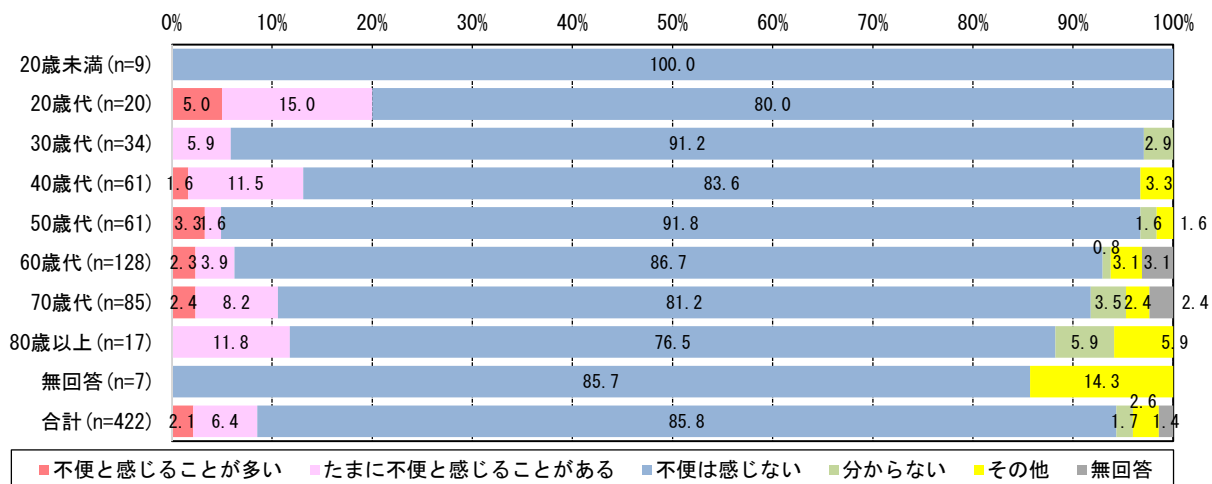
施設へ来るまでの不便度は、各施設とも「不便は感じない」と回答した方が多く、「不便と感ずることが多い」と「たまに不便と感ずることがある」を回答した方は1割未満となっている。

不便と感ずている理由は、「家族等の送迎・同乗に頼らなければならない（18.9%）」が多い。

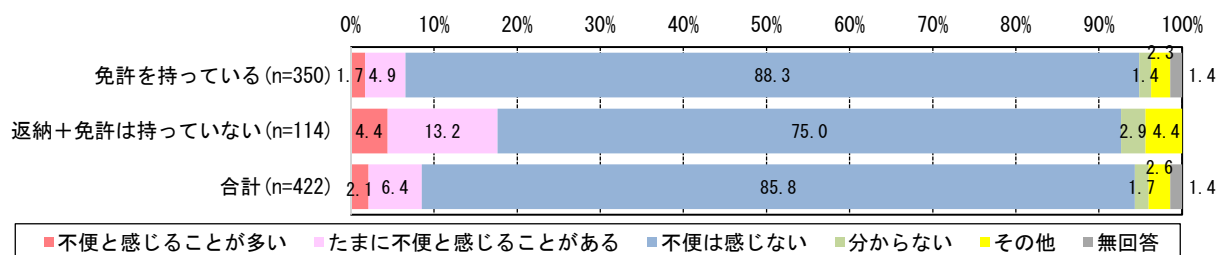
■施設への不便度



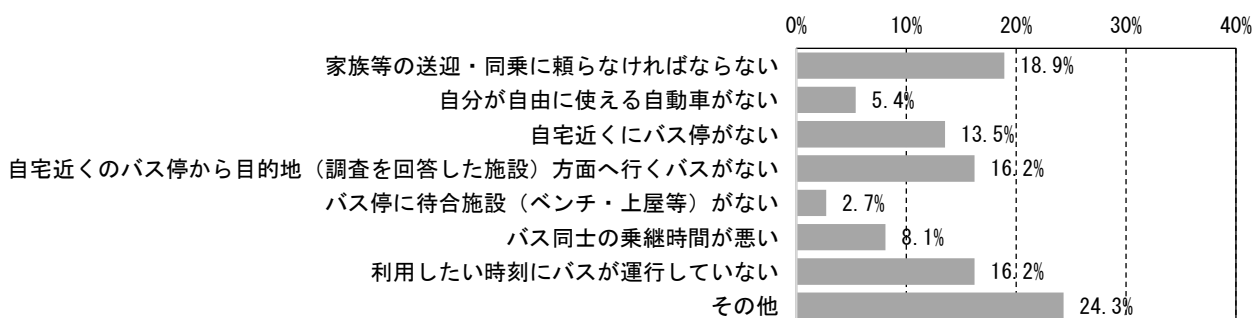
■施設への不便度（年齢別）



■施設への不便度（自動車運転免許別）



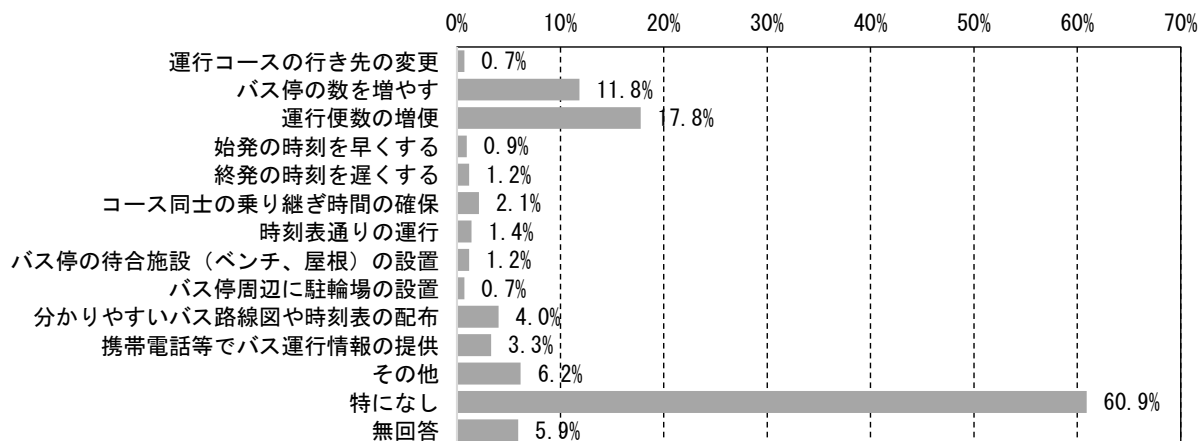
■不便と感じている理由（n=37）



（４）菊川市コミュニティバスの改善点

菊川市コミュニティバスの改善点は、「特になし」を除くと、「運行便数の増便（17.8%）」、「バス停の数を増やす（11.8%）」の順で多い。

■菊川市コミュニティバスの改善点



【主要施設アンケート調査のまとめ】

- 施設へ来るまで不便と感じている方は 8.5% を占め、免許を持っていない方でその割合が 17.6% と多く、その理由として「家族等の送迎・同乗に頼らなければならない（18.9%）」の回答が多い。
- 菊川市コミュニティバスの改善点は、「特になし」を除くと、「運行便数の増便（17.8%）」、「バス停の数を増やす（11.8%）」の順で多い。

3-6 事業者ヒアリング調査

○交通事業者：しずてつジャストライン(株)、(株)第一通商、菊川タクシー(有)、堀之内タクシー(株)

○調査方法：メールによる送付・回答

(1) バス事業者（しずてつジャストライン(株)）

①路線バス利用者（菊川浜岡線）の特性や傾向（平休日別、時間帯別）について

- ・平日で菊川駅への通勤・通学利用
- ・平日で小笠高校への通学（小笠高校・西横地）

②利用者層や動向の変化など、近年の交通事情について

- ・コロナ前利用者の8割程度までバス利用者が戻ってきたが、生活様式の変化等により公共交通利用者自体が復調しない傾向にある。

③運行や経営上の課題・問題点などについて

- ・運転士不足
- ・2024年問題への対応（「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準告示）」の改正）
- ・燃料の高騰

④利用促進、利便性向上、収支改善などのために取組んでいることについて

- ・バスロケーションシステムの活用（ホームページ・表示器・多言語対応等）
- ・バス乗り方教室の実施（小学生・高齢者）
- ・沿線学校などへの定期券案内リーフレットの配布
- ・運賃改定の実施（2024年10月～）

⑤利用者等から寄せられている声（意見・要望）について

- ・バス停近隣にお住いの住民からのバス利用者マナー（ゴミ・タバコのポイ捨て、大きな声で談笑しながらバスを待つ等）に関するご意見

⑥バス乗務員の募集方法や募集状況等について

- ・テレビCM・ホームページ・WEB媒体・チラシ等でのバス運転士募集に関する告知実施
- ・運転体験会や営業所見学等の仕事体験
- ・外部機関と連携した採用イベントの開催

⑦他の交通事業者や地域との連携について、求めたいことや協力できることについて

- ・外国人コミュニティに対する公共交通利用時のマナー啓発への協力

⑧菊川市の計画や施策に提言・期待することや、行政と協働で実施したい取組などについて

- ・運転士の確保に向けた周知への協力
- ・路線バスの利用促進を目的とした通学定期券購入費の支援

(2) 菊川市コミュニティバス事業者 ※(株)第一通商は市からの運行請負業者

①菊川市コミュニティバス利用者の特性や傾向（平休日別、時間帯別）について

- ・利用者層は主に高齢者。
- ・西方コースを除く 6 コースの 1 便目で、高校生の利用がある。

②利用者層や動向の変化など、近年の交通事情について

- ・利用者層は主に高齢者。
- ・しずてつジャストラインの値上げに伴い、高校生の利用が増えた。
- ・倉沢・富田コースの 6 便でタクシー利用が増えた。

③運行や経営上の課題・問題点などについて

【運行・経営上の課題と問題点】

○従業員の安定雇用の欠如

- ・課題：3 年毎の競争入札により、委託業者が変更されるたびに従業員が新たな雇用契約を締結する必要があり、有給休暇や昇給などがリセットされる。これが従業員のモチベーション低下や、質の低下、高齢化に繋がっている。
- ・影響：若年層の雇用が難しい上に熟練乗務員の流出が発生し、接客品質や運行安全性が低下する恐れ。地域住民に対するサービスの質が安定しない。

○業務の長期的な継続性が不透明

- ・課題：3 年契約のため、短期的なコスト競争が優先されやすい環境が生まれ、長期的な投資（無線の導入、車両内外の清掃、乗務員教育）を行いにくい。
- ・影響：車両の老朽、運転技術や接客サービスの停滞が、利用者満足度の低下に繋がる可能性。

【課題解決に向けた提案】

○従業員の安定雇用体制の確立

- ・提案：競争入札とは別に、乗務員の雇用契約を長期的に維持できるよう、市と連携して「乗務員の継続雇用ルール」を設ける。これにより、サービスの質を維持し、地域住民との信頼関係を深める。
- ・具体例：市が共通基準を設定し、委託業者が変わっても乗務員の条件を維持する「地域基準型雇用協定」の導入。

【長期的な視点での運行計画】

- ・提案：短期契約による課題を解消するため、市に対して 5～10 年契約を提案し、企業が運行品質向上に向けた投資を行いやすい環境を整える。
- ・具体例：無線の導入（工事・事故によるルート変更や、積み残しの対応など即時に対応が可能。災害などの緊急時にも連携が見込める）や、運行遅延、運休、その他最新の情報が得られる SNS や HP、高齢者向けの電話対応システムの採用など。

④利用促進、利便性向上、収支改善などのために取り組んでいることについて

○地域商店街スタンプラリー連動

- ・概要：バスを利用して特定の商店街や指定店舗を訪れるごとにスタンプを獲得。スタンプを一定数集めると、地元特産品や割引クーポンをプレゼント。
 - ・効果：商店街の集客効果を高め、バス利用促進につながる。
- など、地域住民との連携強化

⑤利用者等から寄せられている声（意見・要望）について

- ・100 円で利用できてありがたい。

⑥バス乗務員の募集方法や募集状況等について

- ・ハローワーク、インターネット、新聞折込により募集。
- ・現時点でバス乗務員は足りているため、募集していない。

⑦他の交通事業者や地域との連携について、求めたいことや協力できることについて

- ・特になし

⑧菊川市の計画や施策に提言・期待することや、行政と協働で実施したい取組などについて

【提言・期待すること】

○持続可能な運行体制の整備

- ・長期的な視点での運行委託契約の見直しを提案します。例えば、5年または10年単位の契約とし、安定した運行体制を構築することで、運転手の雇用条件改善やサービス品質向上を実現します。
- ・地域特性に応じたルートの再編や、住民ニーズに合ったダイヤ編成を定期的に検討して頂きたい。

○デジタル技術の活用

- ・バスの運行状況や混雑度をリアルタイムで確認できるアプリの導入。
- ・地域内での観光・商業スポットとの連携機能をアプリに統合し、コミュニティバスの周知拡大及び観光振興を目指す。

（３）タクシー事業者

①事業概要

菊川 タクシー(有)	・車両保有台数 23 台（運転者数 27 人） ※うち大型等車両（ワンボックス車両） 1 台、福祉車両（車椅子等が乗降可能な設備搭載） 3 台、ユニバーサルデザイン（UD）車両 16 台 ・営業時間：24 時間 ・利用多い時間帯：8～20 時、稼働台数 18 台、稼働率 8 割 ・利用の少ない時間帯：1～6 時、稼働台数 1 台、稼働率 0.5 割
堀之内 タクシー(株)	・車両保有台数 21 台（運転者数 15 人） ※うち大型等車両（ワンボックス車両） 1 台、 ・営業時間：24 時間 ・利用多い時間帯：平日の 6～18 時と 18～24 時、休日終日、稼働台数はシフトにより異なる ・利用の少ない時間帯：2～5 時、稼働台数はシフトにより異なる

②一般タクシーの利用状況について

菊川 タクシー(有)	・令和元年度：127, 486 人→令和 2 年度：74, 079 人→令和 3 年度：80, 703 人→令和 4 年度：115, 318 人→令和 5 年度：125, 969 人 ・乗客に占める菊川市民の割合は約 6 割。 ・利用者は、平日の 8：30～11：00 で、駅・病院を中心に、出張者・高齢者と、平日の 16：30～19：00 で、会社から駅・ホテルを中心に、出張者の利用が多い。
堀之内 タクシー(株)	・令和元年度：87, 000 人→令和 2 年度：52, 000 人→令和 3 年度：48, 000 人→令和 4 年度：50, 000 人→令和 5 年度：50, 000 人 ・乗客に占める菊川市民の割合は約 7 割。 ・利用者が多いのは、以下の通りで、利用目的により様々。 ・平日の 6～18 時…駅・会社・寮・病院・ホテル・スーパー ・平日の 18～24 時で、駅・会社・飲食店 ・休日の終日…駅・ホテル・イベント会場・スーパー

③利用者層や動向の変化など、近年の交通事情について

菊川 タクシー(有)	・コロナ禍もあけ、人流は増えつつある。日によっては繁忙時間帯に供給が追いつかない時間帯も見受けられるようになってきた。
堀之内 タクシー(株)	・高齢者層の利用増加、運転免許証返納割引を利用 ・利用目的により移動の時間は皆だいたい同じで混むため、時間指定の予約が増加 ・コロナ禍以前には戻っていない（今後も以前には戻らない）

④運行や経営上の課題・問題点などについて

菊川 タクシー(有)	・運転者の確保 ・運行管理者の確保（ロボット点呼の導入）
堀之内 タクシー(株)	・乗務員不足 ・乗務員も含め従業員の高齢化

⑤タクシー乗務員の募集方法や募集状況等について

菊川タクシー(有)	・現在、ハローワークを中心に運転者の募集中。 ・また、ホームページから YouTube の漫画での運転者募集の動画を作成中。
堀之内タクシー(株)	・継続的にハローワーク求人を利用。応募者は極めて少ない。

⑥利用促進、利便性向上、収支改善などのために取組んでいることや、今後5年間で新たに計画していることについて

菊川タクシー(有)	・無線（電話オペレーター・運転者の無線配車）の電話オペレーターの曜日・時間帯での委託 ・運行管理の部分的な自動化（設備の導入で短時間のロボット点呼の実施）（今後）
堀之内タクシー(株)	・早くから各種ポイントカードやキャッシュレス等に対応済だが、高齢者は現金払いが多い。 ・今後については諸事検討中

⑦利用者等から寄せられている声（意見・要望）について

菊川タクシー(有)	・利用に対しての意見は、乗りたいときに対応してほしい。
堀之内タクシー(株)	特になし

⑧他の交通事業者や地域との連携について、求めたいことや協力できることについて

菊川タクシー(有)	まず地元との連携を大事に協力できる事は、実施していきたいと思う。当社は、車椅子のまま乗車できる車両が 19 両あり、特にシエンタ 3 台に関しては 5 分かつらずに乗ることが出来る。介護は出来ないが、車椅子利用のお客様のお出かけに役立てることが出来ると思う。また、アプリ配車（GO）は、万人の利用者はもとより、聴覚・言語に難がある方のお出かけの役に立てると思う。
堀之内タクシー(株)	特になし

⑨菊川市の計画や施策に提言・期待することや、行政と協働で実施したい取組などについて

菊川タクシー(有)	高齢者の移動（買い物、病院の受診）、企業の出張など菊川市でのタクシーの移動はこれからも需要は見込まれると思う。公共交通を維持するために、区域運行（デマンド）の拡張や公共交通の運転者を確保するためにお力を貸して頂けると助かる。
堀之内タクシー(株)	御前崎市（や旧小笠町）で実施のタクシー代助成券などの高齢者支援は、こもりがちな高齢者が一人で、または連れ立って、外出するきっかけづくりになっている（なっていた）。